6 リヤ アクスル & サスペンション

ページ

変更概要 …… 6－2

リヤ ホイール アライメント …… 6－2

ドライブ シヤフト …… 6－7

デイフアレンシヤル …… 6－16

車上交換 …… 6－19

デイフアレンシアル キヤリヤ ＡＳＳＹ …… 6－24

リヤ サスペンション …… 6－47

アクスル シヤフト & アクスル キヤリヤ …… 6－47

サスペンシヨン アーム …… 6－61

ストラツト ロツド …… 6－66

スタビライザ …… 6－68

6

無断複製禁止

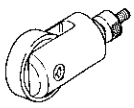
変更概要

セリカ　GT-FOUR 車種追加に伴い，トヨタ　セリカ修理書（品番62277　昭和60年８月発行）の内容に以下の項目を追加します。

1．リヤ　ホイール　アライメントの修理要領
2．ドライブ　シヤフトの修理要領
3．デイフアレンシヤルの修理要領
4．リヤ　サスペンションの修理要領

リヤ　ホイール　アライメント

準　備　品

工　具	 ㈱バンザイ　アタツチメント，フロント　ホイール　アライメント扱い　TB-302	リヤ　ホイール　アライメント測定用
	ソケット　レンチ(30㎜)	ドライブ　シヤフト取り付けナット脱着用
計　器	 ㈱バンザイ　弥生工業扱い ローラ測定子　AA-828	タイヤ振れ測定用
	ダイヤル　ゲージ	タイヤ振れ測定用
	キヤンバ　キヤスタ　キングピン　ゲージ	ホイール　アライメント測定用
	トーイン　ゲージ	トーイン測定用
	ターニング　ラジアス　ゲージ	ホイール　アライメント測定用
	タイヤ　プレツシヤ　ゲージ	タイヤ空気圧測定用
	トルク　レンチ(500～2800㎏・cm)	ドライブ　シヤフト取り付けナツト締め付け用

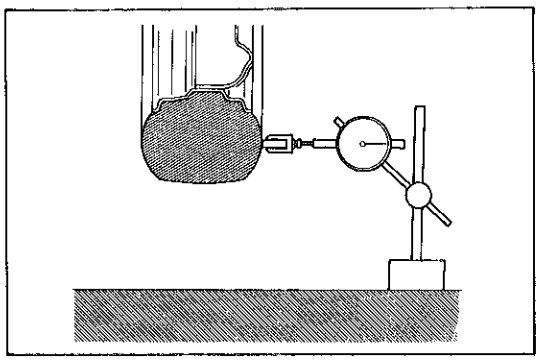
前点検項目

1　タイヤ　サイズおよび摩耗状況点検

2　空気圧点検

基準値

車両型式	タイヤ　サイズ	一般走行時(㎏/㎠)	
		前　輪	後　輪
ＳＴ165系	195/60Ｒ14　85Ｈ	2.2	1.9


D7089

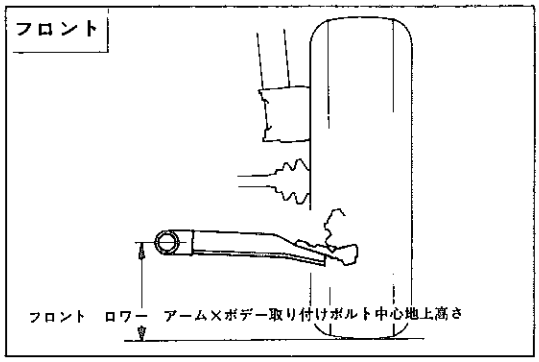
3　タイヤの振れ点検

限　度　3.0㎜(縦方向，横方向)

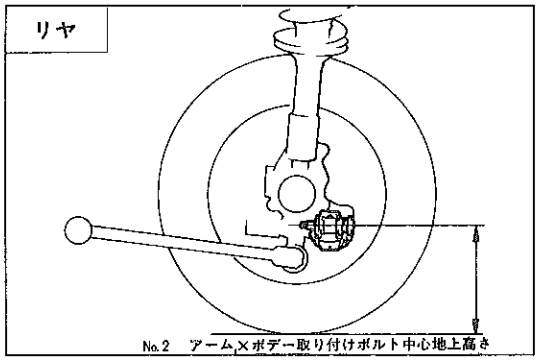
4　関係各部のボルトの締め付け状態点検

5　関係各部のガタ点検

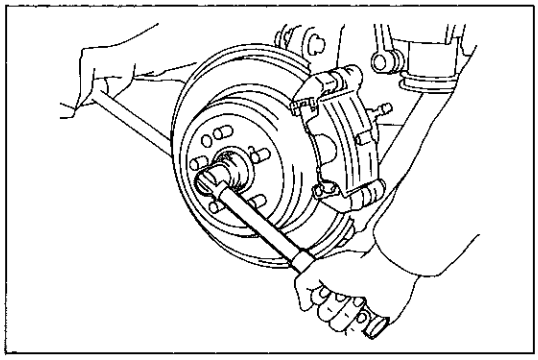
無断複製禁止



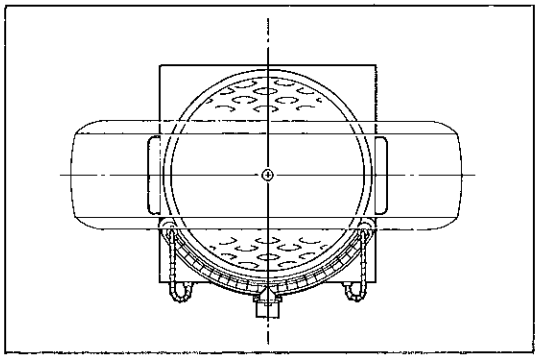
E8895



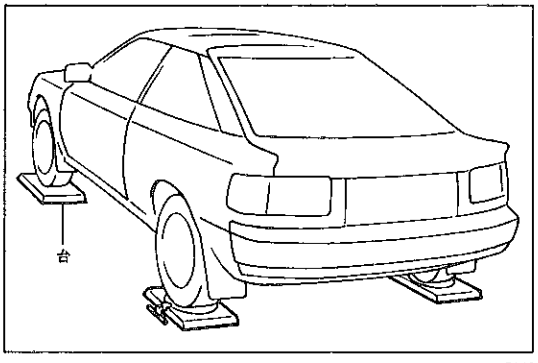
E7829



E7957



D8102



E7945

6　車高点検

基準値（空車時）

タイヤ　サイズ	フロント(mm)	リヤ(mm)
195/60R14　85H	201.1	233.8

(1)　車高が基準値外の場合，ボデーをゆすつて修正する。修正できない場合サスペンション部品のゆるみ，変形などを点検する。

リヤ　ホイール　アライメント

1　ターニング　ラジアス　ゲージ　セット

〈参考〉　ST165系はアルミ　ホイールが標準装備である。

(1)　リヤ　ホイールを取りはずす。

(2)　コツタ　ピンを取りはずし，リヤ　ホイール　アジヤステイング　ロツク　キヤツプを取りはずす。

(3)　パーキング　ブレーキ　レバーを引き，リヤ　ホイールを固定して，30mmのソケツト　レンチを使用しナツトおよびプレートワツシヤを取りはずす。

(4)　リヤ　ホイールを取り付ける。

T＝1050kg・cm

注意　ホイール　ハブ　オーナメントは取り付けない。

(5)　ホイール　アライメント　アタツチメントを手でいつぱいに締め込む。

(6)　ターニング　ラジアス　ゲージを0点にロツクする。

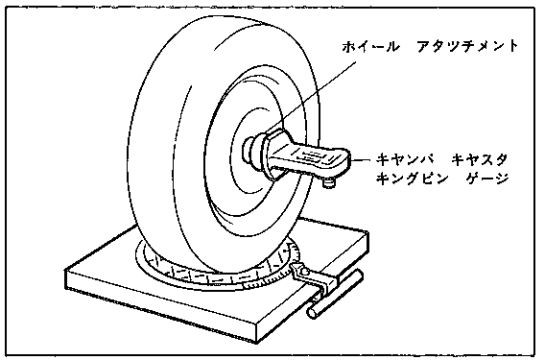
(7)　サスペンション等を落ちつかせるため，少なくとも車両の全長以上の距離を静かに前進させる。

(8)　ターニング　ラジアス　ゲージの中心にタイヤの接地面の中心を合わせるように車両を乗り入れる。

注意　・点検は水平な床面で行う。
・ポータブル　タイプのターニング　ラジアス　ゲージを使用する場合は，前輪もゲージと同じ厚さの台に乗せ水平を保つようにする。

(9)　パーキング　ブレーキ　レバーを引いて，ブレーキを効かせる。

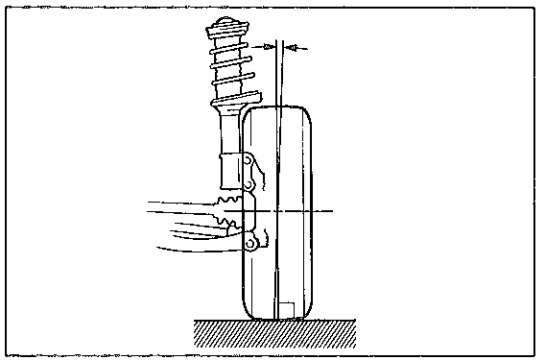
無断複製禁止



C 8428

2　キヤンバ点検

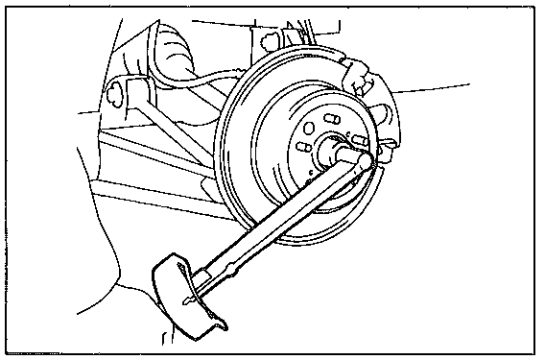
(1) キヤンバ　キヤスタ　キング　ピン　ゲージのセンタ　ロッド先端をアタツチメント中心に合わせて取り付ける。


E 7830

(2) キヤンバを点検する。

点検基準値　−45′±45′

左右差限度　30′以内


E 7958

(3) キヤンバ　キヤスタ　キング　ピン　ゲージおよびホイールアタツチメントを取りはずす。

(4) リヤ　ホイールを取りはずす。

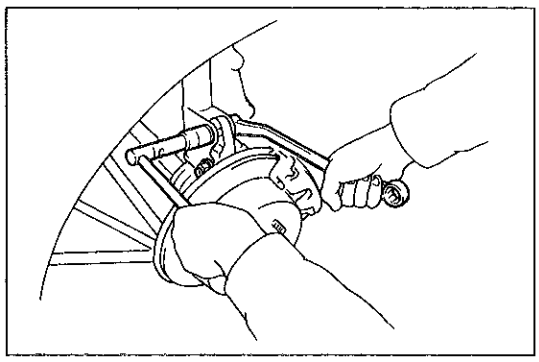
(5) パーキング　ブレーキ　レバーを引き，リヤ　ホイールを固定して，30㎜のソケツト　レンチを使用し，ナツトおよびプレート　ワツシヤを取り付ける。

T＝1900kg・cm

(6) リヤ　ホイール　アジヤステイング　ロック　キヤツプを取り付け，新品のコツタ　ピンを取り付ける。

(7) リヤ　ホイールを取り付ける。

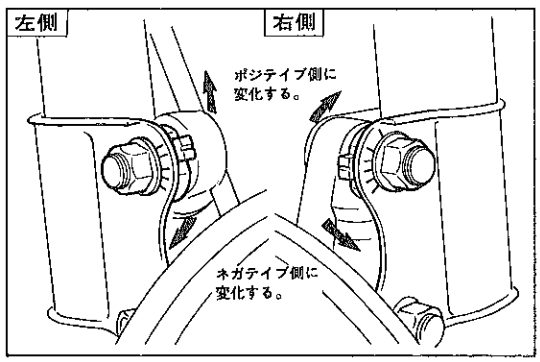
T＝1050kg・cm


E 7831

3　キヤンバ調整

(1) キヤンバ点検作業(1)~(4)をする。

(2) シヨツク　アブソーバとアクスル　キヤリアの取り付け部のナツト2個をキヤンバ　アジヤスト　カムが回る程度までゆるめる。



E 7832

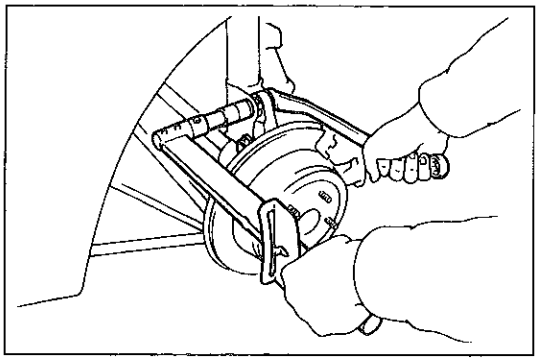
(3) キヤンバ　アジヤスト　カムを回して調整する。

(4) 再度キヤンバを点検し，基準値内であることを確認する。

調整基準値　−45′±30′

〈参考〉　カム1目盛り回転させるとキヤンバは約18′変化する。

無断複製禁止


E 7833

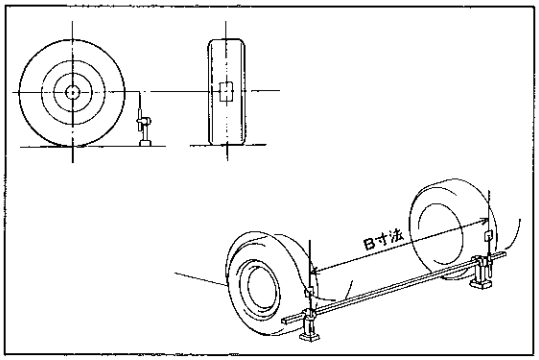
(5) ナツトを規定トルクで締め付ける。

T＝2600kg・cm

注意 ナツトまたはボルトのネジ部にエンジン　オイルを塗布して締め付ける。

(6) リヤ　ホイールを取り付ける。

T＝1050kg・cm



E 5773

4　トーイン点検

(1) 車両をゆすり，車高を安定させる。

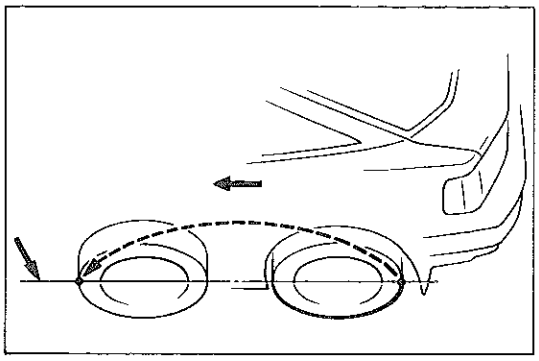
(2) フロント　ホイールを直進状態にして車両を手で押し，車両を5 m前進させる。

注意 車両を後退させた時は，必ず後退させた距離分前進させる。

(3) トーイン　ゲージの指針高さをリヤ　ホイール軸中心高さに合わせ，タイヤの後側に入れる。

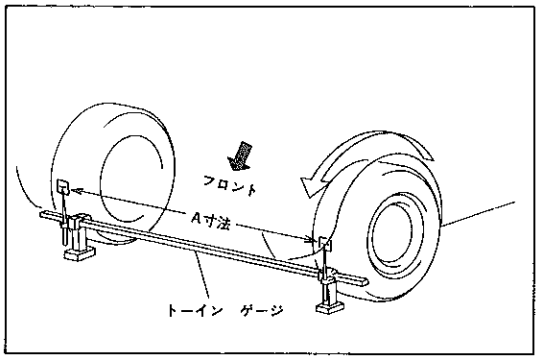
(4) 左右タイヤの後ろ側トレッド中心のトーイン　ゲージの指針高さ位置に測定マークを付け，マーク間の距離（B寸法）を測定する。

<参考> 測定マークは，タイヤ　トレッド部にチヨークを塗るか，ガム　テープを貼った上にボール　ペンなどで印を付けるとよい。


E 7834

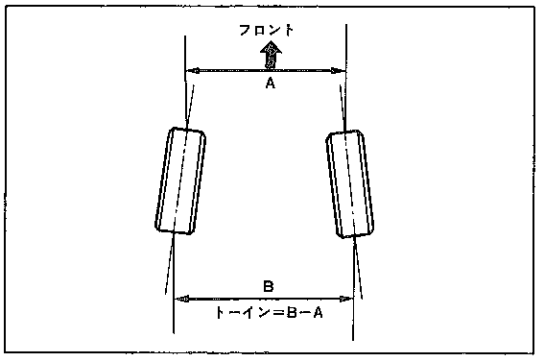
(5) 車両をゆつくり押して前進させ，後輪を180°回転させる。

注意 • ホイールを180°以上回転させない。
• ホイールを180°以上回転させた場合，(3)，(4)の作業を繰り返す。



D 2317

(6) ホイールの前側でマーク間の距離（A寸法）を測定する。



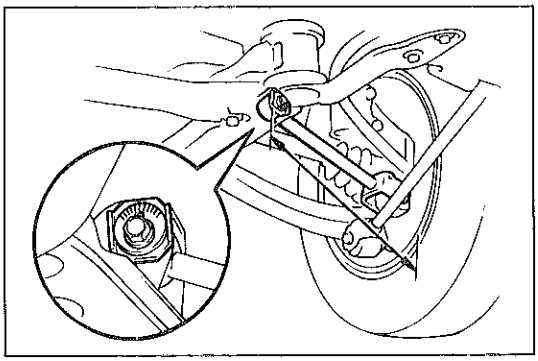
A 9873

(7) トーインを求める。

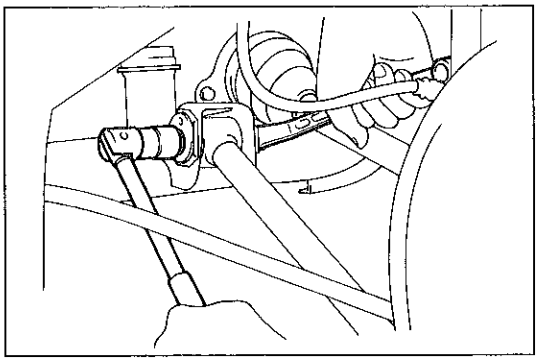
点検基準値　3 ± 2 mm

トーイン＝B寸法－A寸法

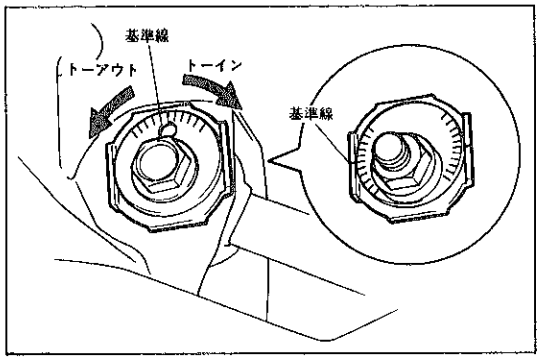
無断複製禁止



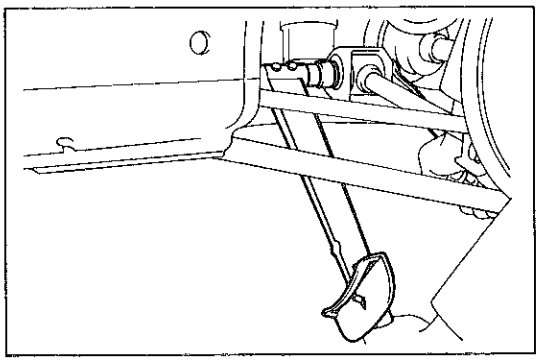
E 7788



E 7781



E 7835



E 7809

5　トーイン調整

(1) デイスク　ホイールとトー　アジヤスト　カムのリヤ　サスペンシヨン　コントロール　アーム　リテーナとの距離を測定する。

(2) 左右差が3㎜以上ならば3㎜以内になるまでどちらか一方のサスペンシヨン　No.1　アームのカムで調整を行う。

(3) リヤ　ホイールを取りはずす。

(4) リヤ　サスペンシヨン　メンバ側のボルトをゆるめる。

(5) リヤ　ホイールを取り付ける。

T＝1050kg・cm

(6) 測定値がアウト側にはずれるときは，寸法の短い方のアームのカムで調整する。

(7) 測定値がイン側にはずれるときは，寸法の長い方のアームのカムで調整する。

注意 ・カムの位置は中心基準線から5目盛以上回さない。
・5目盛以上になる場合は，アームを点検する。

(8) トー　アジヤスト　カムを左右反対方向になるように同量ずつ回し，基準値内に入るように調整する。

調整基準値　3±1

〈参考〉 カム1目盛り（片側）でトーインは約4.2㎜変化する。

(9) リヤ　ホイールを取りはずす。

(10) リヤ　サスペンシヨン　メンバ側のボルトを締め付ける。

T＝1150kg・cm

(11) リヤ　ホイールを取り付ける。

T＝1050kg・cm

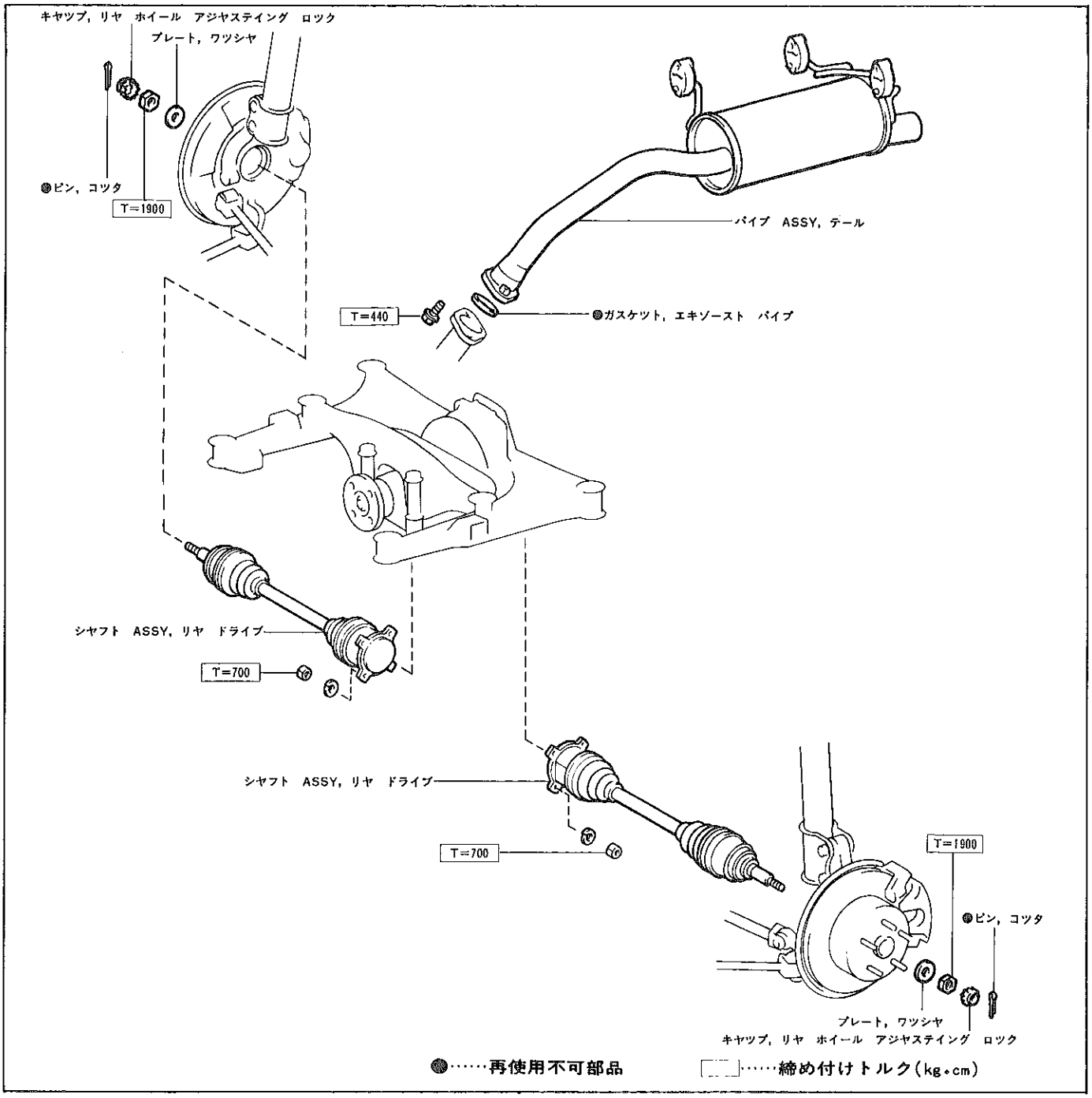
無断複製禁止

ドライブ　シャフト

準　備　品

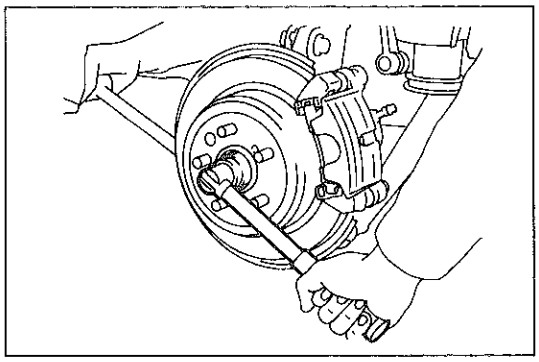
ＳＳＴ		09905-00012　エクスパンダ，スナップ　リング　No.1	スナップ　リング脱着用
工　具	ソケット　レンチ　30mm		ナット脱着用
計　器	トルク　レンチ(700～4200kg・cm)		ナット締め付け用

脱着構成図



E7886

無断複製禁止



E7957

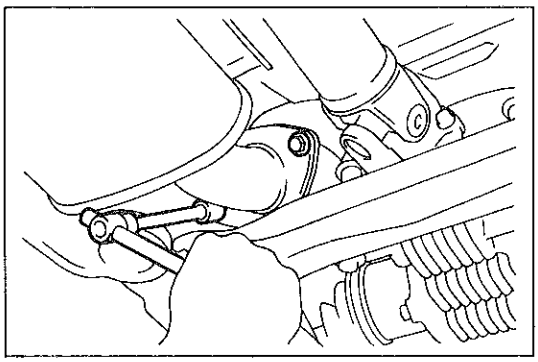
ドライブ シヤフト取りはずし

1 リヤ ホイール取りはずし

2 ナツト取りはずし

(1) コツタ ピンを取りはずし，リヤ ホイール アジヤステイング ロツク キヤツプを取りはずす。

(2) 30㎜のソケツト レンチを使用して，ナツトおよびプレートワツシヤを取りはずす。

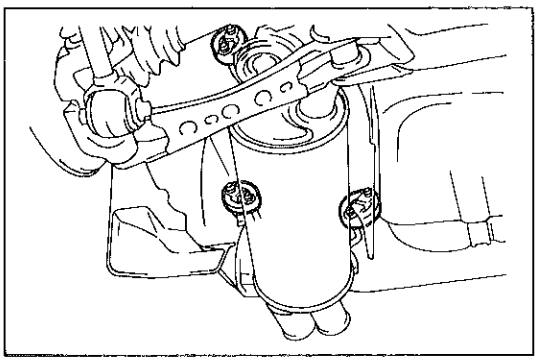


E7959

3 テール パイプ取りはずし(RH側)

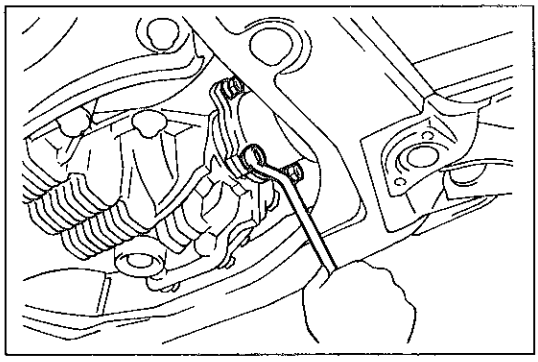
(1) ボルト2本を取りはずし，エキゾースト パイプ センタとテール パイプを切り離す。

(2) エキゾースト パイプ ガスケツトを取りはずす。



E7946

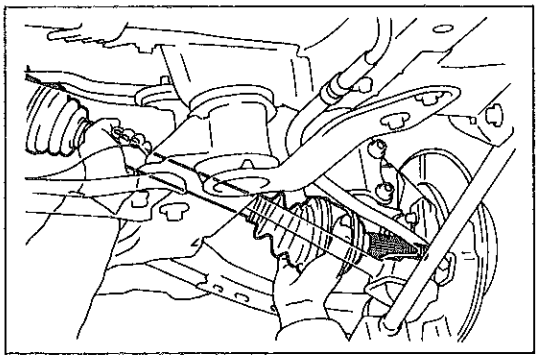
(3) テール パイプ リング3個を取りはずし，テール パイプを取りはずす。



E7960

4 ドライブ シヤフト取りはずし

(1) パーキング ブレーキ レバーを引き，ドライブ シヤフトを固定してナツト4個およびスプリング ワツシヤ4個を取りはずす。

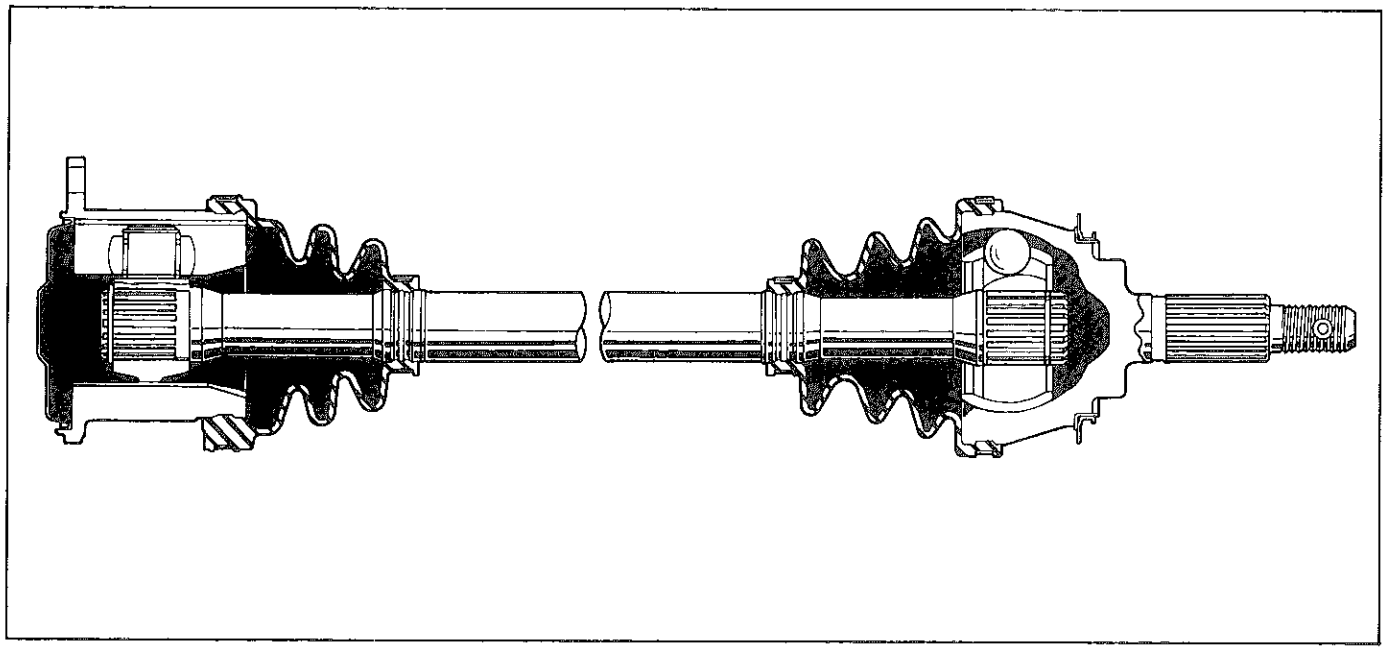


E7953

(2) ドライブ シヤフトをサイド ギヤ シヤフトから切り離し，リヤ アクスル シヤフトから取りはずす。

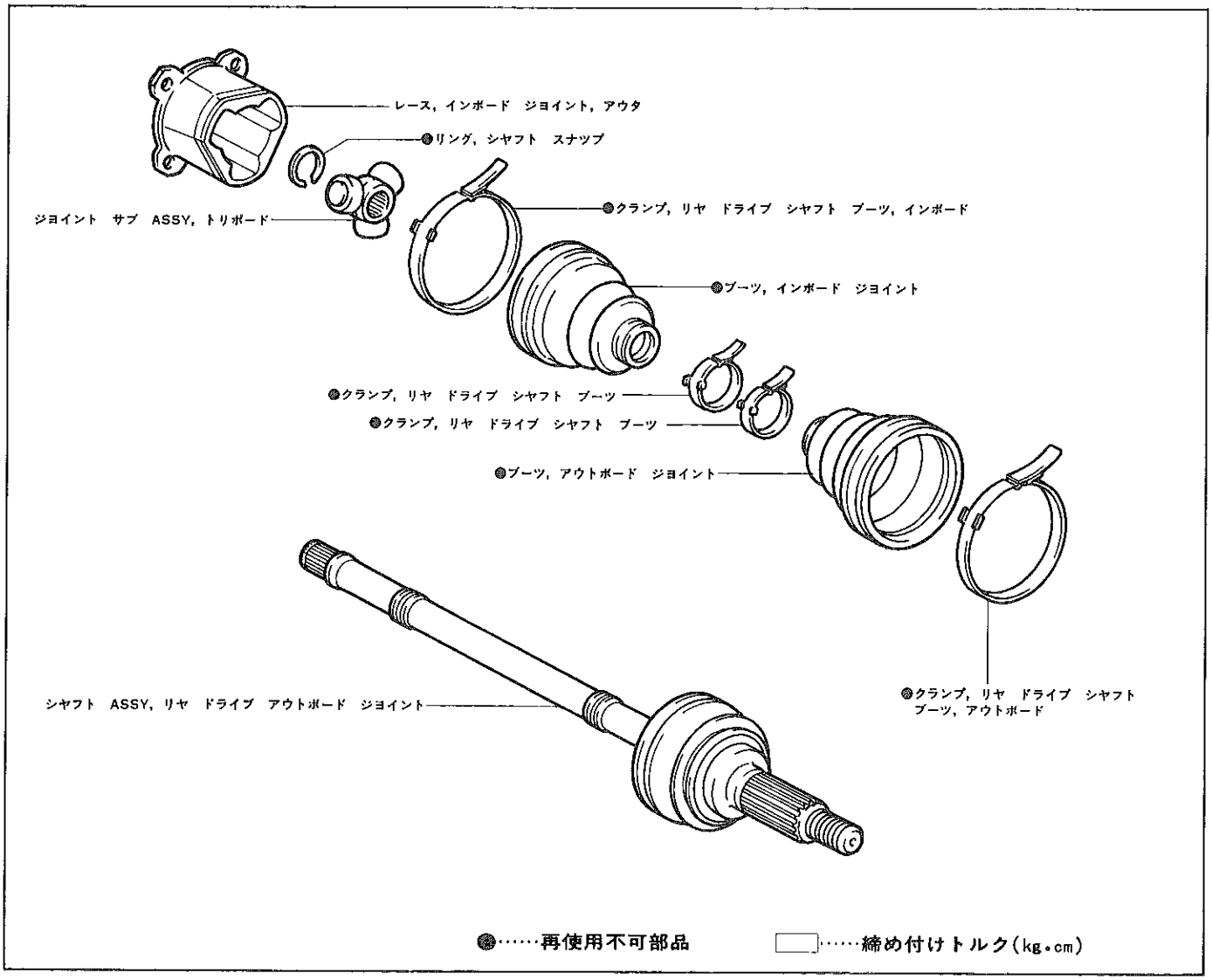
無断複製禁止

断　面　図



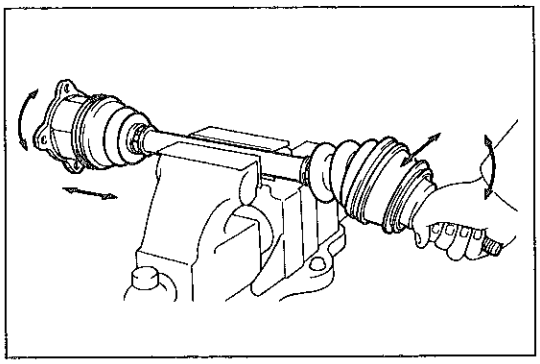
E7837

分解構成図



E7838

無断複製禁止

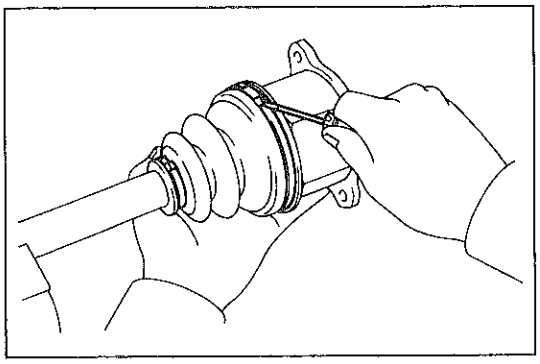


E7839

ドライブ シャフト分解前点検

(1) ジョイント部を上下，左右，軸方向に動かし，作動の不円滑および著しいガタがないことを確認する。

(2) ブーツの亀裂，損傷およびグリース漏れがないことを確認する。

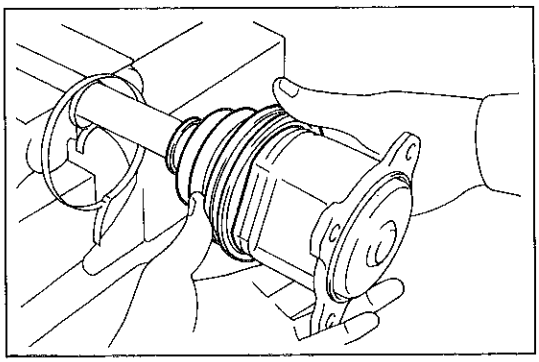


E7840

ドライブ シャフト分解

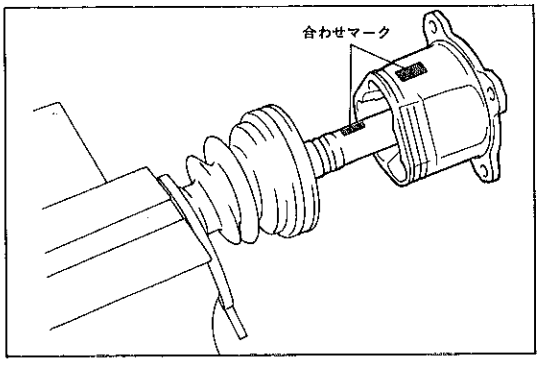
1 インボード ジョイント ブーツ切り離し

(1) ⊖溝ガドライバを使用して，ブーツ クランプ2個を取りはずす。



E7841

(2) インボード ジョイント ブーツをアウタ レースから取りはずす。



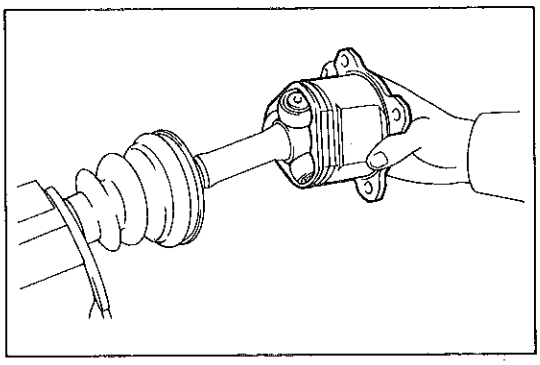
E7842

2 インボード ジョイント アウタ レース取りはずし

(1) インボード ジョイント部からグリースを取り除く。

(2) インボード ジョイント アウタ レースとドライブ シャフトに合わせマークを付ける。

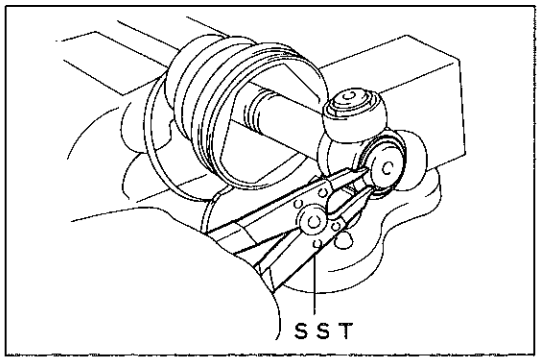
注意 ポンチを使用して，合わせマークを付けない。



E7843

(3) インボード ジョイント アウタ レースをドライブ シャフトから取りはずす。

無断複製禁止

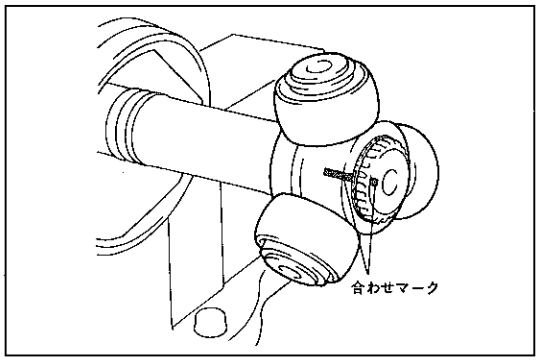


E7844

3　トリポード　ジヨイント取りはずし

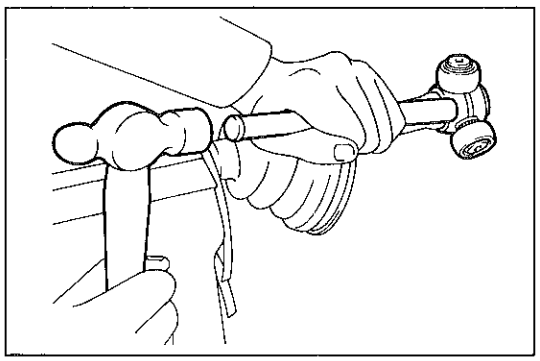
(1)　ＳＳＴを使用して，シヤフト　スナツプ　リングを取りはずす。

ＳＳＴ　09905-00012



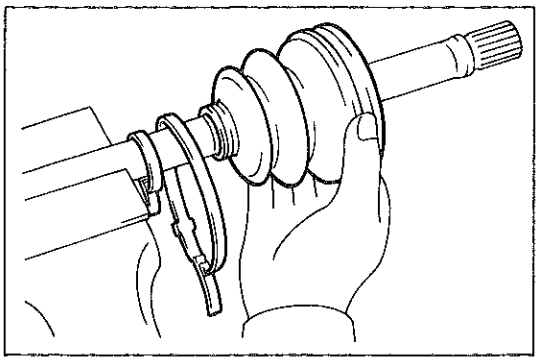
E7845

(2)　トリポード　ジヨイントとドライブ　シヤフトに合わせマークを付ける。

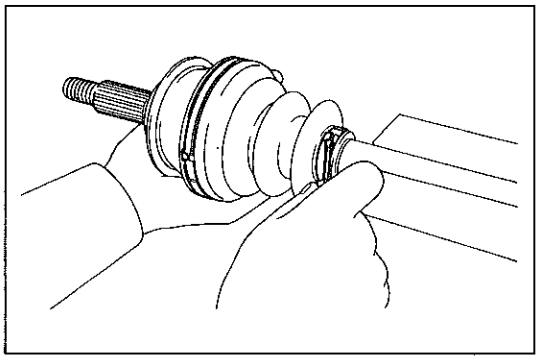

E7846

(3)　プラスバーを使用して，トリポード　ジヨイントを取りはずす。

注意　取りはずしの際，ローラ部をたたかない。


E7847

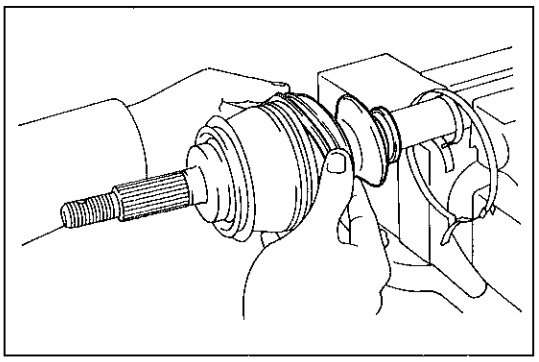
4　インボード　ジヨイント　ブーツおよびクランプ取りはずし


E7848

5　アウトボード　ジヨイント　ブーツ取りはずし

(1)　⊖薄刃ドライバを使用して，ブーツ　クランプ２個を取りはずす。

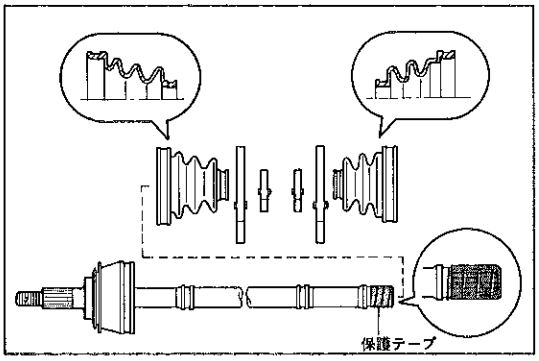
無断複製禁止



E7849

(2) アウトボード　ジョイント　ブーツをアウトボード　ジョイントから切り離す。

(3) アウトボード　ジョイント　ブーツおよびクランプ2個をドライブ　シャフトから取りはずす。



E7850

ドライブ　シャフト組み付け

1　ブーツおよびクランプ組み付け

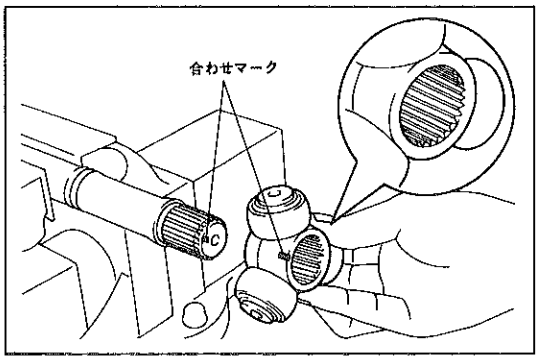
(1) ドライブ　シャフトのスプライン部でブーツを傷つけるおそれがあるため、保護テープを巻く。

(2) ドライブ　シャフトに次の新品部品を順に組み付ける。

① アウトボード　ジョイント　ブーツ

② クランプ4個

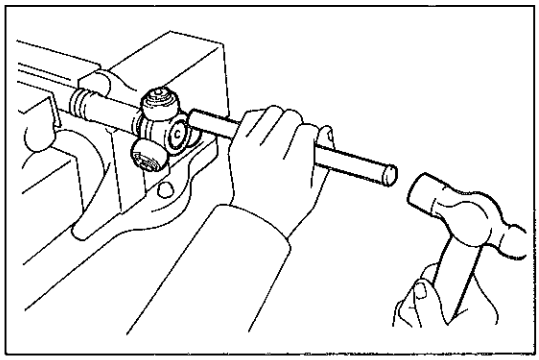
③ インボード　ジョイント　ブーツ



E7851

2　トリポード　ジョイント組み付け

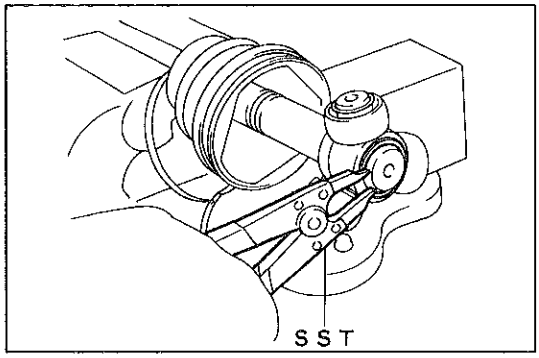
(1) トリポード　ジョイントとドライブ　シャフトの合わせマークに合わせて組み付ける。



E7852

(2) ブラスバーを使用して，トリポード　ジョイントを打ち込む。

注意　打ち込む際，ローラ部をたたかない。

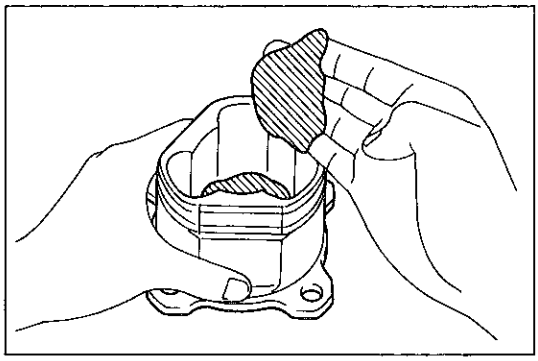


E7844

(3) ＳＳＴを使用して，新品のシャフト　スナップ　リングを組み付ける。

ＳＳＴ　09905-00012

無断複製禁止



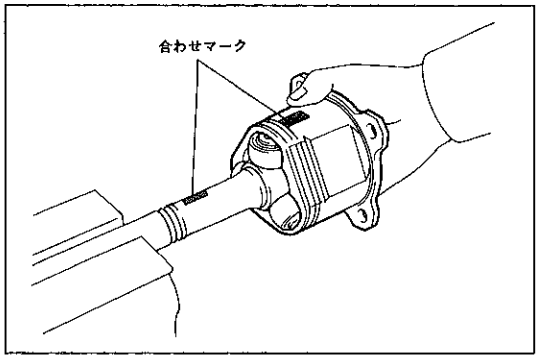
E7853

3　インボード　ジョイント　アウタ　レース組み付け

(1) インボード　ジョイント　アウタ　レースにグリースを充てんする。

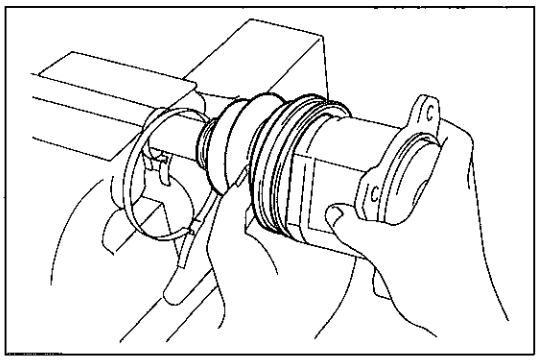
注意　インボード　ジョイントとアウトボード　ジョイントのグリースの種類が異なるため，間違えない。

〈参考〉　グリース量　215 g



E7854

(2) アウタ　レースとドライブ　シャフトの合わせマークに合わせて組み付ける。

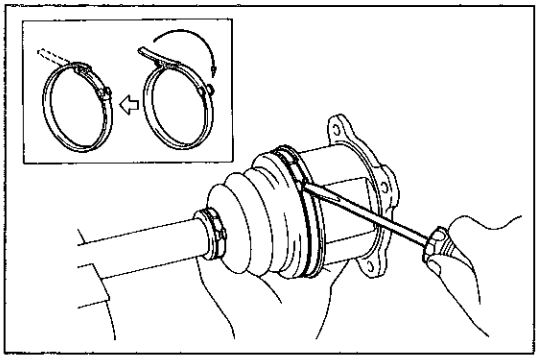


E7855

4　インボード　ジョイント　ブーツ組み付け

(1) インボード　ジョイント　ブーツをアウタ　レースおよびドライブ　シャフトの溝に確実に組み付ける。

注意　ブーツのアウタ　レースかん合溝部に，グリースを付着させない。



E7856

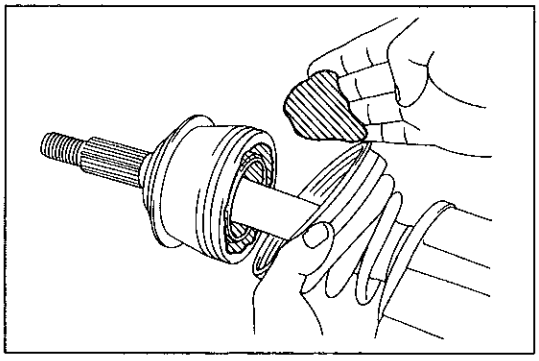
(2) クランプ2個をインボード　ジョイント　ブーツに組み付ける。

注意　アウタ　レース部固定のクランプは，アウトボード　ジョイント部のクランプより小さいものを組み付け，間違えない。

〈参考〉　識別ペイント　紫色

(3) プライヤを使用して，クランプを折り曲げ，⊖ドライバを使用して，クランプをかしめる。

注意　ブーツを傷つけない。



E7857

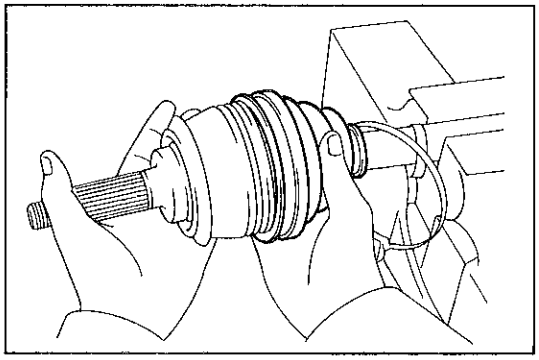
5　アウトボード　ジョイント　ブーツ組み付け

(1) ジョイント部にグリースを充てんする。

注意　アウトボード　ジョイントとインボード　ジョイントのグリースの種類が異なるため，間違えない。

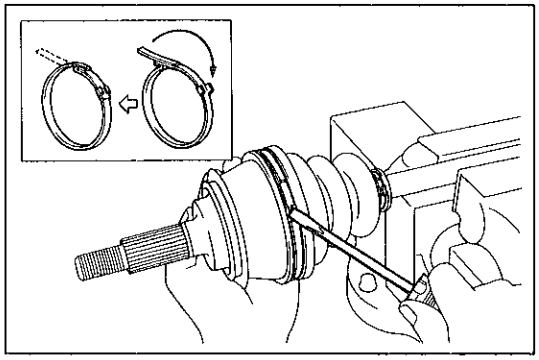
〈参考〉　グリース量　120 g

無断複製禁止


E7858

(2) アウトボード　ジヨイント　ブーツをジヨイント部の溝に確実に組み付ける。

注意　ブーツのジヨイント部かん合溝部に，グリースを付着させない。


E7859

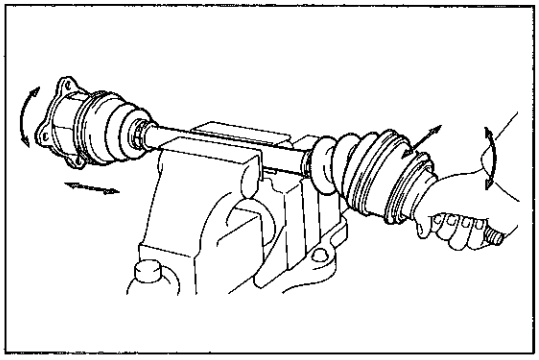
(3) クランプ2個をアウトボード　ジヨイント　ブーツに組み付ける。

注意　ジヨイント部固定のクランプは，インボード　ジヨイント部のクランプより大きいものを組み付け，間違えない。

〈参考〉 識別ペイント　黄色

(4) プライヤを使用して，クランプを折り曲げ，⊖ドライバを使用して，クランプをかしめる。

注意　ブーツを傷つけない。


E7839

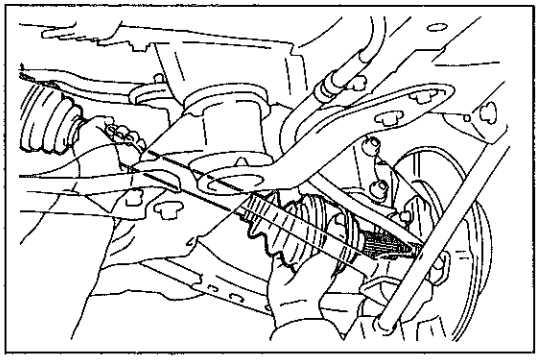
6　ドライブ　シヤフト点検

(1) ジヨイント部を上下，左右，軸方向に動かし，スムースに作動することを確認する。

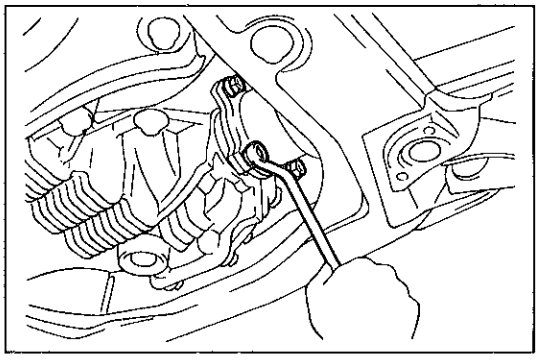
(2) ブーツの亀裂，損傷およびグリース漏れがないことを確認する。

ドライブ　シヤフト取り付け

1　ドライブ　シヤフト取り付け


E7953

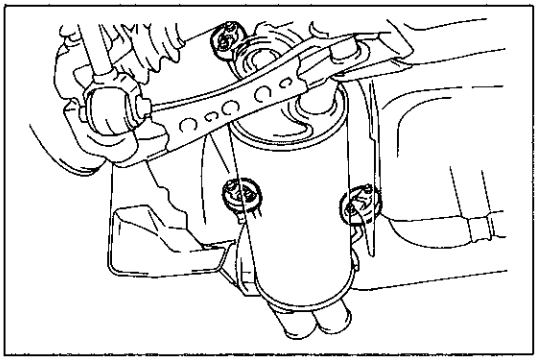
(1) ドライブ　シヤフトのスプラインをリヤ　アクスル　シヤフトに挿入し，サイド　ギヤ　シヤフトに取り付ける。


E7960

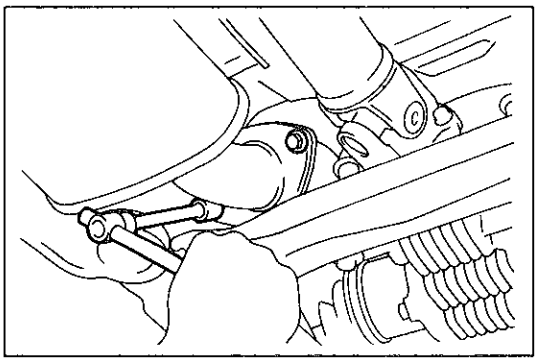
(2) パーキング　ブレーキ　レバーを引き，ドライブ　シヤフトを固定してスプリング　ワツシヤ4個を介し，ナツト4個を取り付ける。

T＝700kg・cm

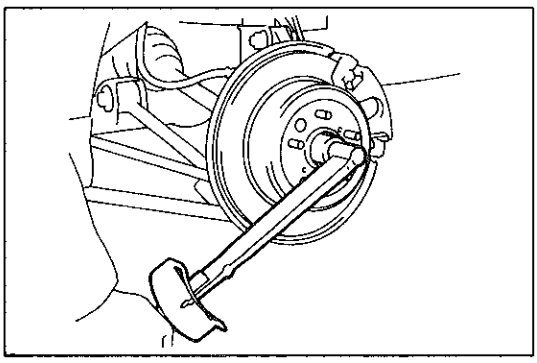
無断複製禁止



E7946



E7959



E7958

2　テール　パイプ取り付け（ＲＨ側）

(1) 新品のガスケツトをエキゾースト　パイプ　センタに取り付ける。

(2) テール　パイプをリング３個で取り付ける。

(3) ボルト２本で，エキゾースト　パイプ　センタとテール　パイプを取り付ける。

3　ナツト取り付け

(1) プレート　ワツシヤを介して，30㎜のソケツト　レンチを使用しナツトを取り付ける。

T＝1900kg・cm

(2) リヤ　ホイール　アジヤステイング　ロツク　キヤツプを取り付け，新品のコツタ　ピンを取り付ける。

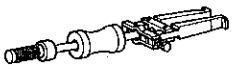
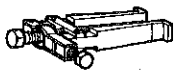
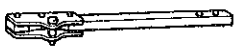
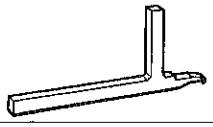
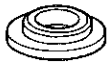
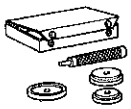
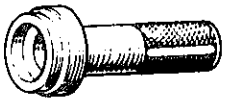
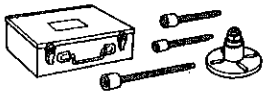
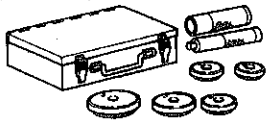
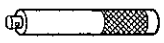
4　リヤ　ホイール取り付け

T＝1050kg・cm

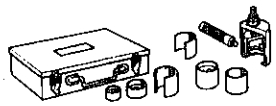
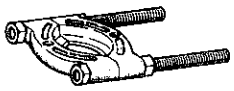
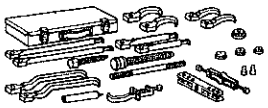
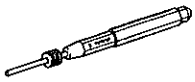
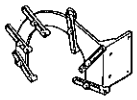
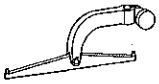
無断複製禁止

デイファレンシャル

準　備　品

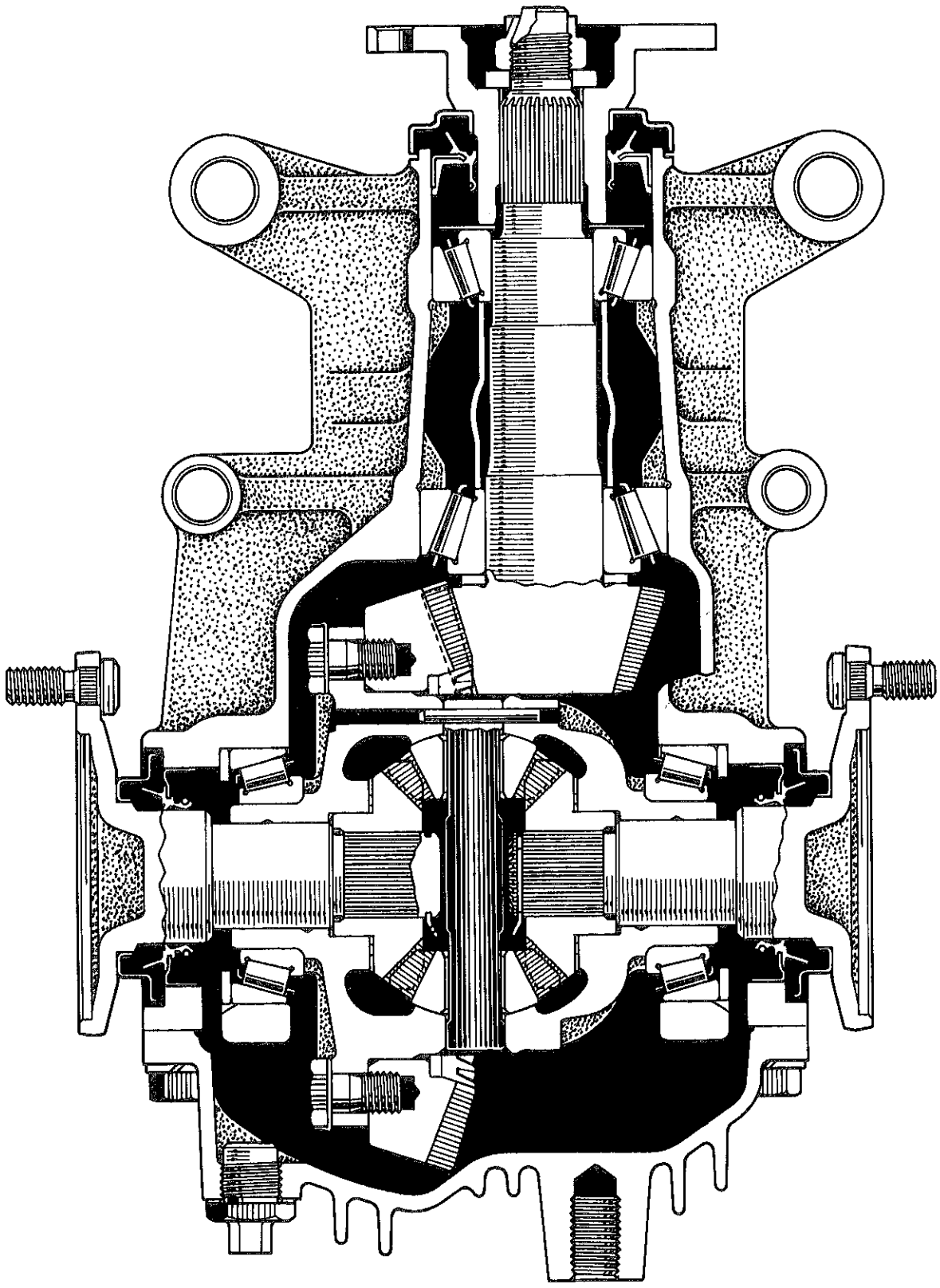
SST		09308-00010	プラー，オイル　シール	サイド　ギヤ　シャフト　オイル　シール取りはずし用
		09308-10010	プラー，オイル　シール	ドライブ　ピニオン　オイル　シール取りはずし用
		09330-00021	ツール，コンパニオン　フランジ　ホールデイング	コンパニオン　フランジ保持用
		09504-22011	リムーバ　アンド　リプレーサ，デイファレンシャル　サイド　ワッシャ	プレート　ワッシャ脱着用
		09506-30012	リプレーサ，デイファレンシャル　ドライブ　ピニオン　リヤ　ベアリング　コーン	ドライブ　ピニオン　フロント　ベアリング取り付け用
		09550-22011	ツール　セット，リヤ　アクスル　ベアリング　アンド　デイファレンシャル	サイド　ギヤ　シャフト　オイル　シール取り付け用（09550-00020，09550-00031）
		09554-22010	リプレーサ，デイファレンシャル　オイル　シール	ドライブ　ピニオン　オイル　シール取り付け用
		09556-22010	リムーバ，ドライブ　ピニオン　フロント　ベアリング	テーパード　ローラ　ベアリング（フロント　ベアリング）取りはずし用
		09557-22022	リムーバ　アンド　リプレーサ　コンパニオン　フランジ	コンパニオン　フランジ脱着用
		09608-30012	ツール　セット，フロント　ハブ　アンド　ドライブ　ピニオン　ベアリング	
		09608-04020	ハンドル	フロントおよびリヤ　ベアリング　アウタ　レース取り付け用
		09608-00060	リプレーサ，ドライブ　ピニオン　フロント　ベアリング　カップ	フロント　ベアリング　アウタ　レース取り付け用
		09608-04100	リプレーサ，ドライブ　ピニオン　フロント　ベアリング　カップ	リヤ　ベアリング　アウタ　レース取り付け用

無断複製禁止

ＳＳＴ		09710-22020	ツール　セツト，フロント　サスペンシヨン　ブシユ	サイド　ベアリング取り付け用 (09710-01030)
		09950-00020	リムーバ，ベアリング	ドライブ　ピニオン　リヤ　ベアリング取りはずし用
		09950-20017	プラー，ユニバーサル	サイド　ベアリング取りはずし用
工　具		09031-00030	ピン　ポンチ	ピニオン　シヤフト　ピン脱着用
		㈱バンザイ扱い ES-5TB 弥栄工業㈱扱い TL-FR	ＦＲ用　オートマチツク　トランスミツシヨン　オーバー　ホール　アタツチメント	デイフアレンシヤル　キヤリヤ分解，組み付け用
		㈱バンザイ扱い XY-1	ダイヤル　ゲージ　レバー式測定子	コンパニオン　フランジ振れ点検
	ソケツト　レンチ　30mm			ドライブ　ピニオン　ナツト脱着用
計　器	ダイヤル　ゲージ			各部測定用
	マイクロメータ(0～25mm)			各部測定用
	トルク　レンチ(0～30kg・cm)			プレロード測定用
	トルク　レンチ(500～2800kg・cm)			ドライブ　ピニオン　ナツト締め付け用
油　脂 その他	キヤツスル　ハイポイド　ギヤ　オイル　ＳＸ			デイフアレンシヤル　ケース内への注入用
	光明丹			リング　ギヤとドライブ　ピニオンの歯当たり点検用
	ヒータ			リング　ギヤ加熱用
	シール　パツキン　1281			デイフアレンシヤル　キヤリヤ　カバーへの塗布用

無断複製禁止

断 面 図

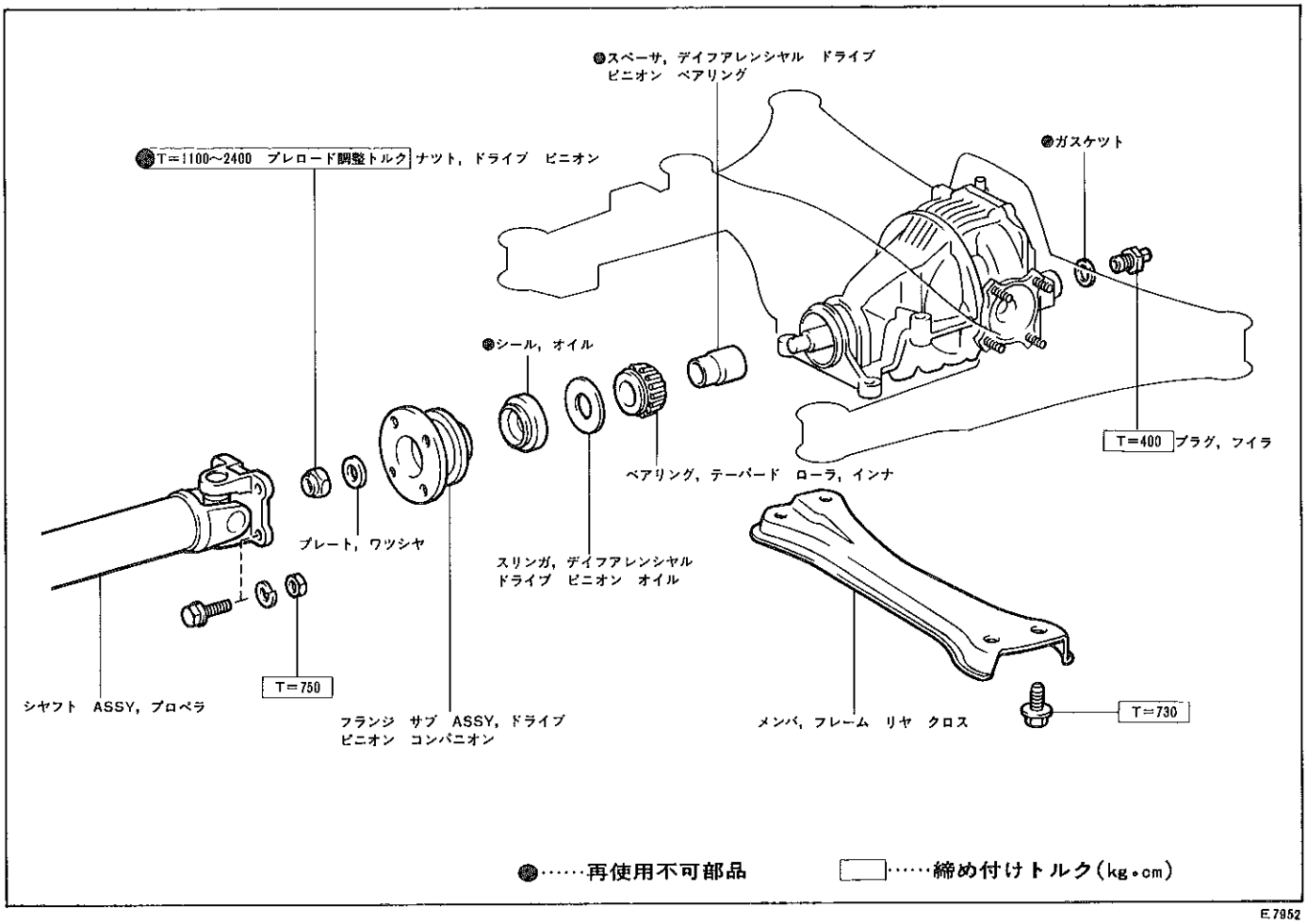


E 7860

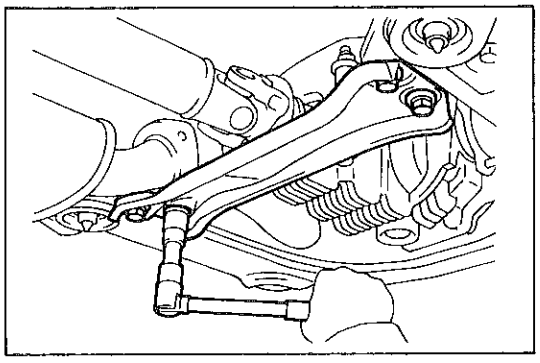
無断複製禁止

車上交換

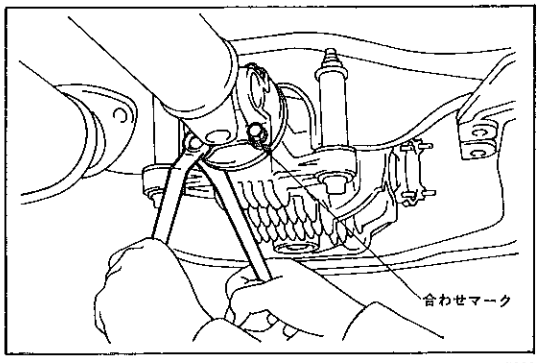
脱着構成図



E 7952



E 7861



E 7862

ドライブ　ピニオン　オイル　シール交換

1　フレーム　リヤ　クロス　メンバ取りはずし

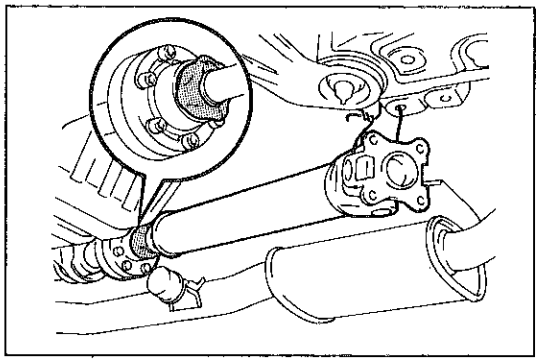
(1)　ボルト 4 本を取りはずし，フレーム　リヤ　クロス　メンバを取りはずす。

2　プロペラ　シヤフトの切り離し

(1)　プロペラ　シヤフトのフランジ　ヨークとコンパニオン　フランジに合わせマークを付ける。

(2)　ボルトおよびナツト各 4 個を取りはずし，プロペラ　シヤフトを切り離す。

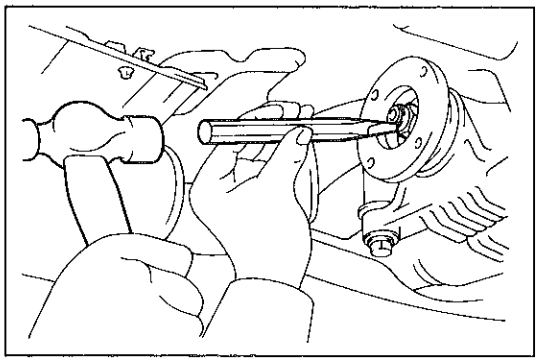
無断複製禁止



E7863

(3) プロペラ　シヤフトのジヨイント部に無理な力が加わらないようにプロペラ　シヤフトを吊り下げる。

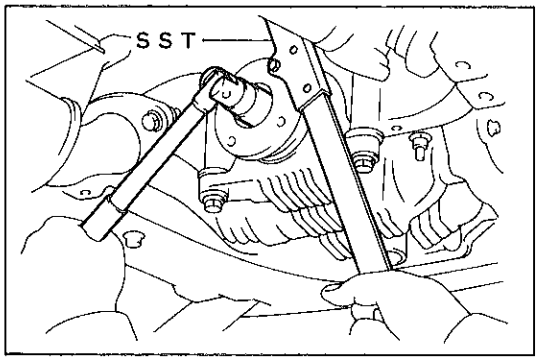
注意　ジヨイントのブーツ部にウエスなどを詰め込み，ブーツを傷つけない。



E7864

3　コンパニオン　フランジ取りはずし

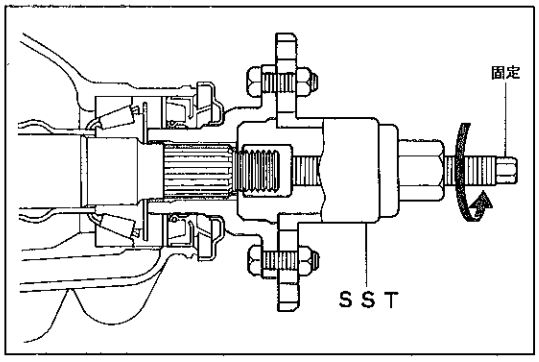
(1) タガネを使用して，ナツトのかしめを解く。



E7865

(2) ＳＳＴを使用して，フランジを固定し，ナツトおよびプレートワツシヤを取りはずす。

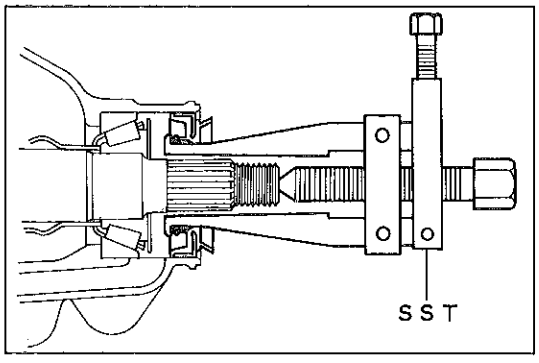
ＳＳＴ　09330-00021



E7866

(3) ＳＳＴを使用して，コンパニオン　フランジを取りはずす。

ＳＳＴ　09557-22022



E7867

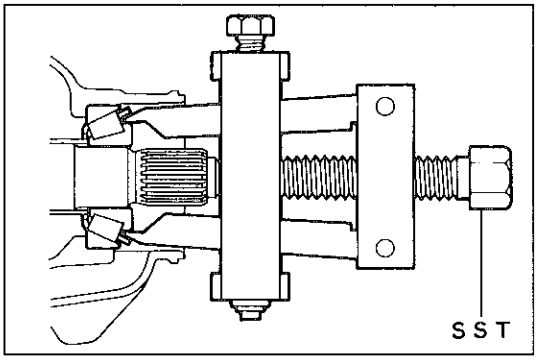
4　オイル　シール取りはずし

(1) ＳＳＴを使用して，オイル　シールを取りはずす。

ＳＳＴ　09308-10010

5　ドライブ　ピニオン　オイル　スリンガ取りはずし

無断複製禁止



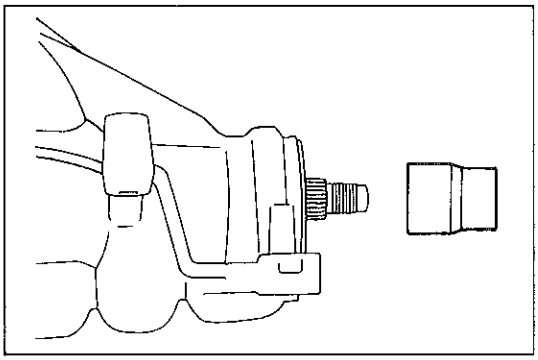
E8067

6　テーパード　ローラ　ベアリング　インナ(フロント用)取りはずし

(1)　ＳＳＴを使用して，テーパード　ローラ　ベアリング　インナを取りはずす。

ＳＳＴ　09556-22010

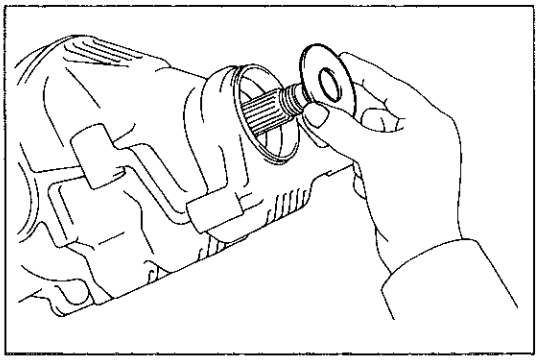
7　ドライブ　ピニオン　ベアリング　スペーサ取りはずし


E7947

8　ドライブ　ピニオン　ベアリング　スペーサ取り付け

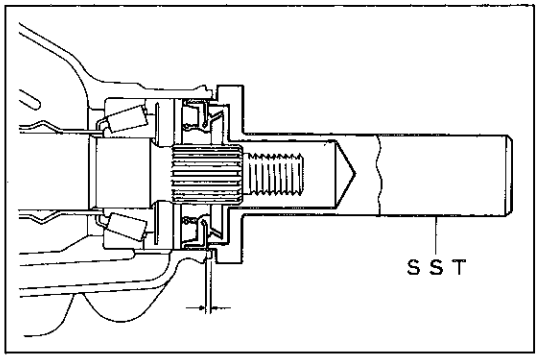
(1)　ドライブ　ピニオンに新品のスペーサを取り付ける。

注意　内径の大きい方をリヤ側へ向ける。


E7868

9　テーパード　ローラ　ベアリング　インナ(フロント用)取り付け

10　ドライブ　ピニオン　オイル　スリンガ取り付け



E7869

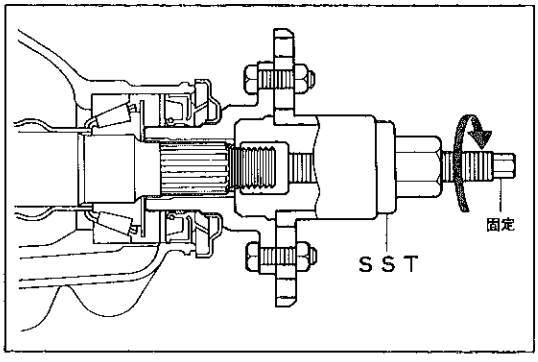
11　オイル　シール取り付け

(1)　新品のオイル　シールのリツプ部にキヤツスル　ＭＰ　グリース　No.2を塗布する。

(2)　ＳＳＴを使用して，オイル　シールを打ち込む。

ＳＳＴ　09554-22010

基準値　オイル　シール打ち込み量(キヤリヤ端面より)　2.0mm



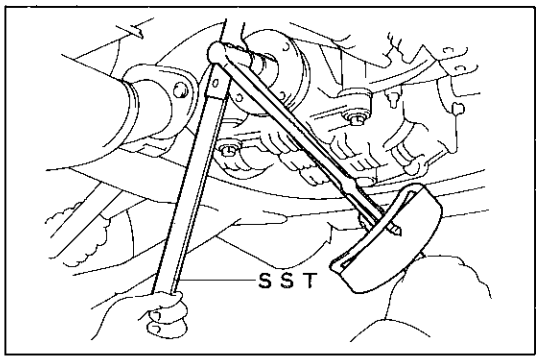
E7870

12　コンパニオン　フランジ取り付け

(1)　ＳＳＴを使用して，コンパニオン　フランジを取り付ける。

ＳＳＴ　09557-22022

無断複製禁止



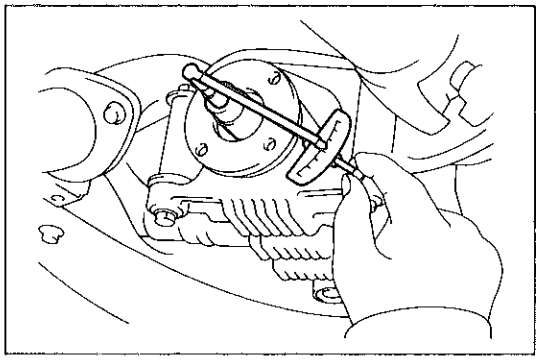
E7871

(2) プレートのワツシヤを取り付ける。

(3) 新品のナツトのねじ部にギヤ　オイルを塗布し，ＳＳＴを使用してフランジを固定し，ナツトを締め付ける。(P6-43参照)

ＳＳＴ　09330-00021

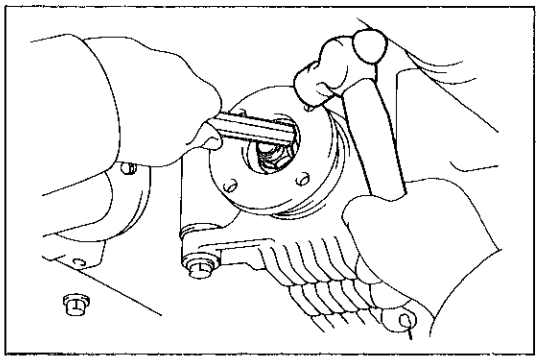
Ｔ＝1100～2400kg・cm


E7872

13　ドライブ　ピニオン　プレロード点検

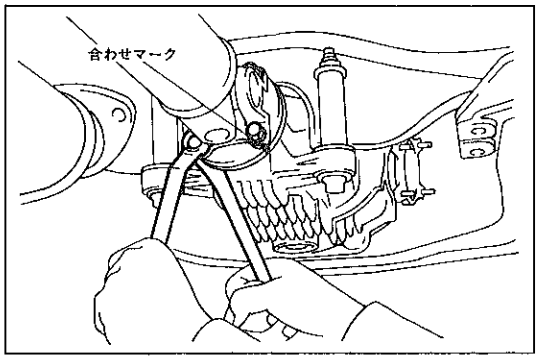
(1) ドライブ　ピニオンとリング　ギヤのバツクラツシユの範囲内で起動トルクを測定する。

基準値　5～8 kg・cm


E7873

14　ナツトかしめ

(1) タガネを使用して，ナツトをかしめる。



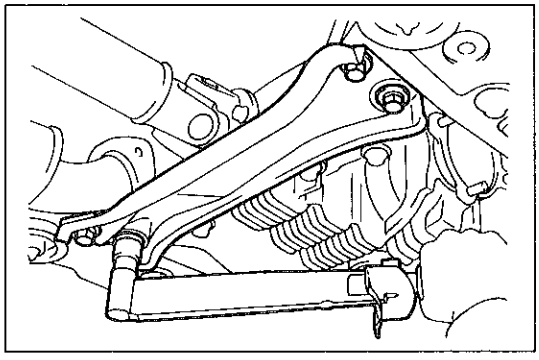
E7862

15　プロペラ　シヤフト取り付け

(1) デイフアレンシヤルのコンパニオン　フランジの合わせマークに合わせてプロペラ　シヤフトを取り付ける。

(2) ボルトおよびナツト各４個を締め付ける。

Ｔ＝750kg・cm

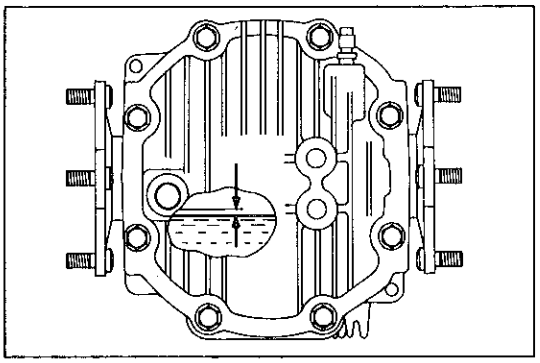

E7874

16　フレーム　リヤ　クロス　メンバ取り付け

(1) ボルト４本で，フレーム　リヤ　クロス　メンバを取り付ける。

Ｔ＝730kg・cm

無断複製禁止



E7875

17　デイフアレンシヤル　オイル量点検

基準値　　フイラ下面　＋0 mm
　　－5 mm

フイラ　プラグ締め付けトルク　T＝400kg・cm

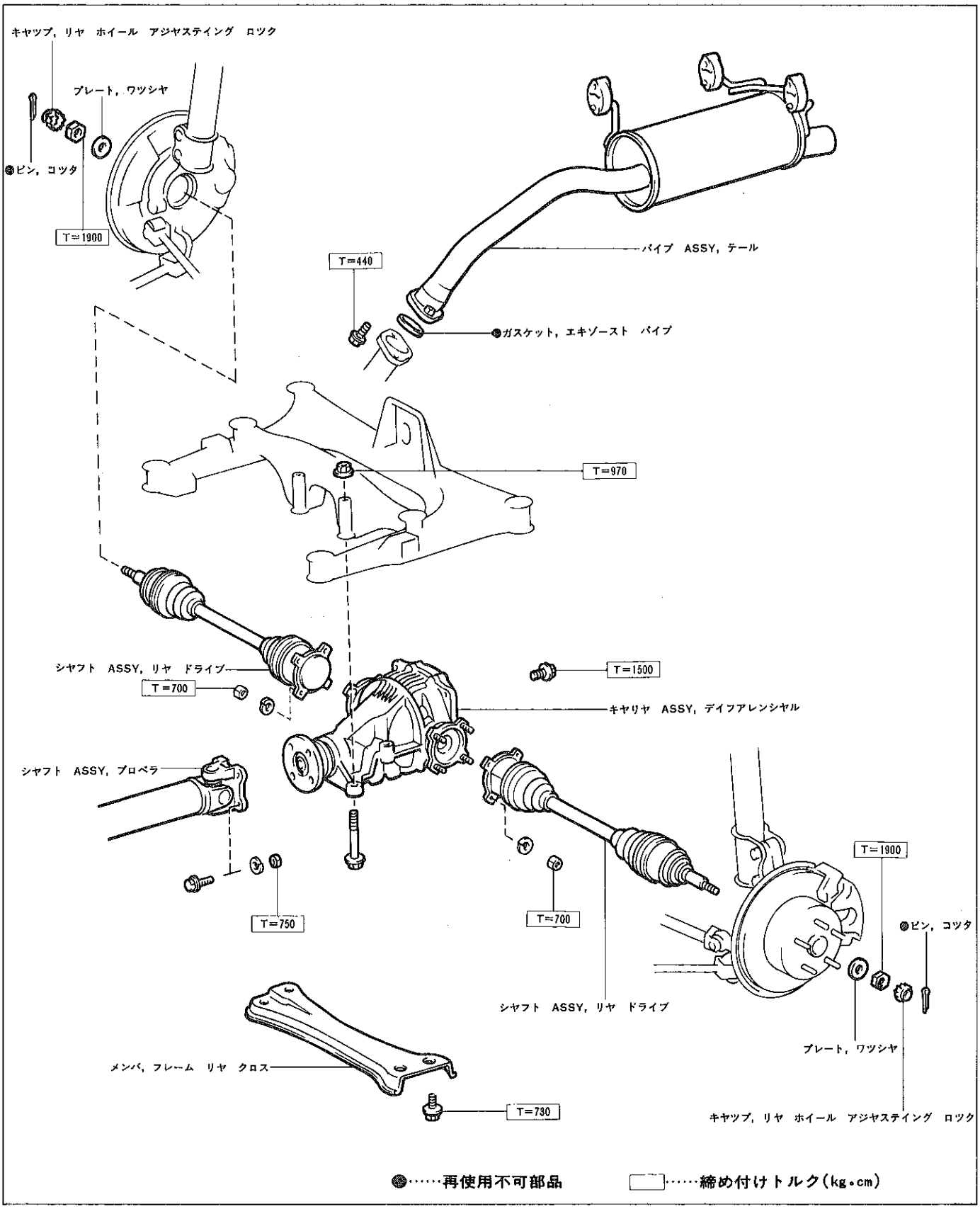
〈参考〉　使用オイルと油量
　　キヤツスル　ハイポイド　ギヤ　オイル　SX
　　全油量　1.2ℓ

無断複製禁止

デイフアレンシヤル

キヤリヤ　ASSY

脱着構成図



●……再使用不可部品　　□……締め付けトルク(kg・cm)

E7876

無断複製禁止

デイフアレンシヤル　キヤリヤ　ASSY取りはずし

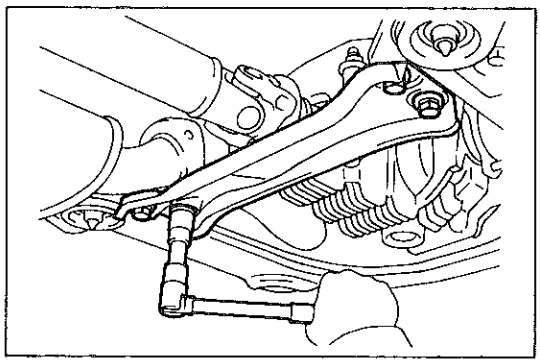
1　オイル抜き取り

(1)　フイラ　プラグおよびガスケツトを取りはずす。

(2)　ドレーン　プラグおよびガスケツトを取りはずし，オイルを抜き取る。

2　ドライブ　シヤフト　ＡＳＳＹ(ＲＨ，ＬＨ)取りはずし

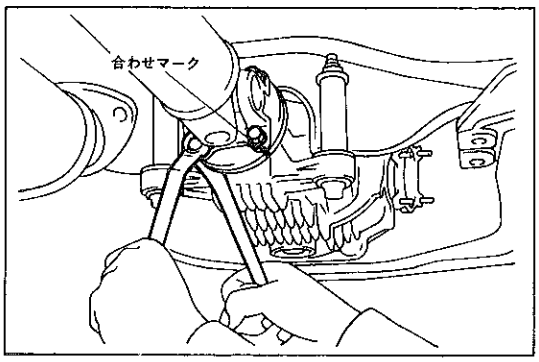
（Ｐ6−8参照）



E7861

3　フレーム　リヤ　クロス　メンバ取りはずし

(1)　ボルト４本を取りはずし，フレーム　リヤ　クロス　メンバを取りはずす。

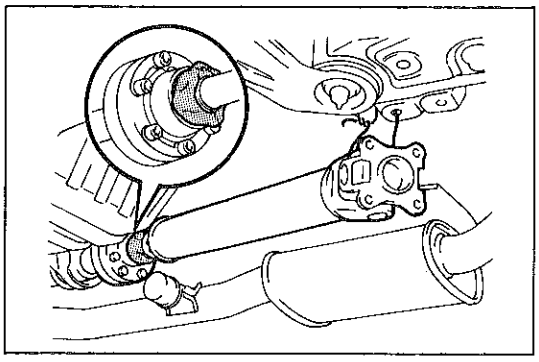


E7862

4　プロペラ　シヤフト切り離し

(1)　プロペラ　シヤフトのフランジ　ヨークとコンパニオン　フランジに合わせマークを付ける。

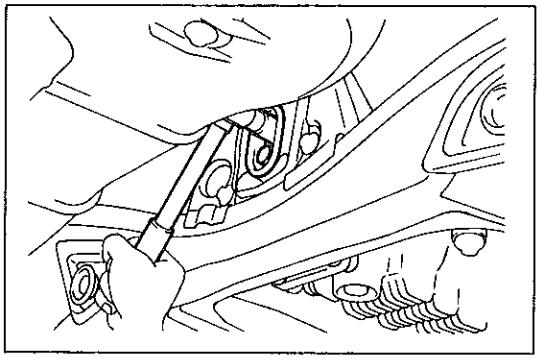
(2)　ボルトおよびナツト各４個を取りはずし，プロペラ　シヤフトを切り離す。



E7863

(3)　プロペラ　シヤフトのジヨイント部に無理な力が加わらないようにプロペラ　シヤフトを吊り下げる。

注意　ジヨイントのブーツ部にウエスなどを詰め込み，ブーツを傷つけない。



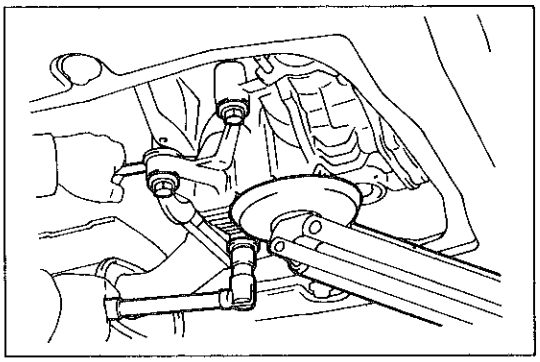
E7877

5　デイフアレンシヤル　キヤリア　ＡＳＳＹ取りはずし

(1)　デイフアレンシヤル　キヤリア　ＡＳＳＹをジヤツキで支える。

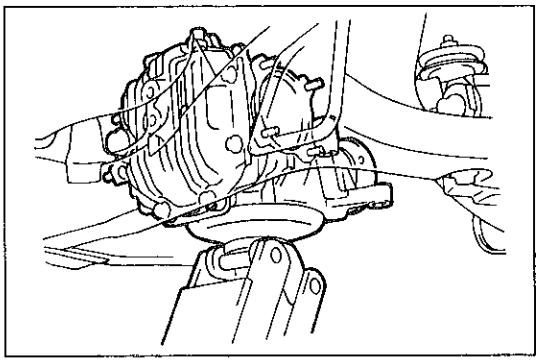
(2)　ボルト２本を取りはずす。

無断複製禁止



E 7878

(3)　ボルトおよびナツト各4個を取りはずす。



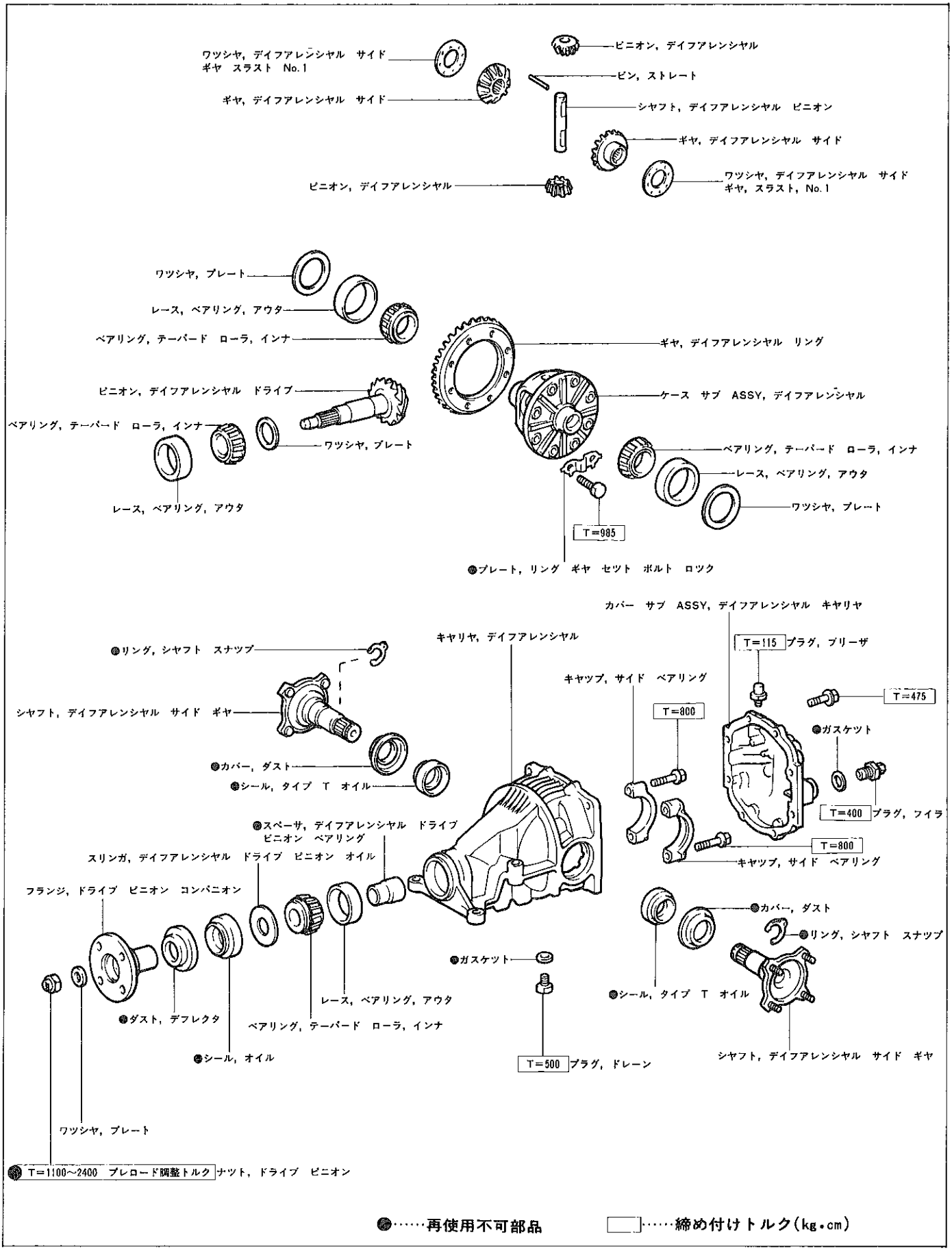
E 7879

(4)　ジヤツキを操作して，デイフアレンシヤル　キヤリヤ　ASSYをゆつくりと下ろす。

注意　デイフアレンシヤル　キヤリヤ　ＡＳＳＹを落とさない。

無断複製禁止

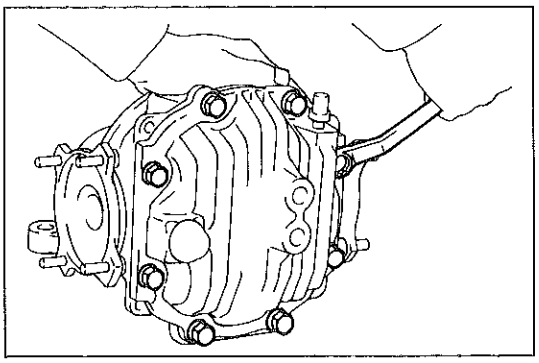
分解構成図

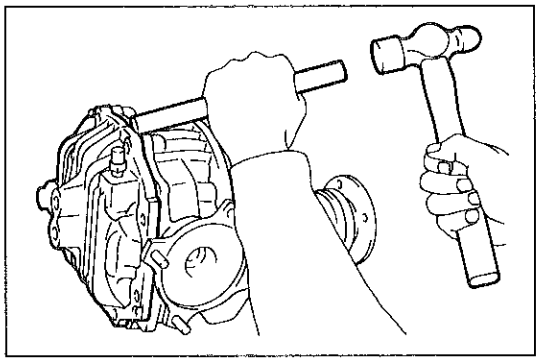


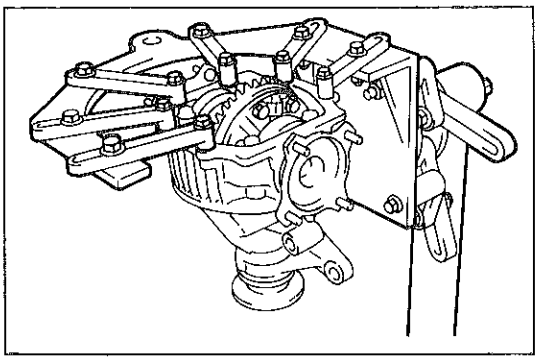
●……再使用不可部品　　□……締め付けトルク(kg・cm)

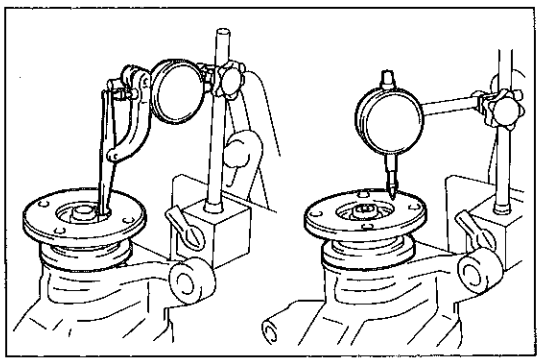
E 7880

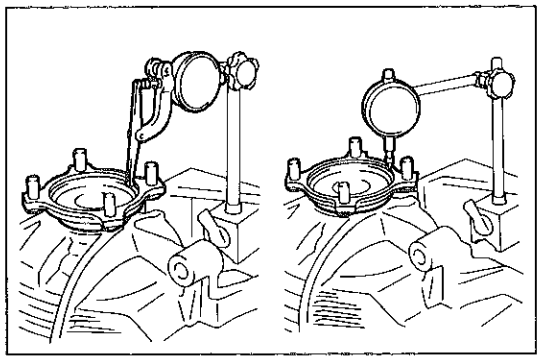
無断複製禁止


E7881


E7882


E7883


E7884　E7885


E7886　E7887

デイフアレンシアル　キヤリヤ　ＡＳＳＹ分解前点検

〈参考〉　3～10の分解前点検は不具合のあるものを分解する場合必ず点検すること。

1　デイフアレンシアル　キヤリヤ　カバー取りはずし

(1)　ボルト８本を取りはずす。

(2)　ブラスバーを使用して，軽くたたいてキヤリヤ　カバーを取りはずす。

2　デイフアレンシヤル　キヤリヤ　ＡＳＳＹ固定

(1)　デイフアレンシヤル　キヤリヤ　ＡＳＳＹをオーバーホールアタツチメントに固定する。

3　コンパニオン　フランジの振れ点検

(1)　ダイヤル　ゲージをコンパニオン　フランジの内周面に直角に取り付け，コンパニオン　フランジの縦振れを測定する。

限　度　　0.10mm

(2)　ダイヤル　ゲージをコンパニオン　フランジ面に直角に，またボルト取り付け穴の外側に取り付け，コンパニオン　フランジの横振れを測定する。

限　度　　0.10mm

4　サイド　ギヤ　シヤフト　フランジ部振れ点検

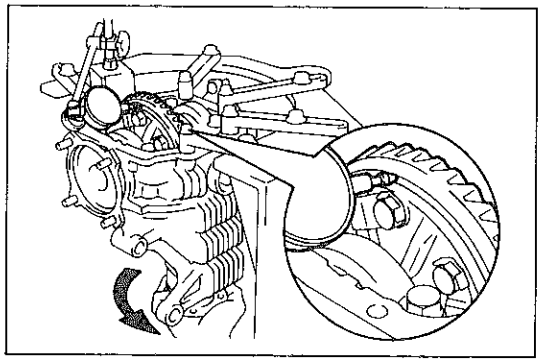
(1)　ダイヤル　ゲージをサイド　ギヤ　シヤフトの内周面に直角に取り付け，フランジの縦振れを測定する。

限度度　　0.20mm

(2)　ダイヤル　ゲージをフランジ面に直角に取り付け，フランジの横振れを測定する。

限　度　　0.20mm

無断複製禁止

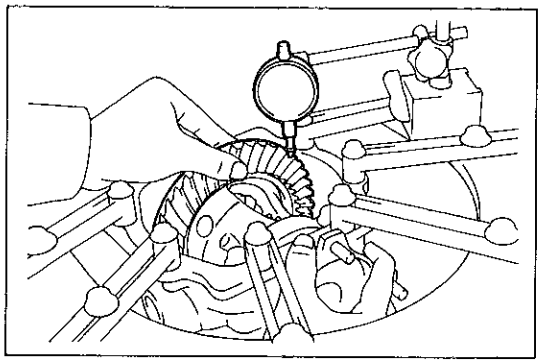


E7888

5　リング　ギヤ振れ点検

(1)　リング　ギヤの背面の振れをダイヤル　ゲージで点検する。

限　度　　0.07mm



E7889

6　リング　ギヤのバツクラツシユ点検

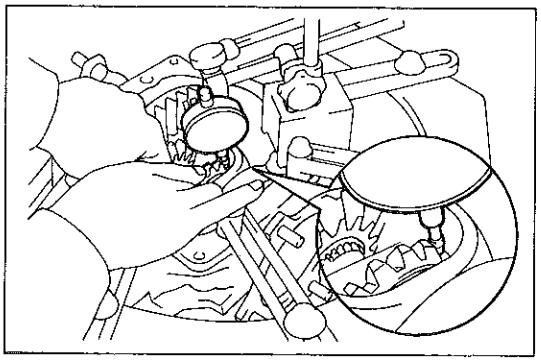
(1)　ダイヤル　ゲージをリング　ギヤの歯車先端に直角に当てサイド　ギヤ　シヤフトを固定し，リング　ギヤを動かして測定する。

基準値　　0.13～0.18mm

注意　リング　ギヤ円周上の3箇所以上で測定する。

7　リング　ギヤとドライブ　ピニオンの歯当たり点検

（P6-41参照）

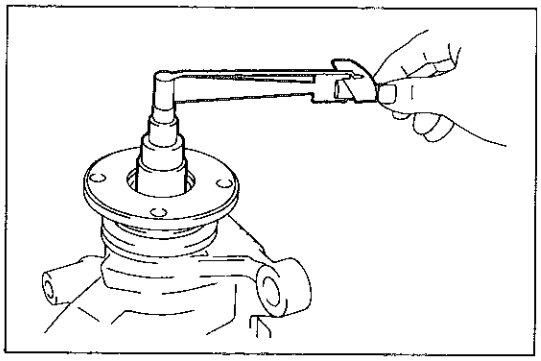


E7890

8　サイド　ギヤのバツクラツシユ点検

(1)　ダイヤル　ゲージをサイド　ギヤの歯面先端に直角に当て，ピニオンをデイフアレンシヤル　ケースの方へ固定しバツクラツシユを測定する。

基準値　　0.05～0.20mm



E7891

9　ドライブ　ピニオン　プレロード測定

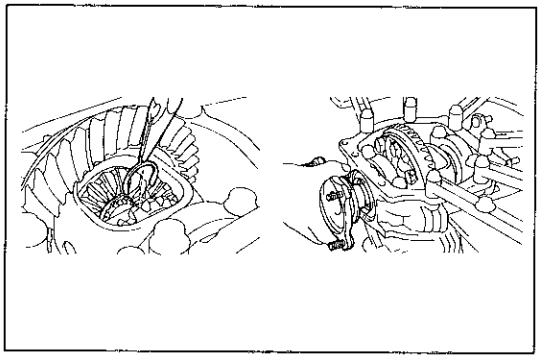
(1)　トルク　レンチを使用して，ドライブ　ピニオンとリング　ギヤのバツクラツシユの範囲内で起動トルクを測定する。

基準値　　5～8 kg・cm

10　総合プレロード点検

(1)　トルク　レンチを使用して，ドライブ　ピニオンとリング　ギヤ歯面を当てた状態で起動トルクを測定する。

基準値　　総合プレロード＝ドライブ　ピニオン　プレロード
＋5～8 kg・cm



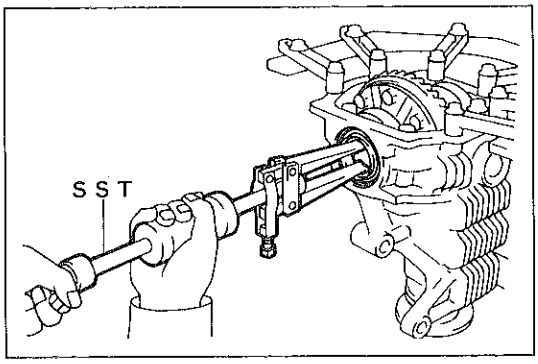
E7892　E7893

デイフアレンシヤル　キヤリヤ　ＡＳＳＹ分解

1　サイド　ギヤ　シヤフト取りはずし

(1)　ニードル　ノーズ　プライヤを使用して，シヤフト　スナツプリング2個を取りはずし，サイド　ギヤ　シヤフト2本を取りはずす。

無断複製禁止

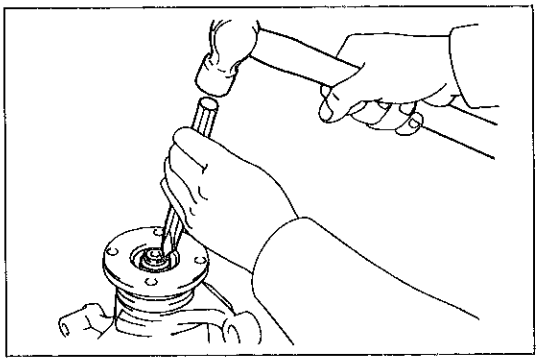


E7894

2　サイド　ギヤ　シヤフト　オイル　シール取りはずし

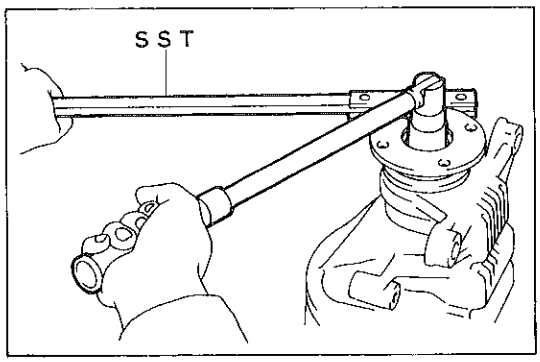
(1)　ＳＳＴを使用して，オイル　シール２個を取りはずす。

ＳＳＴ　　09308-00010


E7895

3　コンパニオン　フランジ取りはずし

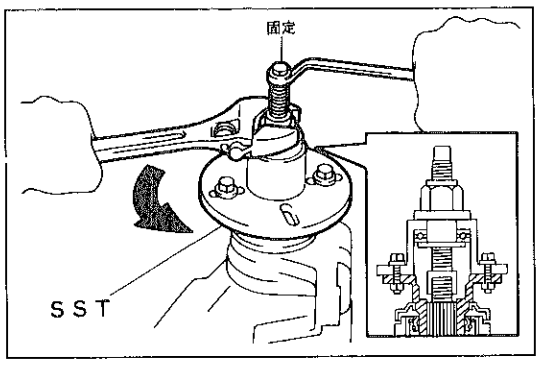
(1)　タガネを使用して，ナツトのかしめを解く。



E7896

(2)　ＳＳＴを使用して，フランジを固定し，ナツトおよびプレートワツシヤを取りはずす。

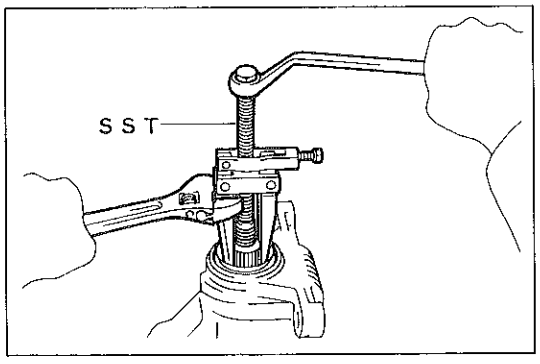
ＳＳＴ　　09330-00021



E7897

(3)　ＳＳＴを使用して，コンパニオン　フランジを取りはずす。

ＳＳＴ　　09557-22022



E7898

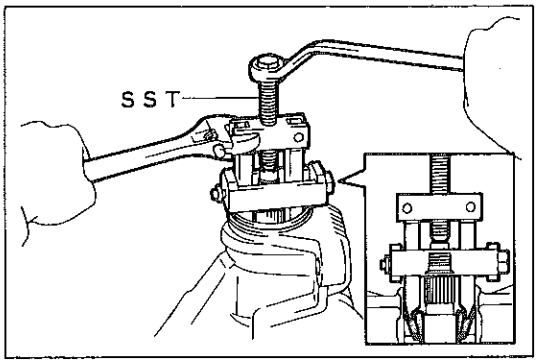
4　オイル　シール取りはずし

(1)　ＳＳＴを使用して，オイル　シールをデイフアレンシヤル　キヤリアから取りはずす。

ＳＳＴ　　09308-10010

5　ドライブ　ピニオン　オイル　スリンガ取りはずし

無断複製禁止



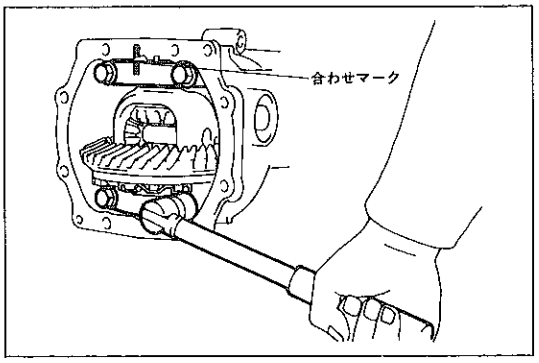
E7899

6　フロント　ベアリングおよびベアリング　スペーサ取りはずし

(1)　ＳＳＴを使用して，フロント　ベアリングをデイフアレンシヤル　キヤリヤから取りはずす。

ＳＳＴ　09556-22010

(2)　ベアリング　スペーサを取りはずす。



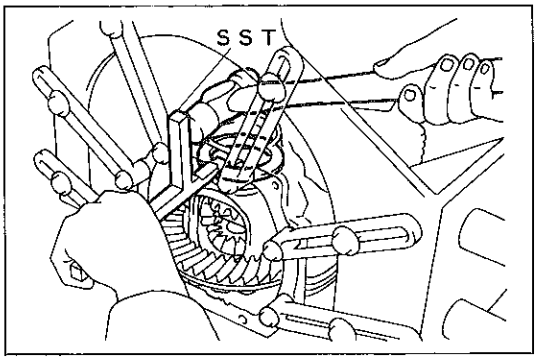
E7900

7　デイフアレンシヤル　ケース　ＡＳＳＹ取りはずし

(1)　ベアリング　キヤツプとデイフアレンシヤル　キヤリヤに合わせマークを付ける。

(2)　ボルト４本を取りはずし，ベアリング　キヤツプ２個を取りはずす。

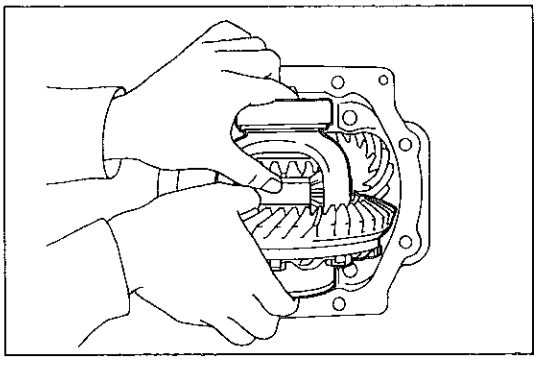
注意　ベアリング　キヤツプとキヤリヤは一体で加工されているため組み合わせを変えない。



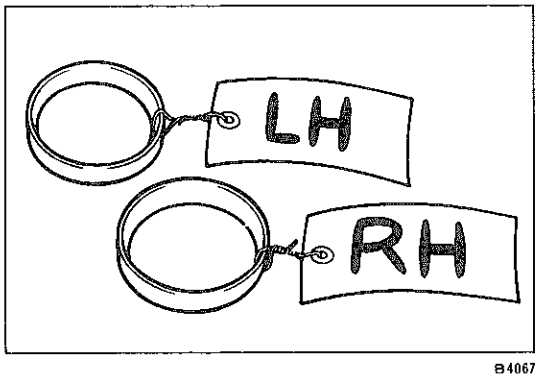
E7901

(3)　ＳＳＴを使用して，プレート　ワツシヤ（バツクラツシユ調整用）を取りはずす。

ＳＳＴ　09504-22011


E7902

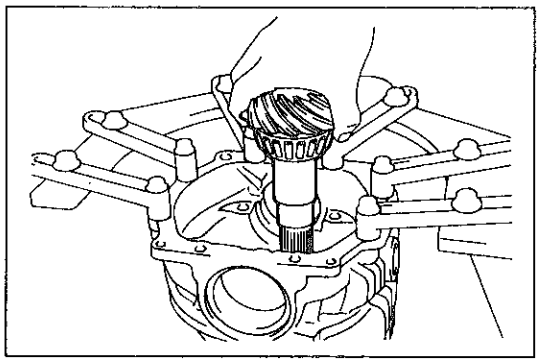
(4)　デイフアレンシヤル　ケースをベアリング　アウタ　レースとともに取りはずす。



B4067

注意　ベアリング　アウタ　レースに左右(背面側，歯面側)の識別マークを付けるかまたは別々に整理する。

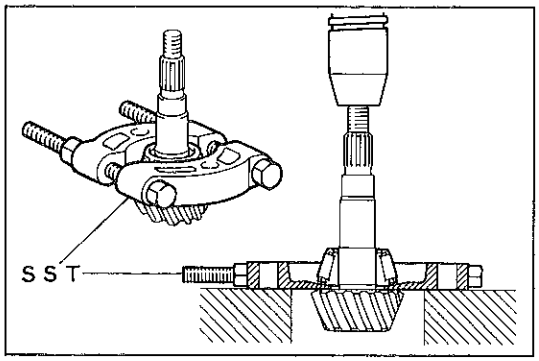
無断複製禁止



E7903

8　ドライブ　ピニオン取りはずし

(1)　デイフアレンシヤル　キヤリヤからドライブ　ピニオンを取りはずす。



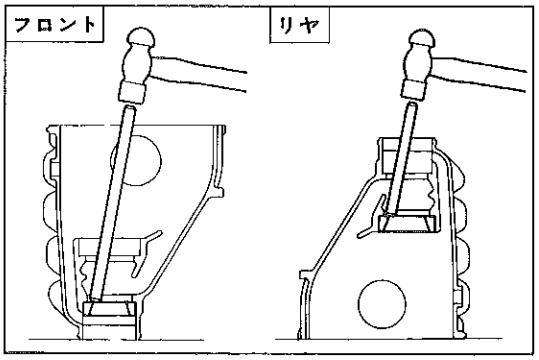
D9336

9　テーパード　ローラ　ベアリング　インナ(リヤ用)

(1)　ＳＳＴとプレスを使用して，ドライブ　ピニオンからリヤ　ベアリングを取りはずす。

ＳＳＴ　　09950-00020

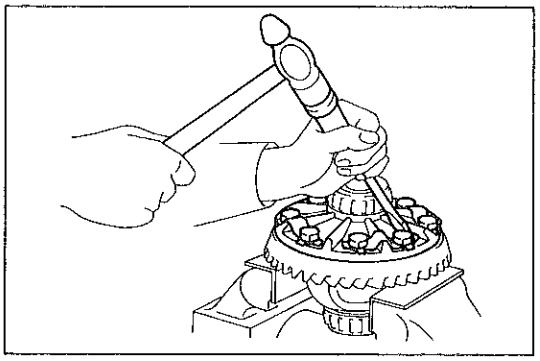
(2)　プレート　ワツシヤを取りはずす。



E7904　E7905

10　フロントおよびリヤ　ベアリング　アウタ　レース取りはずし

(1)　ブラスバーを使用して，ベアリング　アウタ　レースを軽く均等にたたきながら打ち抜く。

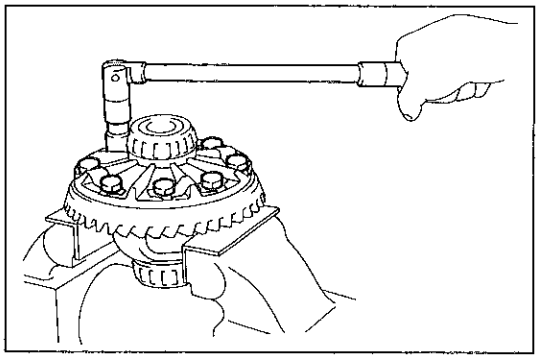


D9013

11　リング　ギヤ取りはずし

(1)　デイフアレンシヤル　ケースとリング　ギヤに合わせマークを付ける。

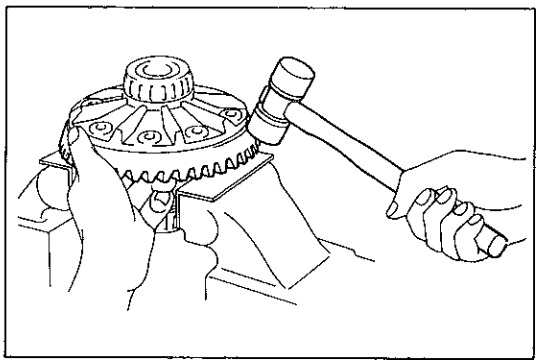
(2)　⊖ドライバを使用して，ロツク　プレートのかしめを解く。



D9014

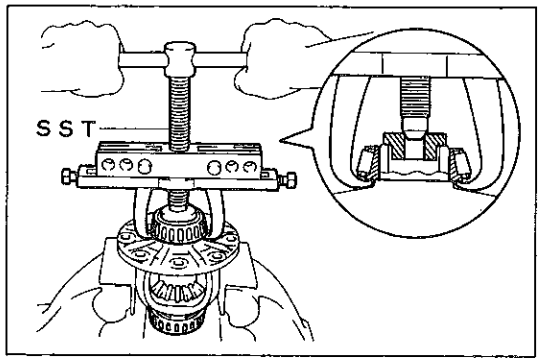
(3)　ボルト８本およびロツク　プレート４個を取りはずす。

無断複製禁止


D9015

(4) プラステイツク　ハンマを使用して，リング　ギヤ外周を軽くたたいて取りはずす。

(5) デイフアレンシヤル　ケース　ＡＳＳＹの振れを点検する。
（Ｐ6-33参照）



E7906

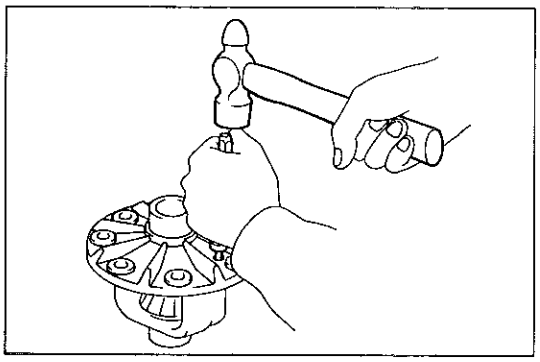
10　テーパード　ローラ　ベアリング　インナ（サイド　ベアリング）取りはずし

(1) デイフアレンシヤル　ケースの切り欠き部よりベアリングのインナ　レースにＳＳＴのツメをかける。

(2) ＳＳＴを使用して，デイフアレンシヤル　ケースからテーパード　ローラ　ベアリング２個を取りはずす。

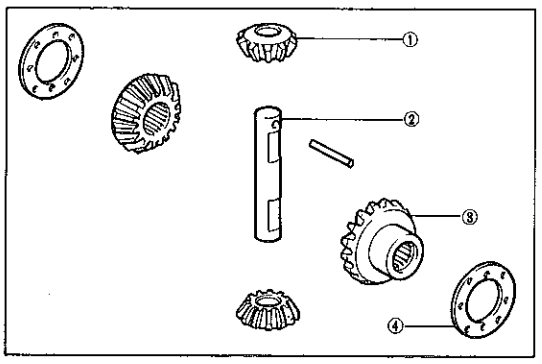
ＳＳＴ　09950-20017

〈参考〉 ベアリング脱着は，リング　ギヤを取り付けた状態でできるので，サイド　ベアリング交換以外は取りはずす必要はない。


D9017

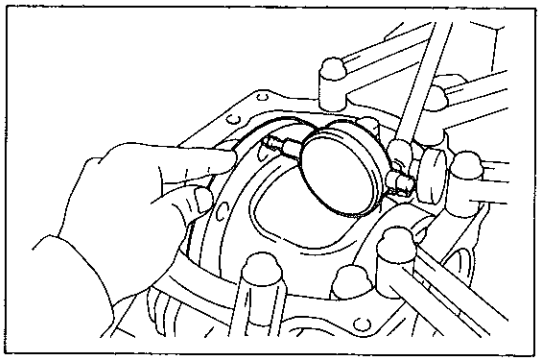
11　デイフアレンシヤル　ケース分解

(1) ピン　ポンチを使用して，ストレート　ピンを打ち抜く。



E7907

(2) デイフアレンシヤル　ケースから次の部品を取りはずす。
① デイフアレンシヤル　ピニオン２個
② デイフアレンシヤル　ピニオン　シヤフト
③ デイフアレンシヤル　サイド　ギヤ２個
④ サイド　ギヤ　スラスト　ワツシヤ２枚


E7908

デイフアレンシヤル構成部品の点検および交換

1　サイド　ギヤおよびピニオン　ギヤの摩耗点検

2　デイフアレンシヤル　ケースの亀裂，損傷の有無点検

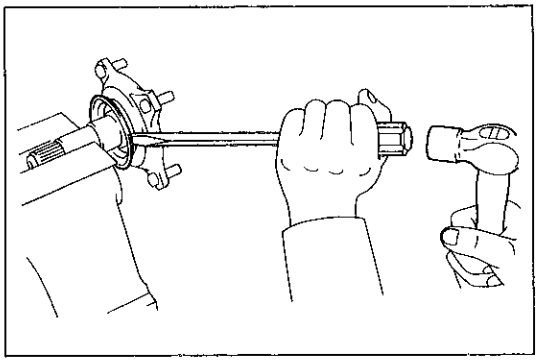
3　デイフアレンシヤル　ケースの振れ点検

(1) デイフアレンシヤル　ケースをデイフアレンシヤル　キヤリヤに組み付け，ベアリング　キヤツプを組み付ける。
（Ｐ6-40参照）

(2) デイフアレンシヤル　ケースの振れを点検する。

限　度　0.07mm

無断複製禁止



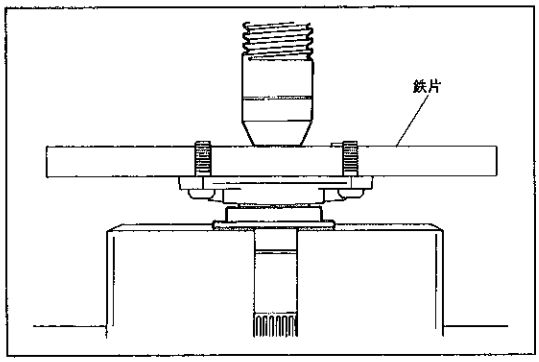
E7909

(3) デイフアレンシヤル　ケースを取りはずす。(P6-31参照)

(4) サイド　ベアリングを取りはずす。(P6-33参照)

4　サイド　ギヤ　シヤフト　ダスト　カバー交換

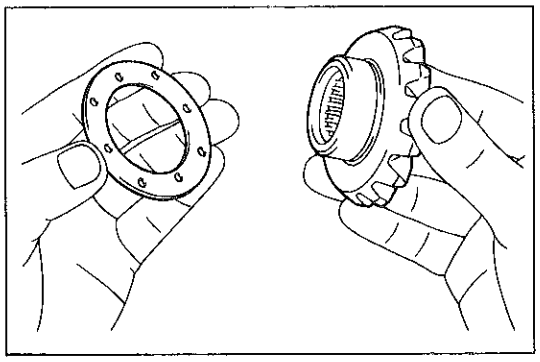
(1) ㊀ドライバを使用して，ダスト　カバーを取りはずす。



E7948

(2) プレスを使用して，新品のダスト　カバーをサイド　ギヤ　シヤフトに当たるまで圧入する。

注意　圧入時は，ダスト　カバーを確認しながら，少しずつゆっくりと行い，圧入しすぎない。



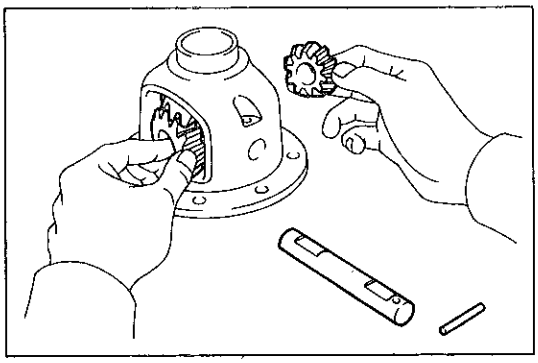
E7910

デイフアレンシヤル　キヤリヤ　ＡＳＳＹ組み付け

1　デイフアレンシヤル　ケース組み付け

注意
- スラスト　ワツシヤ，サイド　ギヤ，ピニオン等の組み付け時には，ゴミ，切粉等の付着がないことを確認する。
- 各摺動部，回転部にキヤツスル　ハイポイド　ギヤ　オイル　ＳＸを十分塗布する。

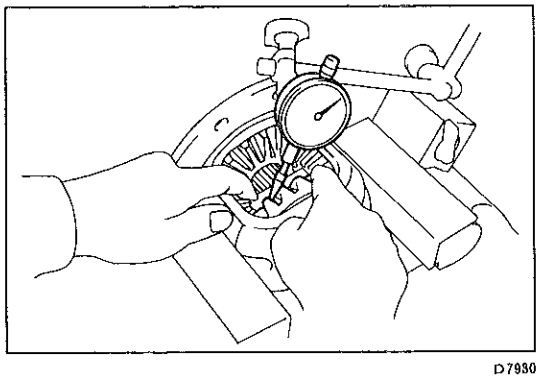
(1) サイド　ギヤにスラスト　ワツシヤを組み付ける。



E7911

(2) サイド　ギヤ(ワツシヤ付き)，ピニオン，ピニオン　シヤフトを組み付ける。

注意　ピニオン　シヤフトの固定用穴とケースの穴を合わせる。



D7930

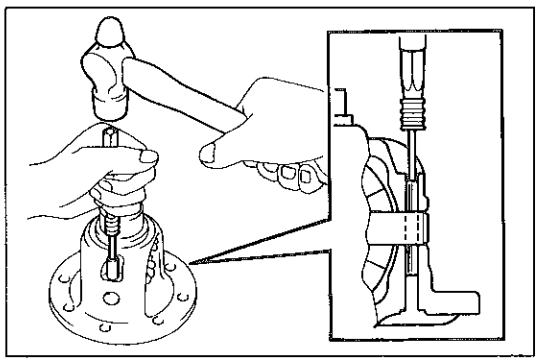
(3) サイド　ギヤのバツクラツシユが基準値内になり，かつスムースに回るよう左右両側とも同じサイズのスラスト　ワツシヤを次頁より選択し調整する。
ピニオンをデイフアレンシヤル　ケースの方へ固定しバツクラツシユを点検する。

基準値　　0.05～0.20mm

無断複製禁止

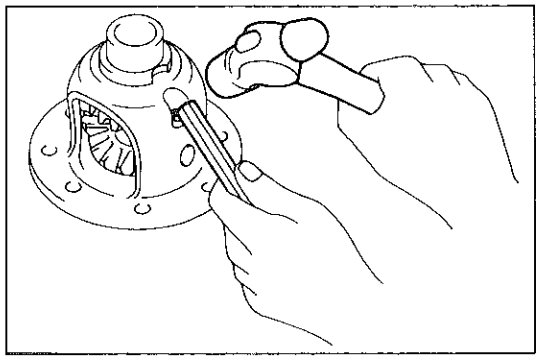
〈参考〉　スラスト　ワツシヤの種類

品　　番	厚　さ(mm)
41361-22140	0.92～0.98
41361-22020	0.97～1.03
41361-22150	1.02～1.08
41361-22030	1.07～1.13
41361-22160	1.12～1.18
41361-22040	1.17～1.23



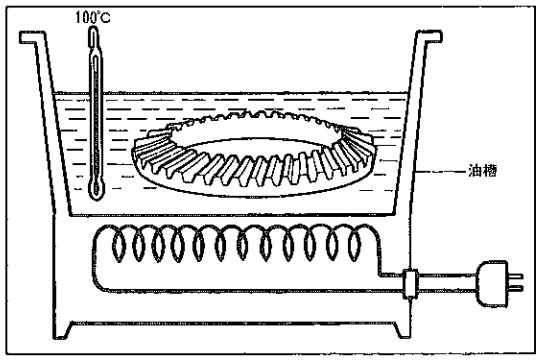
D9020

(4)　ピン　ポンチを使用して，ストレート　ピンをリング　ギヤの歯面側から打ち込む。



D9021

(5)　タガネを使用して，デイフアレンシヤル　ケースのピン穴外周をかしめる。



B4077

2　リング　ギヤ組み付け

(1)　リング　ギヤをオイルなどで90～110° Cに加熱する。

注意　リング　ギヤは110°C以上に加熱させない。

(2)　リング　ギヤとデイフアレンシヤル　ケースの合わせ面の油脂を十分清掃する。

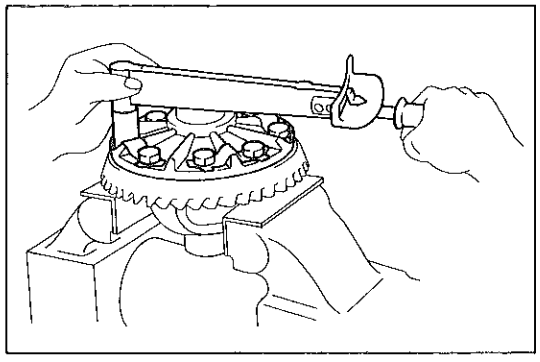
(3)　デイフアレンシヤル　ケースとリング　ギヤの合わせマークを合わせて，リング　ギヤを素早く組み付ける。

注意　デイフアレンシヤル　ケースのボルト穴とリング　ギヤのねじ穴を合わせる。

(4)　新品のロツク　プレート4個を介して，セツト　ボルト8本を規定トルクで締め付ける。

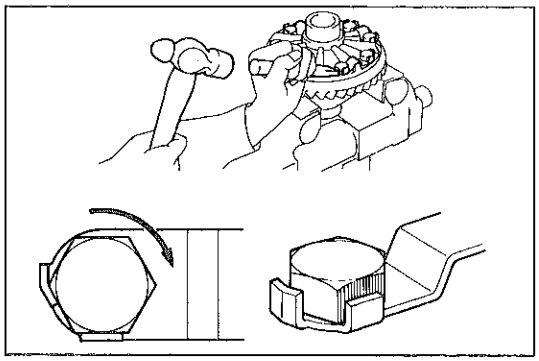
T＝985kg・cm

注意　ボルトは，対角線に相対する順に行い，数回に分けて締め付ける。



D9022

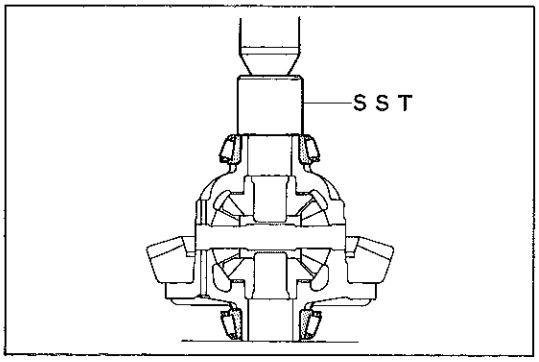
無断複製禁止



D9028　B4080

(5) タガネを使用して，ロツク　プレートのツメを起こし回り止めをする。

注意　ボルトの２面幅に接触するツメは，２面幅部と密着するまで折り曲げること。またボルトの山部と接触してツメ幅が２分割になる場合は，ボルトの締め側を密着させる。

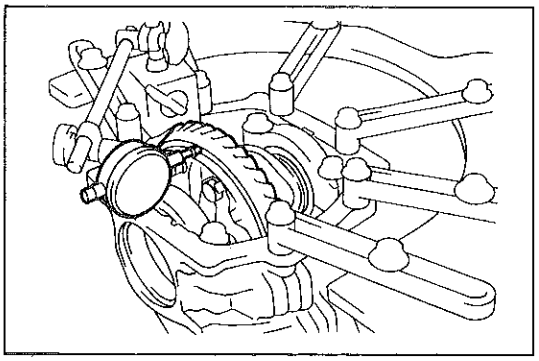


E7912

3　テーパード　ローラ　ベアリング　インナ(サイド　ベアリング）組み付け

(1) ＳＳＴとプレスを使用して，デイフアレンシヤル　ケースにテーパード　ローラ　ベアリング２個を圧入する。

ＳＳＴ　09710-01030



E7913

4　リング　ギヤ振れ点検

(1) デイフアレンシヤル　ケースをキヤリアに取り付け，ベアリングにガタがない程度にプレート　ワツシヤを取り付ける。(Ｐ６-38参照)

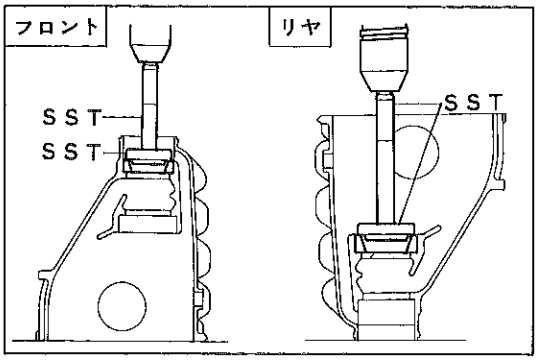
注意　左右のベアリング　アウタ　レースを間違えないように組み付ける。

(2) ベアリング　キヤツプを組み付ける。(Ｐ６-40参照)

(3) リング　ギヤの背面の振れを点検する。

限　度　0.07mm

(4) デイフアレンシヤル　ケースを取りはずす。(Ｐ６-31参照)

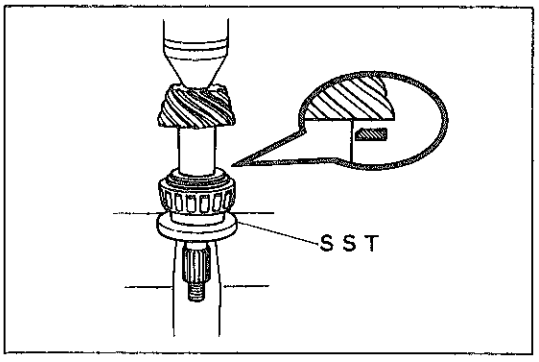


E7914　E7915

5　フロントおよびリヤ　ベアリング　アウタ　レース組み付け

(1) ＳＳＴとプレスを使用して，ベアリング　アウタ　レースを圧入する。

ＳＳＴ　フロント　09608-04020　09608-00060
　　リヤ　09608-04020　09608-04100



B4070

6　テーパード　ローラ　ベアリング　インナ(リヤ用)組み付け

(1) ドライブ　ピニオンにプレート　ワツシヤを組み付ける。

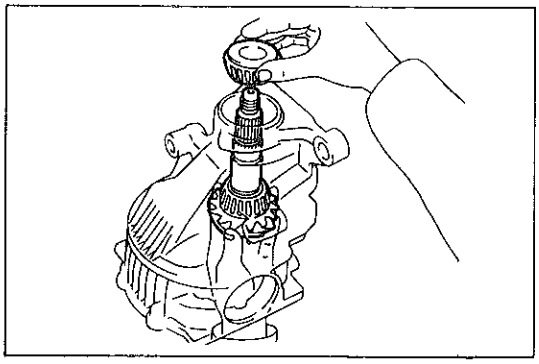
注意　ワツシヤは内径に面取りしてある方をギヤ側に向ける。

〈参考〉ワツシヤは取りはずし前と同じ厚さのものを組み付けておく。

(2) ＳＳＴとプレスを使用して，ドライブ　ピニオンにテーパード　ローラ　ベアリング　インナを圧入する。

ＳＳＴ　09506-30012

無断複製禁止

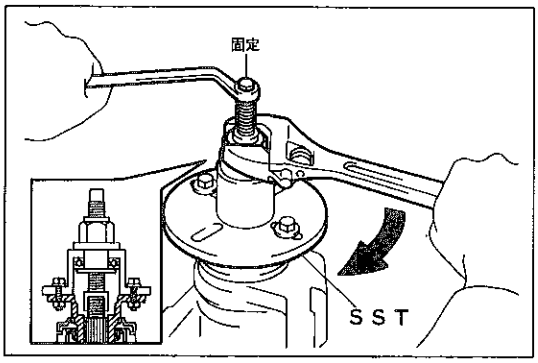


E7916

7　ドライブ　ピニオン　プレロード仮調整

(1) デイフアレンシヤル　キヤリヤにドライブ　ピニオン，テーパード　ローラ　ベアリング　インナ（フロント用）およびドライブ　ピニオン　オイル　スリンガを組み付ける。

注意　リング　ギヤの歯当たり点検のため，スペーサおよびオイル　シールは組み付けず，歯当たり点検，調整後に組み付ける。

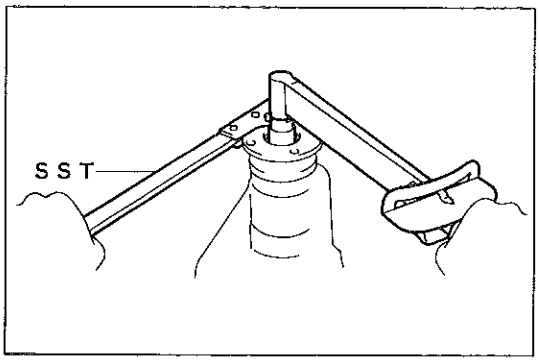


E7917

(2) ＳＳＴを使用して，コンパニオン　フランジを取り付ける。

ＳＳＴ　09557-22022

注意　スペーサを組み付けていないので，コンパニオン　フランジはドライブ　ピニオンのガタが少し残る程度まで締め付ける。

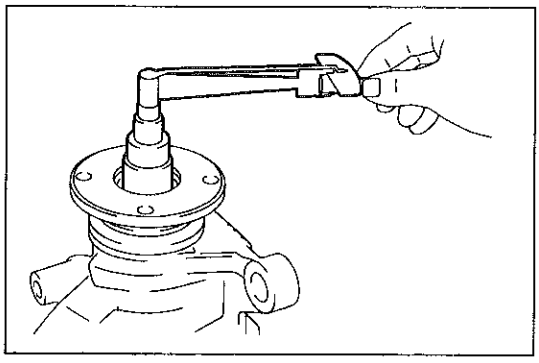


D9352

(3) ＳＳＴを使用して，プレート　ワツシヤを介して新品のナツトを規定のプレロードになるように少しずつ締め付ける。

ＳＳＴ　09330-00021

注意
- ナツトとドライブ　ピニオンのねじ部にギヤ　オイルを塗布する。
- スペーサが入っていないので，ナツトは少しずつ締め付け，絶対に締めすぎない。



E7891

(4) ドライブ　ピニオンの起動トルクを測定する。

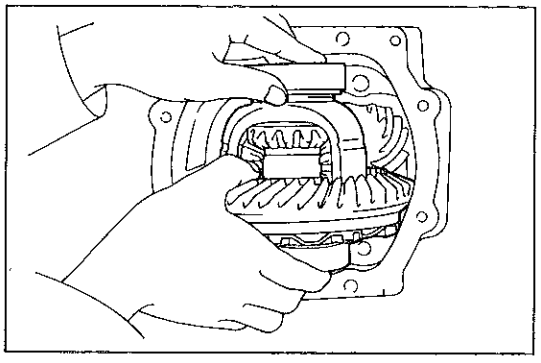
基準値　ベアリング新品　10～16kg・cm
ベアリング再使用品　5～8 kg・cm

注意
- ベアリングをなじませるため，正転，逆転を数回行つた後に測定する。
- 総合プレロード測定のため，プレロードを記録しておく。

8　デイフアレンシヤル　ケース組み付け

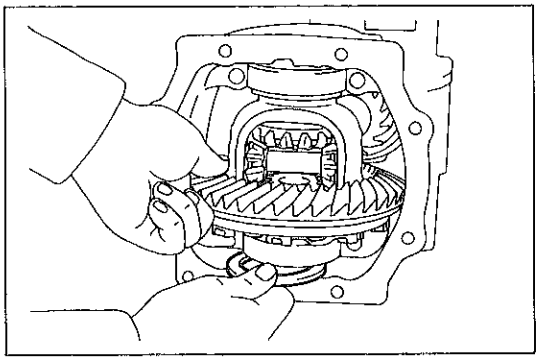
(1) テーパード　ローラ　ベアリング　インナに左右のベアリング　アウタ　レースを間違わないように組み付ける。

(2) デイフアレンシヤル　ケースをキヤリヤに組み付ける。



E7918

無断複製禁止


E7919

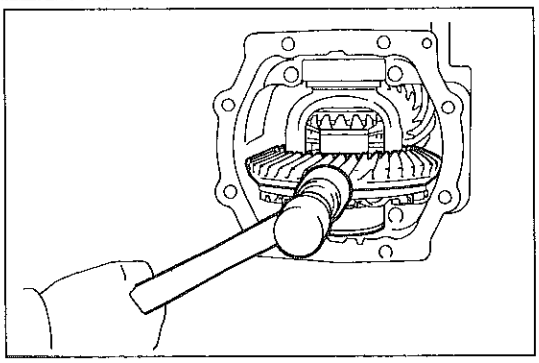
9　リング　ギヤ　バツクラツシユ調整

(1)　リング　ギヤ背面側にリング　ギヤのバツクラツシユがほぼ基準値内に入るようなプレート　ワツシヤを選択して取り付ける。

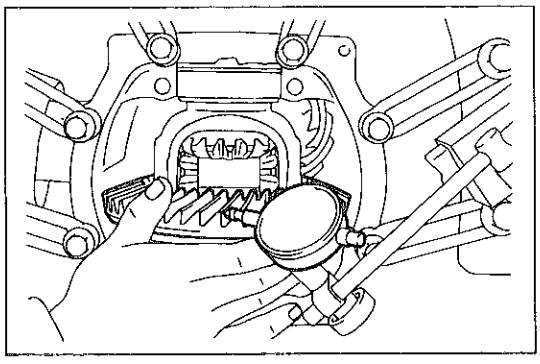
〈参考〉• サイド　ベアリングが新品の場合は，プレート　ワツシヤを厚さの薄いものから選択して取り付ける。サイド　ベアリングが再使用の場合は，プレート　ワツシヤを分解前と同じ厚さのものから取り付ける。

• プレート　ワツシヤの種類

品　番	厚　さ(mm)	品　番	厚　さ(mm)	品　番	厚　さ(mm)	品　番	厚　さ(mm)
90201-54001	2.21～2.23	90201-54009	2.45～2.47	90201-54017	2.69～2.71	90201-54026	2.96～2.98
90201-54002	2.24～2.26	90201-54010	2.48～2.50	90201-54018	2.72～2.74	90201-54027	2.99～3.01
90201-54003	2.27～2.29	90201-54011	2.51～2.53	90201-54019	2.75～2.77	90201-54028	3.02～3.04
90201-54004	2.30～2.32	90201-54012	2.54～2.56	90201-54020	2.78～2.80	90201-54029	3.05～3.07
90201-54005	2.33～2.35	90201 54013	2.57～2.59	90201-54021	2.81～2.83	90201-54030	3.08～3.10
90201-54006	2.36～2.38	90201-54014	2.60～2.62	90201-54022	2.84～2.86	90201-54031	3.11～3.13
90201-54007	2.39～2.41	90201-54015	2.63～2.65	90201-54023	2.87～2.89	90201-54032	3.14～3.16
90201-54008	2.42～2.44	90201-54016	2.66～2.68	90201-54024	2.90～2.92	90201-54033	3.17～3.19
				90201-54025	2.93～2.95	90201-54034	3.20～3.22

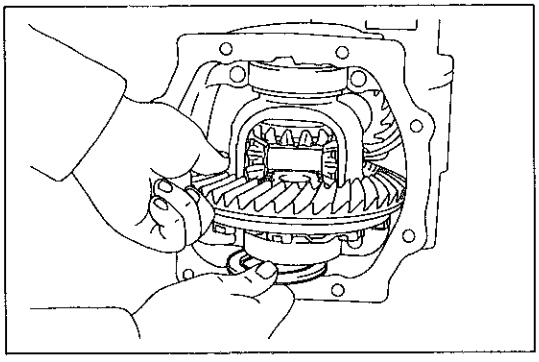

E7920

(2)　プラステイツク　ハンマを使用して，リング　ギヤを軽くたたき，ベアリングとワツシヤを十分落ち着かせる。


E7921

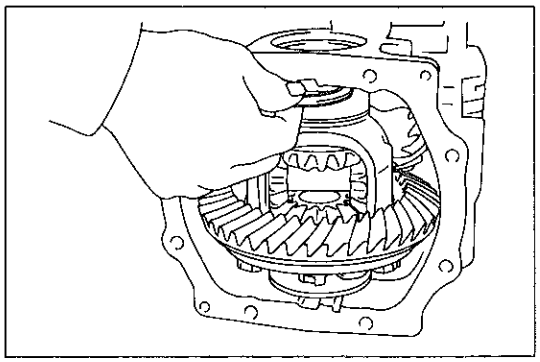
(3)　ダイヤル　ゲージをリング　ギヤの歯面先端に直角に当て，コンパニオン　フランジを固定し，リング　ギヤを動かしバツクラツシユを点検する。

参考値　　0.13mm

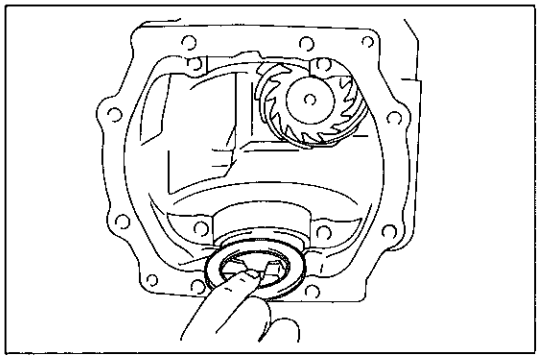

E7919

(4)　リング　ギヤのバツクラツシユが参考値付近になるようなプレート　ワツシヤを表より選択して，リング　ギヤ背面側に取り付ける。

無断複製禁止

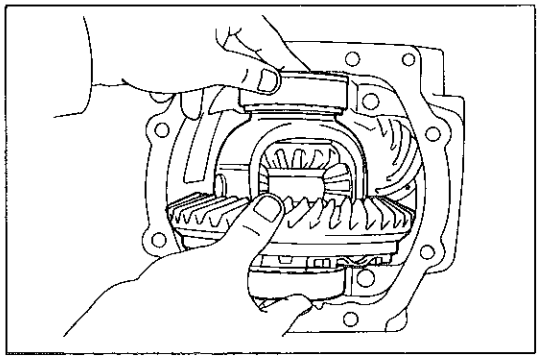

E7922

(5) リング　ギヤ歯面側のサイド　ベアリング　アウタ　レース端面とキヤリヤのすき間が0か，または0に近いプレート　ワツシヤを指で十分奥まで挿入し，そのうち一番厚いものを選択する。

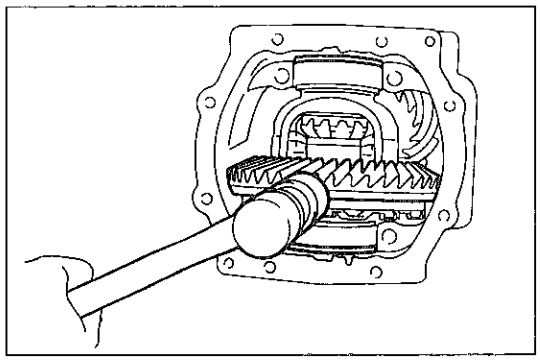

E7923

(6) デイフアレンシヤル　ケースとプレート　ワツシヤを取りはずす。

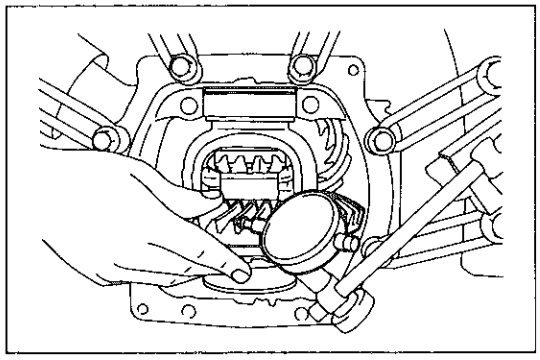
(7) リング　ギヤ背面側のプレート　ワツシヤをキヤリヤに据え付ける。


E7924

(8) リング　ギヤ歯面側のプレート　ワツシヤをデイフアレンシヤル　ケースのサイド　ベアリング　アウタ　レースに据え付けて，デイフアレンシヤル　ケースをキヤリヤに取り付ける。


E7925

(9) プラステイツク　ハンマを使用して，リング　ギヤを軽くたたき，ベアリングを十分落ち着かせる。

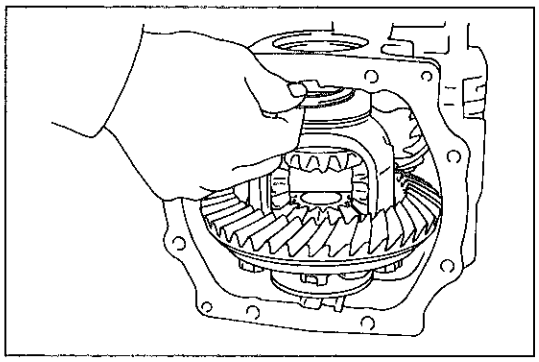

E7926

(10) ダイヤル　ゲージをリング　ギヤの歯面先端に直角に当て，コンパニオン　フランジを固定し，リング　ギヤを動かしバツクラツシユを点検する。

基準値　0.13～0.18mm

(11) 基準値外の場合は，左右プレート　ワツシヤの厚さを同量ずつ増減させて基準値内にする。

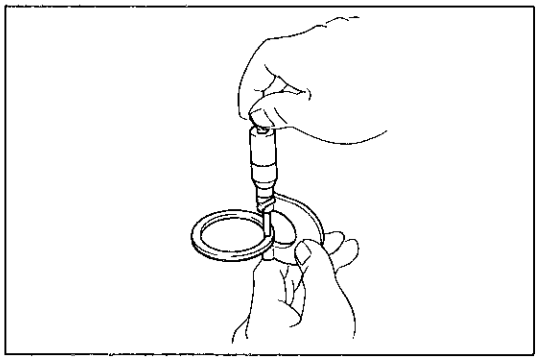
無断複製禁止



E7922

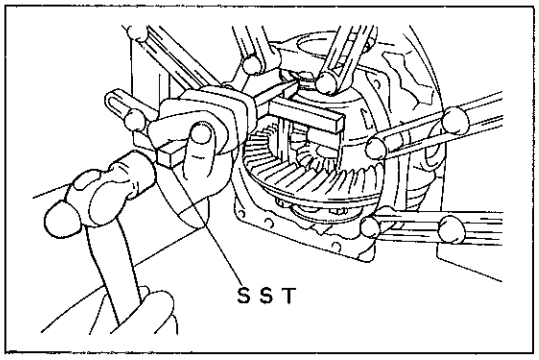
10　サイド　ベアリング　プレロード調整

(1)　リング　ギヤのバツクラツシユ調整後，リング　ギヤ歯面側のプレート　ワツシヤを取りはずす。



D9360

(2)　マイクロメータを使用して，プレート　ワツシヤの厚さを測定する。



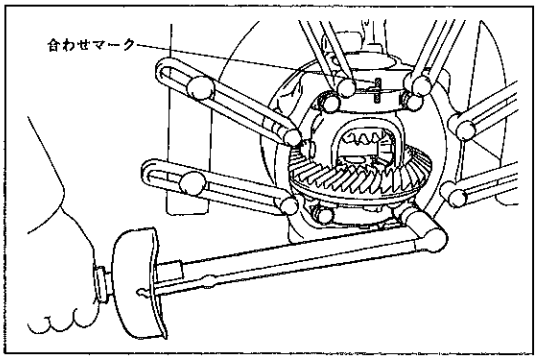
E7927

(3)　取りはずしたプレート　ワツシヤより0.06～0.09mm厚いワツシヤを取り付ける。(P6-38参照)

注意　指で2/3程度まで挿入できるワツシヤを取り付ける。

(4)　ＳＳＴを使用して，プレート　ワツシヤを打ち込む。

ＳＳＴ　　09504-22011

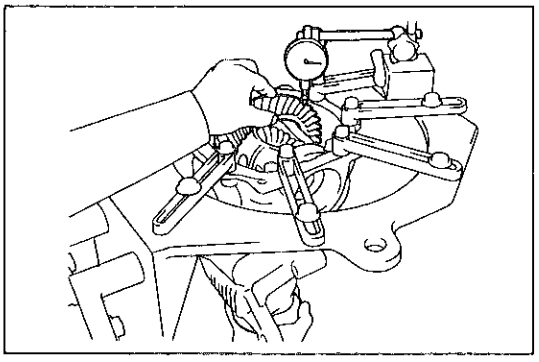


E7928

(5)　ベアリング　キヤツプとデイフアレンシヤル　キヤリヤの合わせマークを合わせて，ベアリング　キヤツプを組み付ける。

(6)　ベアリング　キヤツプ　ボルト4本を規定トルクで締め付ける。

T＝800kg・cm



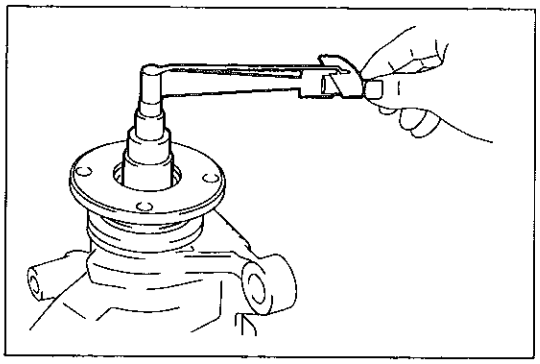
E7929

(7)　ダイヤル　ゲージをリング　ギヤの歯面先端に直角に当て，コンパニオン　フランジを固定し，リング　ギヤを動かしバツクラツシユを点検する。

基準値　　0.13～0.18mm

(8)　基準値外の場合は，左右プレート　ワツシヤの厚さを同量ずつ増減させて基準値内にする。(P6-38参照)

無断複製禁止



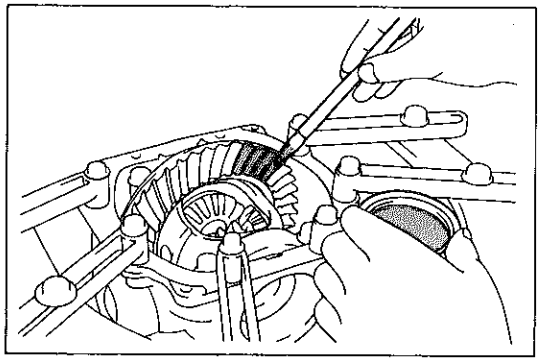
E7891

11　総合プレロード測定

(1)　トルク　レンチを使用して，総合プレロードを測定する。ドライブ　ピニオンとリング　ギヤの歯面を当てた状態で起動トルクを測定する。

基準値　　総合プレロード＝ドライブ　ピニオン　プレロード
＋3～5 kg・cm

(2)　基準値外の場合はリング　ギヤ歯面側のプレート　ワツシヤで調整する。(P6-38参照)

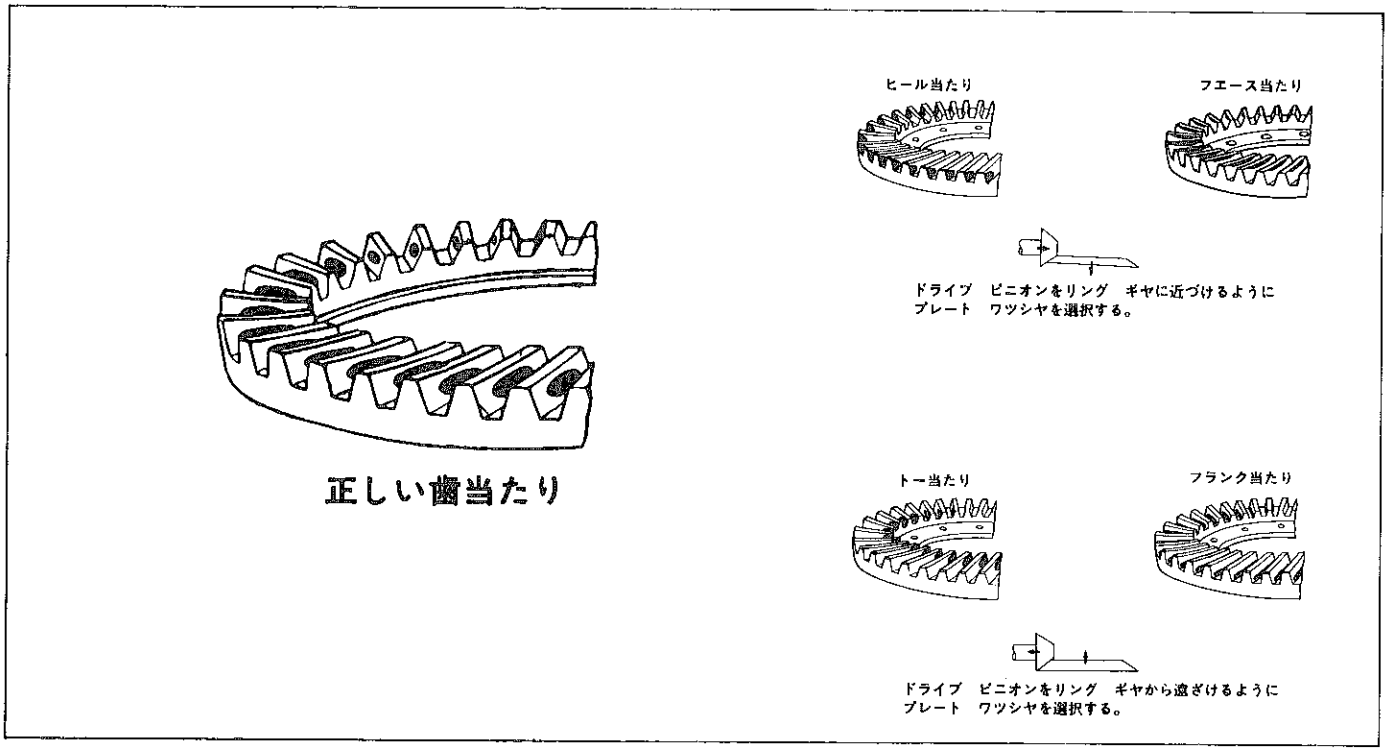


E7930

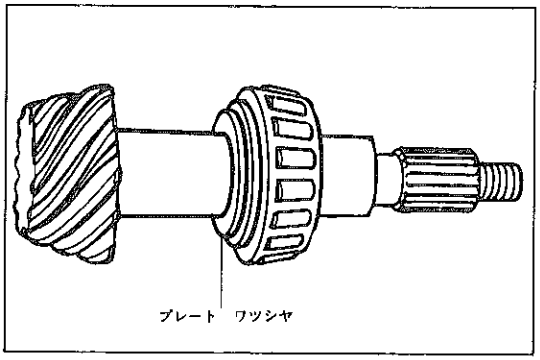
12　リング　ギヤとドライブ　ピニオンの歯当たり点検

(1)　リング　ギヤの歯面両側に光明丹を均一に薄く塗布しリング　ギヤを数回，回転させる。光明丹が示すパターンが歯当たり位置である。

注意　リング　ギヤ円周上4箇所で当たり状態をみる。



B4093　E6909　E6910



B4094

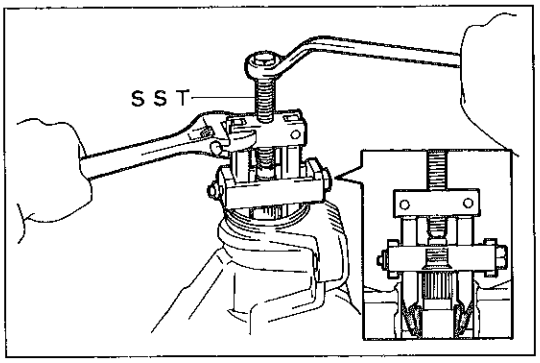
(2)　歯当たりが不良の場合は，ドライブ　ピニオン突き出し量調整用プレート　ワツシヤを表より選択し再組み付けする。

注意　フエース当たり，フランク当たりの場合はバツクラツシユ基準値内で調整可能な場合もある。

無断複製禁止

〈参考〉　プレート　ワツシヤの種類

品　番	厚さ(mm)	品　番	厚さ(mm)
90201-35396	2.35～2.37	90201-35402	2.53～2.55
90201-35397	2.38～2.40	90201-35403	2.56～2.58
90201-35398	2.41～2.43	90201-35404	2.59～2.61
90201-35399	2.44～2.46	90201-35438	2.62～2.64
90201-35400	2.47～2.49	90201-35439	2.65～2.67
90201-35401	2.50～2.52	90201-35440	2.68～2.70



E7899

13　ナット，プレート　ワツシヤおよびコンパニオン　フランジ取りはずし

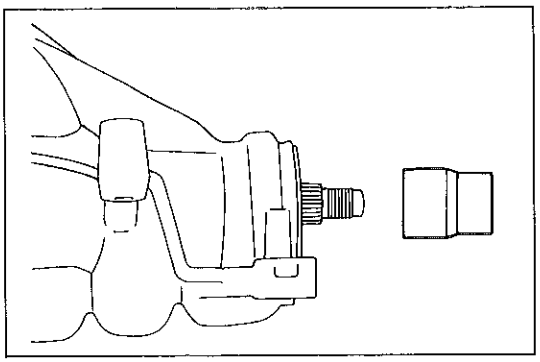
（P 6-29参照）

14　ドライブ　ピニオン　オイル　スリンガ取りはずし

15　テーパード　ローラ　ベアリング　インナ（フロント用）取りはずし

(1)　SSTを使用して，テーパード　ローラ　ベアリング　インナを取りはずす。

SST　09556-22010

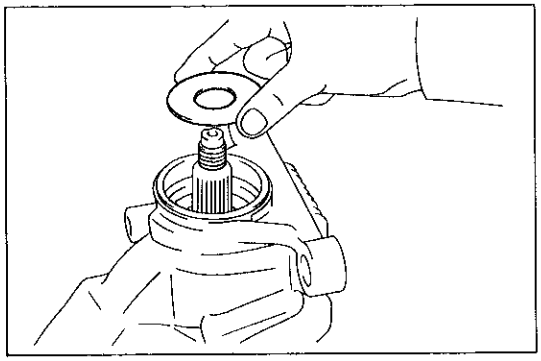

E7947

16　ドライブ　ピニオン　ベアリング　スペーサ組み付け

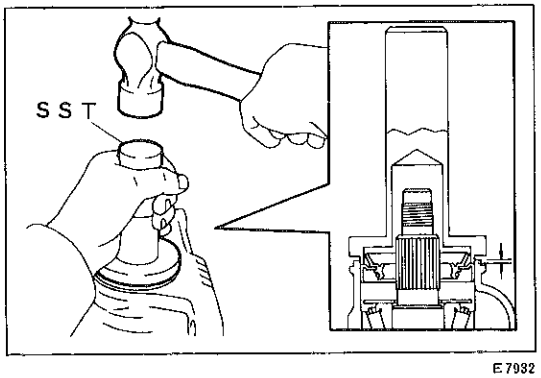
(1)　ドライブ　ピニオンに新品のベアリング　スペーサを組み付ける。

注意　内径の大きい方をリヤ側へ向ける。

17　テーパード　ローラ　ベアリング　インナ（フロント用）組み付け


E7931

18　ドライブ　ピニオン　オイル　スリンガ組み付け



E7932

19　オイル　シール組み付け

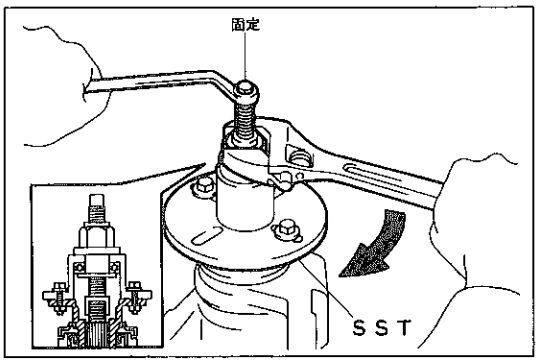
(1)　新品のオイル　シールのリツプ部にキヤツスル　MP　グリース　No.2を塗布する。

(2)　SSTを使用して，オイル　シールを打ち込む。

SST　09554-22010

基準値　オイル　シール打ち込み量(キヤリヤ端面より)　2.0mm

無断複製禁止

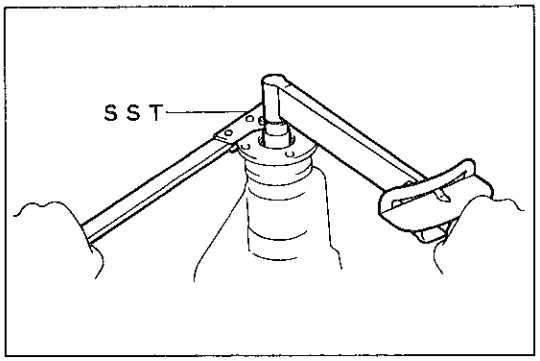


E7917

20　コンパニオン　フランジ組み付け

(1)　ＳＳＴを使用して，コンパニオン　フランジを取り付ける。

ＳＳＴ　09557-22022



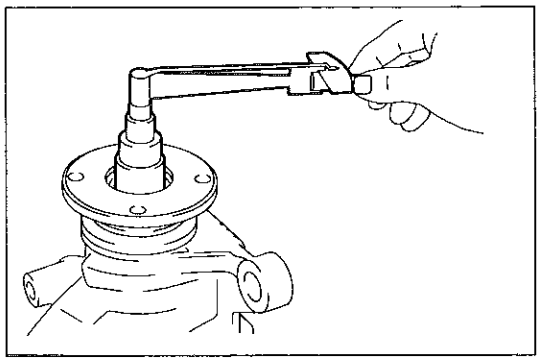
D9852

(2)　プレート　ワツシヤを組み付ける。

(3)　新品のナツトのねじ部にギヤ　オイルを塗布しＳＳＴを使用して，フランジを固定し，規定トルクで締め付ける。

ＳＳＴ　09330-00021

Ｔ＝1100kg・cm


E7891

21　ドライブ　ピニオン　プレロード調整

(1)　トルク　レンチを使用して，ドライブ　ピニオンとリング　ギヤのバツクラツシユの範囲内で起動トルクを測定する。

基準値　ベアリング新品　10～16kg・cm

ベアリング再使用品　5～8 kg・cm

注意　ベアリングをなじませるためフランジの正転，逆転を数回行つた後に測定する。

(2)　プレロードが過大の場合は，ベアリング　スペーサを交換する。

(3)　プレロードが不足の場合は，ナツトを５～10°ずつ増し締めし，プレロードを測定し，基準値になるように繰り返し調整する。

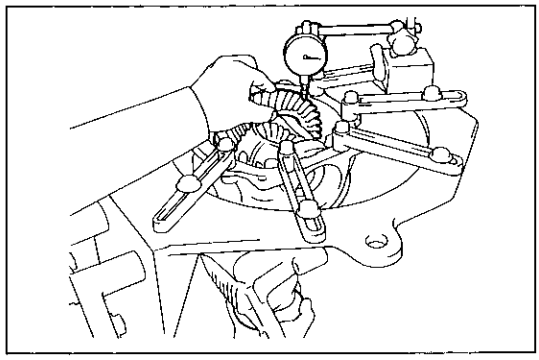
(4)　ナツトの締め付けトルクが2400kg・cmを越えても不足の場合はナツトを一度ゆるめて，ナツトおよびドライブ　ピニオンのねじ山がつぶれていないか点検する。

異常がないならば，スペーサを交換し，ねじ部にギヤ　オイルを塗布したのち前記作業を繰り返す。

22　総合プレロード点検

(1)　トルク　レンチを使用して，ドライブ　ピニオンとリング　ギヤ歯面を当てた状態で起動トルクを測定する。

基準値　総合プレロード＝ドライブ　ピニオン　プレロード＋３～５kg・cm


E7929

23　ドライブ　ピニオンとリング　ギヤのバツクラツシユ点検

(1)　ダイヤル　ゲージをリング　ギヤの歯面先端に直角に当てドライブ　ピニオンのフランジを固定し，リング　ギヤを動かして測定する。

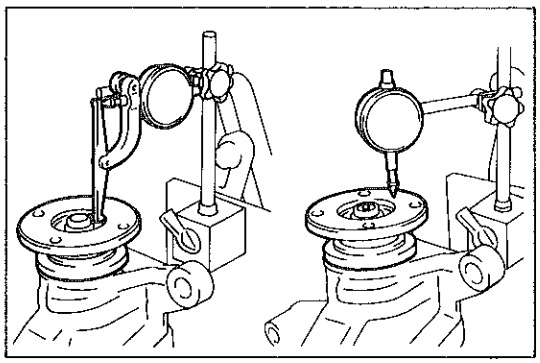
基準値　0.13～0.18mm

注意　リング　ギヤ円周上の３箇所以上で測定する。

24　リング　ギヤとドライブ　ピニオンの歯当り点検

（P6-41参照）

無断複製禁止



E7884　E7885

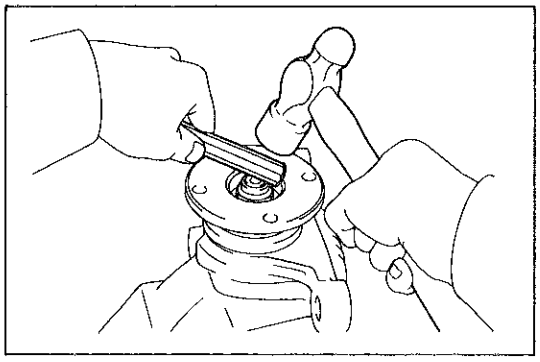
25　コンパニオン　フランジの振れ点検

(1)　ダイヤル　ゲージをコンパニオン　フランジの内周面に直角に取り付け，コンパニオン　フランジの縦振れを測定する。

限　度　　0.10mm

(2)　ダイヤル　ゲージをコンパニオン　フランジ面に直角に，またボルト取り付け穴の外側に取り付け，コンパニオン　フランジの横振れを測定する。

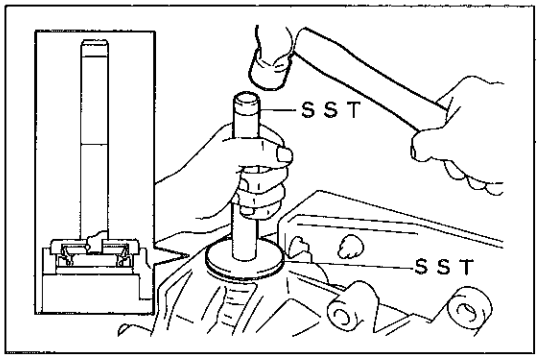
限　度　　0.10mm



E7933

26　ドライブ　ピニオン　ナツトかしめ

(1)　タガネを使用して，ナツトをかしめる。



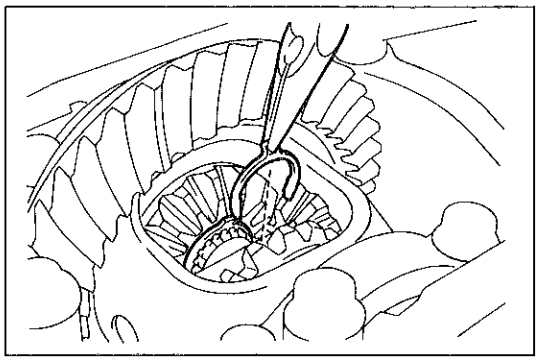
E7963

27　サイド　ギヤ　シヤフト　オイル　シール組み付け

(1)　ＳＳＴを使用して，新品のオイル　シール２個をデイフアレンシヤル　キヤリヤ端面と面一になるまで打ち込む。

ＳＳＴ　　09550-00020　　09550-00031

(2)　オイル　シール　リツプ部にキヤツスル　ＭＰ　グリース　No.２を塗布する。



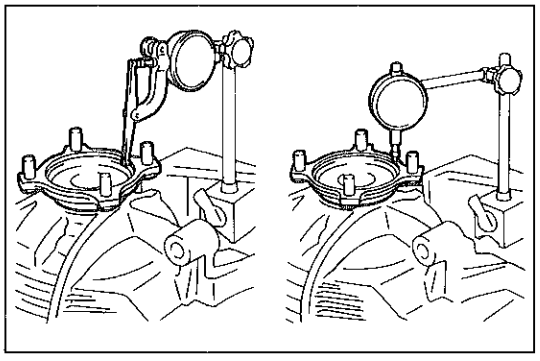
E7892

28　サイド　ギヤ　シヤフト組み付け

(1)　サイド　ギヤ　シヤフト２本を，デイフアレンシヤル　ケースに組み付ける。

注意　シヤフト挿入時，オイル　シールを傷つけない。

(2)　ニードル　ノーズ　プライヤを使用して，新品のシヤフト　スナツプ　リング２個をシヤフトの溝に確実に組み付ける。



E7886　E7887

29　サイド　ギヤ　シヤフト振れ点検

(1)　ダイヤル　ゲージをサイド　ギヤ　シヤフトの内周面に直角に取り付け，フランジの縦振れを測定する。

限　度　　0.20mm

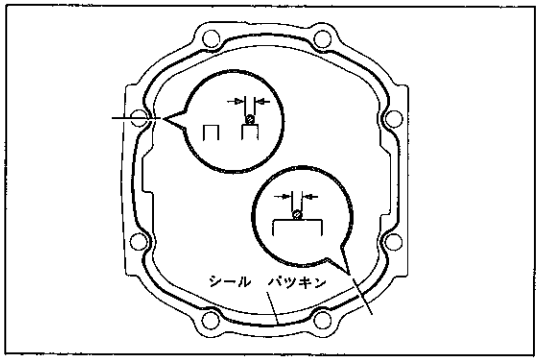
(2)　ダイヤル　ゲージをフランジ面に直角に取り付け，フランジの横振れを測定する。

限　度　　0.20mm

30　デイフアレンシヤル　キヤリヤ　ＡＳＳＹ取りはずし

(1)　デイフアレンシヤル　キヤリヤ　ＡＳＳＹをオーバーホール　アタツチメントから取りはずす。

無断複製禁止



E7934

31　デイフアレンシヤル　キヤリヤ　カバー組み付け

(1) デイフアレンシヤル　キヤリヤおよびキヤリヤ　カバーに付着しているシール　パツキンを，スクレーパおよびワイヤ　ブラシを使用して清掃した後，洗浄液等で油分を落とす。

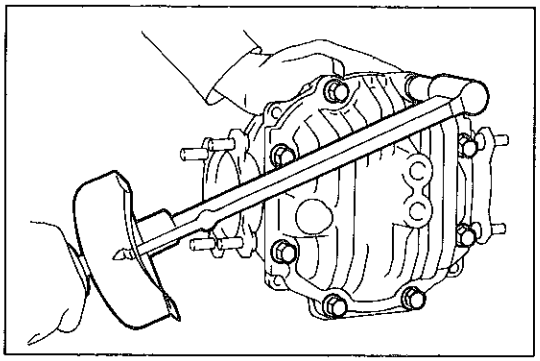
注意　取り付け面を傷つけない。

(2) 図に示す位置にシール　パツキン・1281を塗布し，デイフアレンシヤル　キヤリヤに取り付ける。

注意　• シール　パツキンの塗布はφ1～φ2㎜で塗布切れしない。
• シール　パツキン塗布後，3分以内に組み付ける。

(3) ボルト8本でデイフアレンシヤル　キヤリヤ　カバーを組み付ける。

T＝475kg・cm

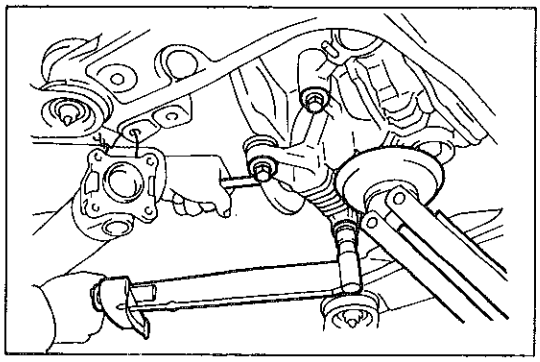

E7935

デイフアレンシヤル　キヤリヤ　ＡＳＳＹ取り付け

1　デイフアレンシヤル　キヤリヤ　ＡＳＳＹ取り付け

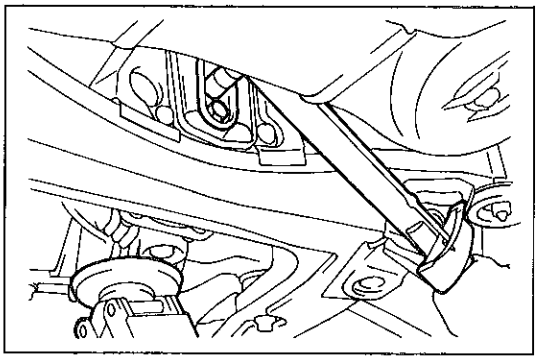
(1) ジヤツキを使用して，デイフアレンシヤル　キヤリヤを支持し，ボルト4本およびナツト4個で取り付ける。

T＝970kg・cm


E7936

(2) ボルト2本を締め付ける。

T＝1500kg・cm

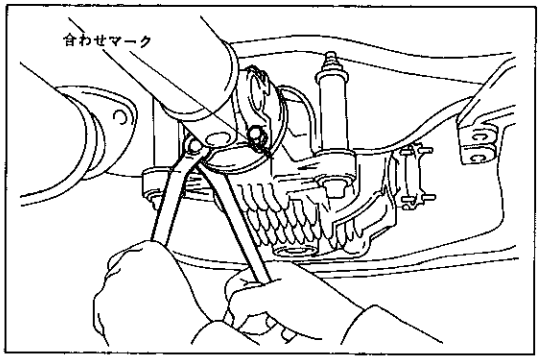

E7937

2　プロペラ　シヤフト取り付け

(1) デイフアレンシヤルのコンパニオン　フランジの合わせマークに合わせてプロペラ　シヤフトを取り付ける。

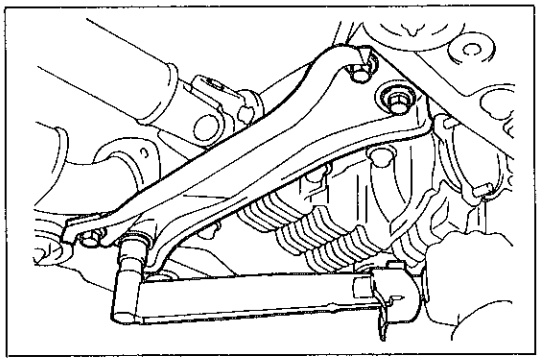
(2) スプリング　ワツシヤ4個を介して，ナツト4個を取り付ける。

T＝750kg・cm

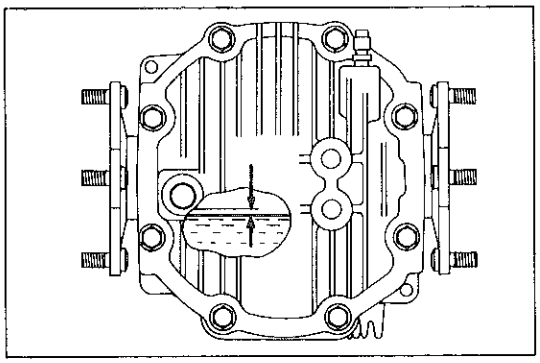


E7862

無断複製禁止



E7874



E7875

3　フレーム　リヤ　クロス　メンバ取り付け

(1)　ボルト4本で，フレーム　リヤ　クロス　メンバを取り付ける。

T＝730kg・cm

4　ドライブ　シヤフト　ＡＳＳＹ(ＲＨ，ＬＨ)取り付け

(6-14参照)

5　オイル注入

(1)　新品のガスケツトを介して，ドレーン　プラグを取り付ける。

T＝500kg・cm

(2)　フイラ　プラグ穴からオイルを注入し，オイル量を点検する。

基準値　　フイラ穴下面＋0 mm
　　－5 mm

(3)　新品のガスケツトを介して，フイラ　プラグを取り付ける。

T＝400kg・cm

<参考>　使用オイル量

キヤツスル　ハイポイド　ギヤ　オイル　ＳＸ

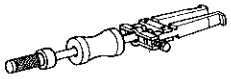
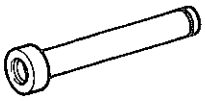
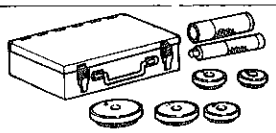
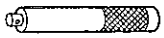
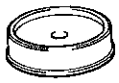
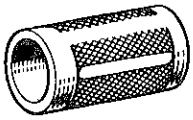
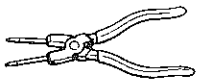
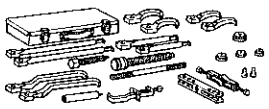
全油量　1.2ℓ

無断複製禁止

リヤ　サスペンション

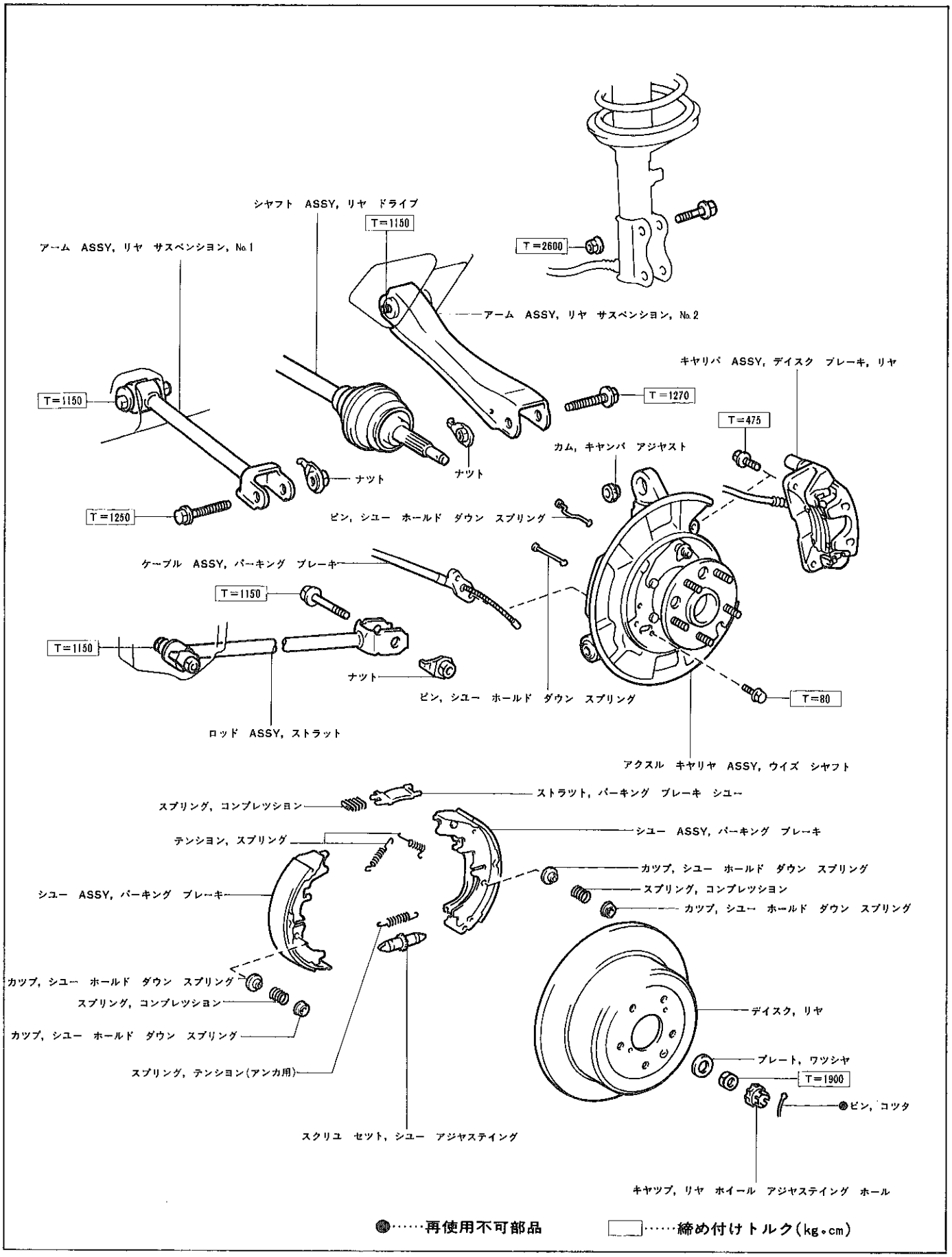
アクスル　シャフト　&　アクスル　キャリヤ

準　備　品

SST		09308-00010	プラー，オイル　シール	オイル　シール　アウタおよびインナ取りはずし用
		09309-36010	リプレーサ，トランスミッション，リヤ　ベアリング	ベアリング取り付け用
		09608-30012	ツール　セット，フロント　ハブ　アンド　ドライブ　ピニオン	
		09608-04020	ハンドル	オイル　シール　アウタおよびインナ取り付け用
		09608-04110	リプレーサ，ドライブピニオン　リヤ　ベアリング	オイル　シール　インナ取り付け用
		09608-32010	リプレーサ，ステアリング　ナックル　オイル　シール	オイル　シール取り付け用
		09636-20010	リプレーサ，アッパ　ボール　ジョイント　ダスト　カバー	ベアリング取りはずし用 アクスル　シャフト取り付け用
		09905-00013	プライヤ，スナップ　リング	ホール　スナップ　リング脱着用
		09950-20017	プラー，ユニバーサル	アクスル　シャフト取りはずし用 ベアリング　インナ　レース（アウタ側）取りはずし用
工　具		09704-10010	ツール，ブレーキ　アジャステイング	パーキング　ブレーキ調整用
	ソケット　レンチ（30mm）			ナット脱着用
	ヘキサゴン　レンチ（5 mm）			スタビライザ　バーおよびリンク脱着用
計　器	トルク　レンチ（0～30kg・cm）			スタビライザ　リンク点検用
	トルク　レンチ（500～2800kg・cm）			各部締め付け用
	ダイヤル　ゲージ			ベアリング点検用 アクスル　シャフト振れ点検用

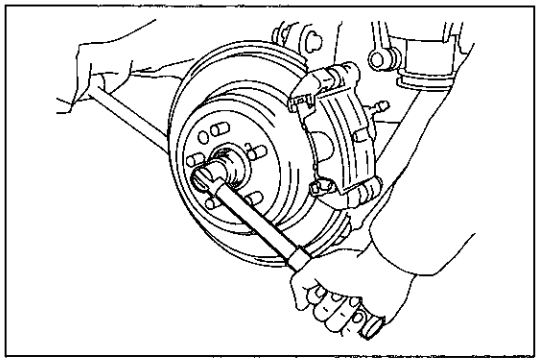
無断複製禁止

脱着構成図



E7770

無断複製禁止



E7957

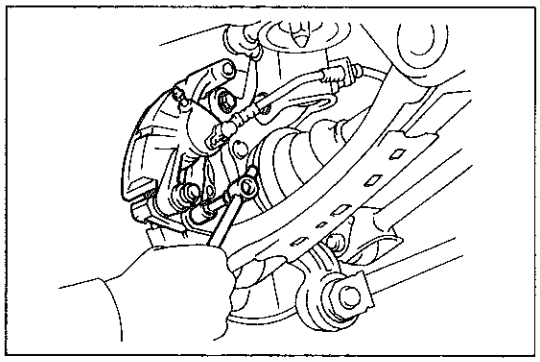
アクスル　シヤフト前点検

1　リヤ　ホイール取りはずし

2　ナツト取りはずし

(1) コツタ　ピンを取りはずし，リヤ　ホイール　アジヤステイング　ロツク　キヤツプを取りはずす。

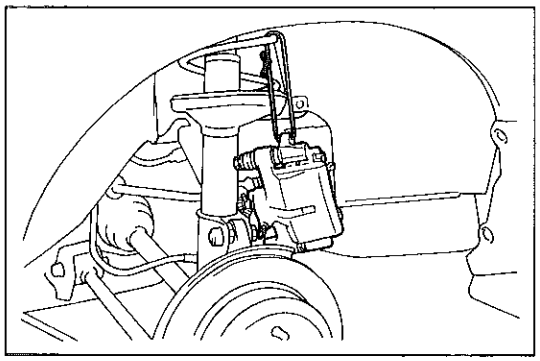
(2) 30㎜のソケツト　レンチを使用して，ナツトをゆるめる。



E7771

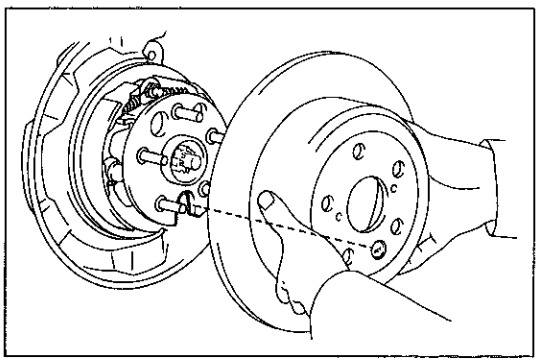
3　デイスク　ブレーキ　キヤリパ　ＡＳＳＹ取りはずし

(1) ボルト２本を取りはずし，デイスク　ブレーキ　キヤリパ　ＡＳＳＹを取りはずす。



E7772

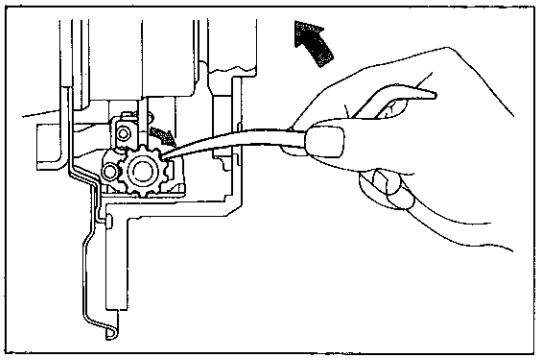
(2) フレキシブル　ホースを引つ張らないよう針金などで，デイスク　ブレーキ　キヤリパ　ＡＳＳＹを吊す。



E7657

4　デイスク取りはずし

(1) リヤ　アクスル　シヤフトからデイスクを取りはずす。



D6855

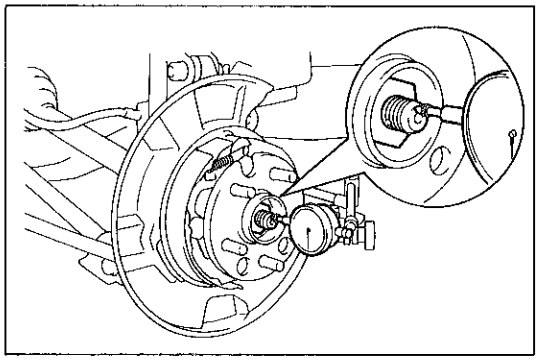
(2) デイスクが容易に取りはずせない場合，次の要領で行う。

① デイスクのサービス　ホールをシユー　アジヤステイング　スクリユ　セツトの位置に合わせる。

② シユー　アジヤステイング　プラグをデイスクから取りはずす。

③ ブレーキ　アジヤステイング　ツールを使用して，アジヤステイング　ボルトを回転させ，ブレーキ　シユーを収縮する。

無断複製禁止



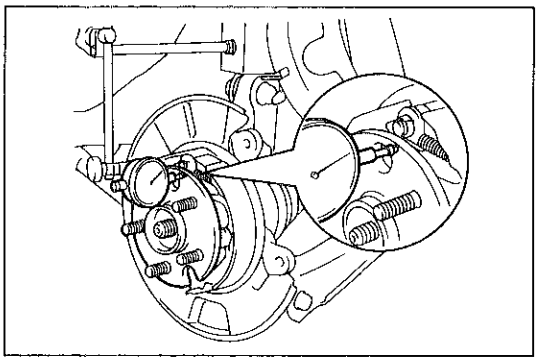
E7773

5　ベアリング点検

(1)　ナットをドライブ　シャフトとアクスル　シャフトを固定できるまで締め付ける。

(2)　ベアリング軸方向のガタを点検する。

限　度　0.05mm

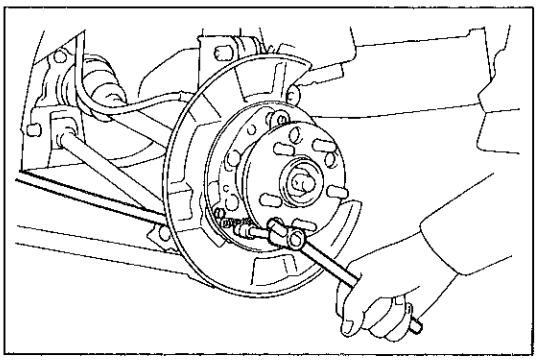


E7774

6　アクスル　シャフト振れ点検

(1)　アクスル　シャフトの外周付近で振れを点検する。

限　度　0.07mm



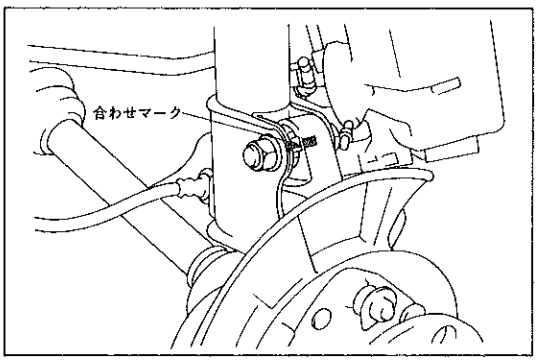
E7775

アクスル　キャリヤ　ＡＳＳＹ取りはずし

1　パーキング　ブレーキ　シユー取りはずし

2　パーキング　ブレーキ　ケーブル切り離し

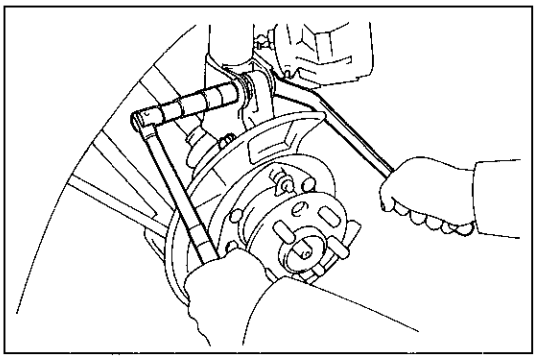
(1)　ボルト２本を取りはずし，パーキング　ブレーキ　ケーブルをパーキング　ブレーキ　プレートから取りはずす。



E7776

3　アクスル　キャリヤ　ナットゆるめ

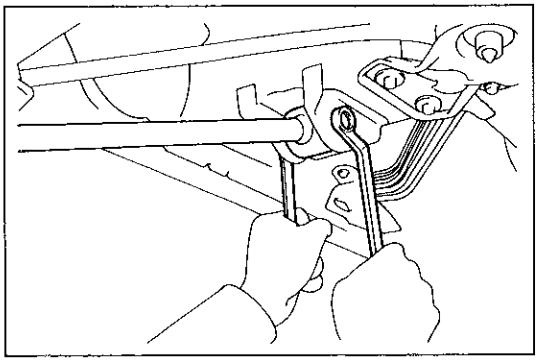
(1)　シヨツク　アブソーバおよびアクスル　キャリヤにキヤンバ　アジヤスト　カム取り付け位置の合わせマークを付ける。



E7777

(2)　アクスル　キャリヤ　ナット２個を手で回る程度までゆるめる。

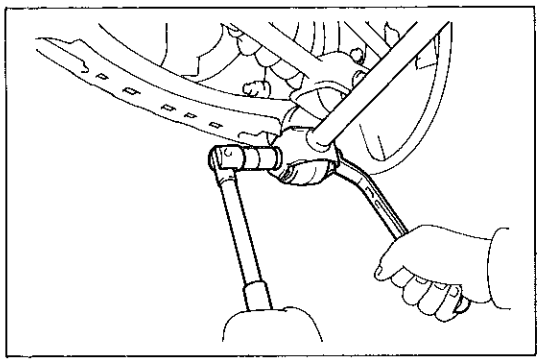
無断複製禁止



E7778

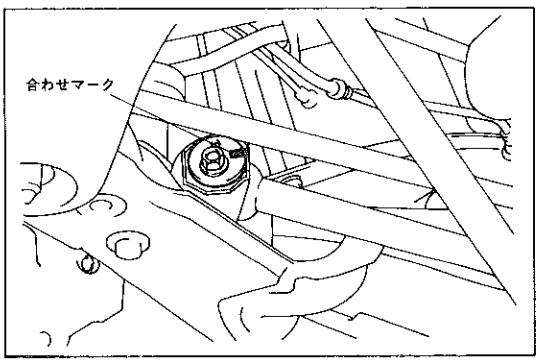
4　ストラツド　ロツド切り離し

(1)　ボデー側のボルトおよびナツトをゆるめる。



E7779

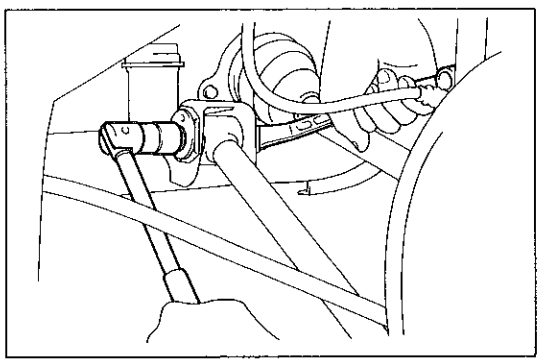
(2)　アクスル　キヤリヤ側のボルトおよびナツトを取りはずし，ストラツト　ロツドを切り離す。



E7780

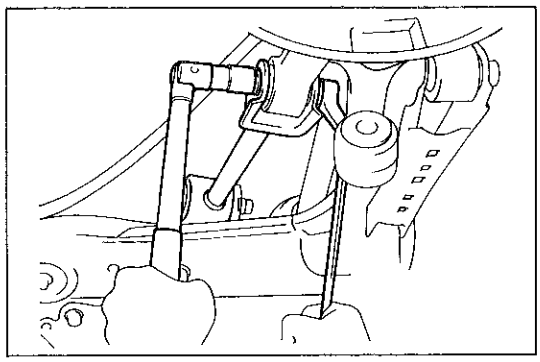
5　サスペンシヨン　No.1　アーム切り離し

(1)　トー　アジヤスト　カムとサスペンシヨン　コントロール　アーム　リテーナに合わせマークを付ける。



E7781

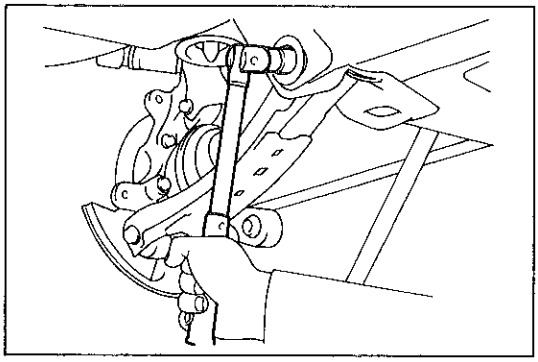
(2)　リヤ　サスペンシヨン　メンバ側のボルトをゆるめる。



E7782

(3)　アクスル　キヤリヤ側のボルトおよびナツトを取りはずし，サスペンシヨン　No.1　アームを切り離す。

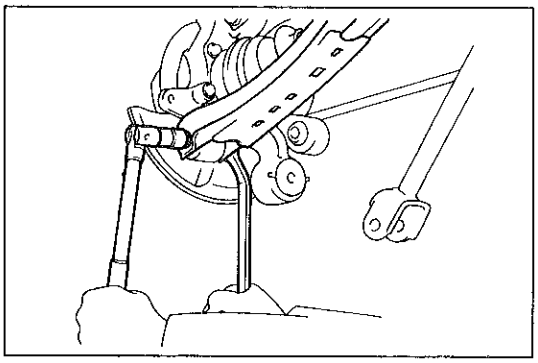
無断複製禁止



E7783

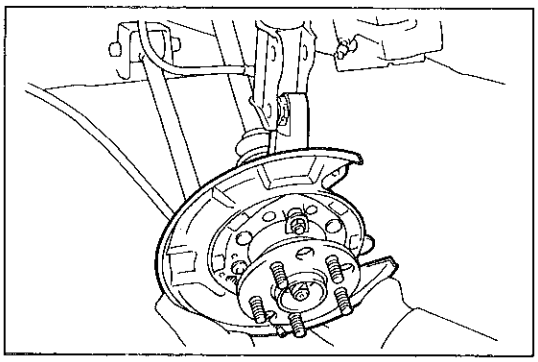
6　サスペンション　No.2　アーム切り離し

(1)　リヤ　サスペンション　メンバ側のボルトをゆるめる。



E7784

(2)　アクスル　キヤリヤ側のボルトおよびナットを取りはずし，サスペンション　No.1　アームを切り離す。



E7785

7　アクスル　キヤリヤ　ＡＳＳＹ取りはずし

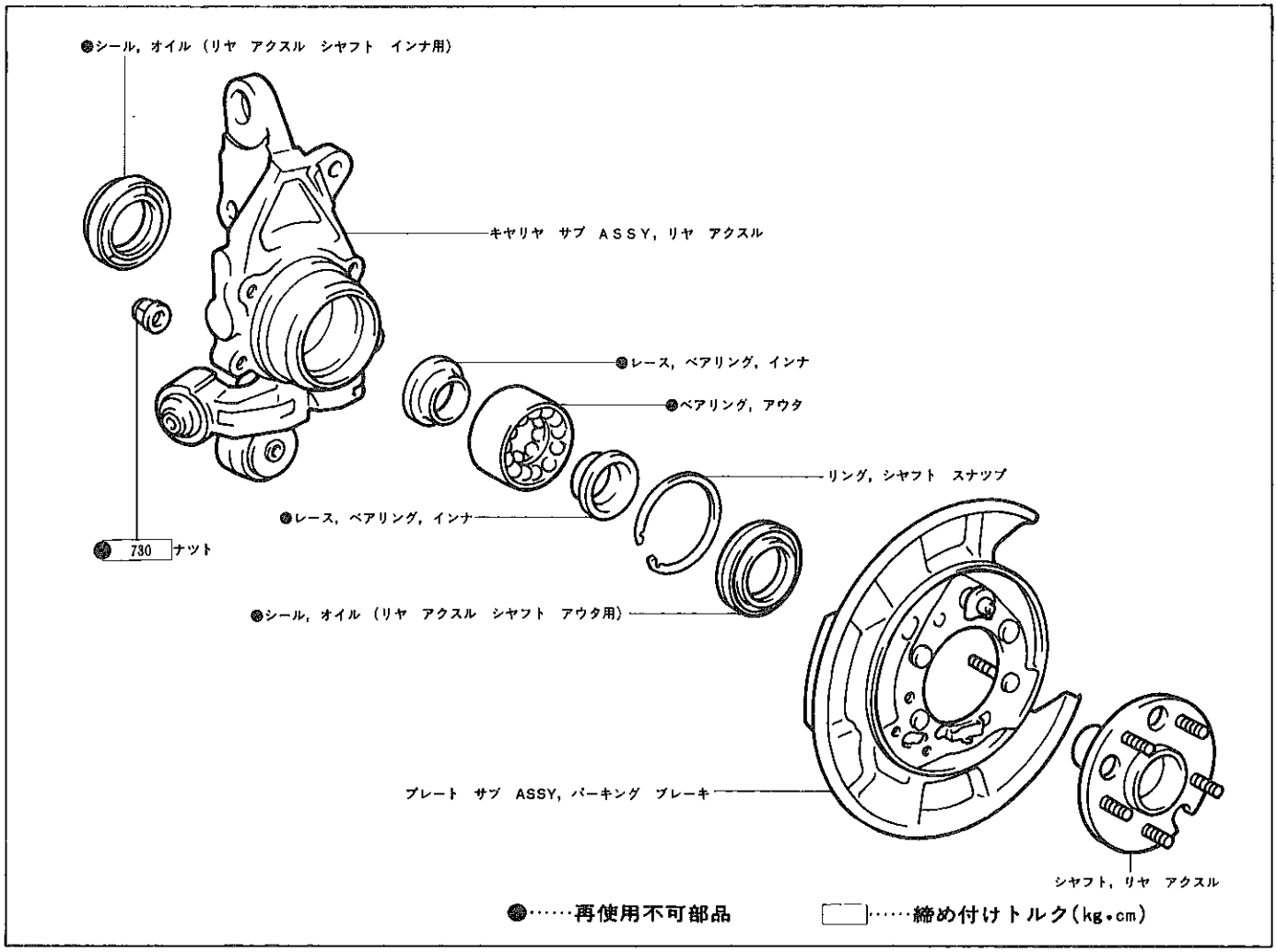
(1)　ドライブ　シャフト　ナットおよびプレート　ワッシャを取りはずす。

(2)　アクスル　キヤリヤのオイル　シール傷つき防止のため，ドライブ　シャフトのネジ部にビニール　テープ等を巻く。

(3)　アクスル　キヤリヤ　ナット２個およびボルト２本を取りはずし，アクスル　キヤリヤ　ＡＳＳＹおよびキャンバ　アジャスト　カムを取りはずす。

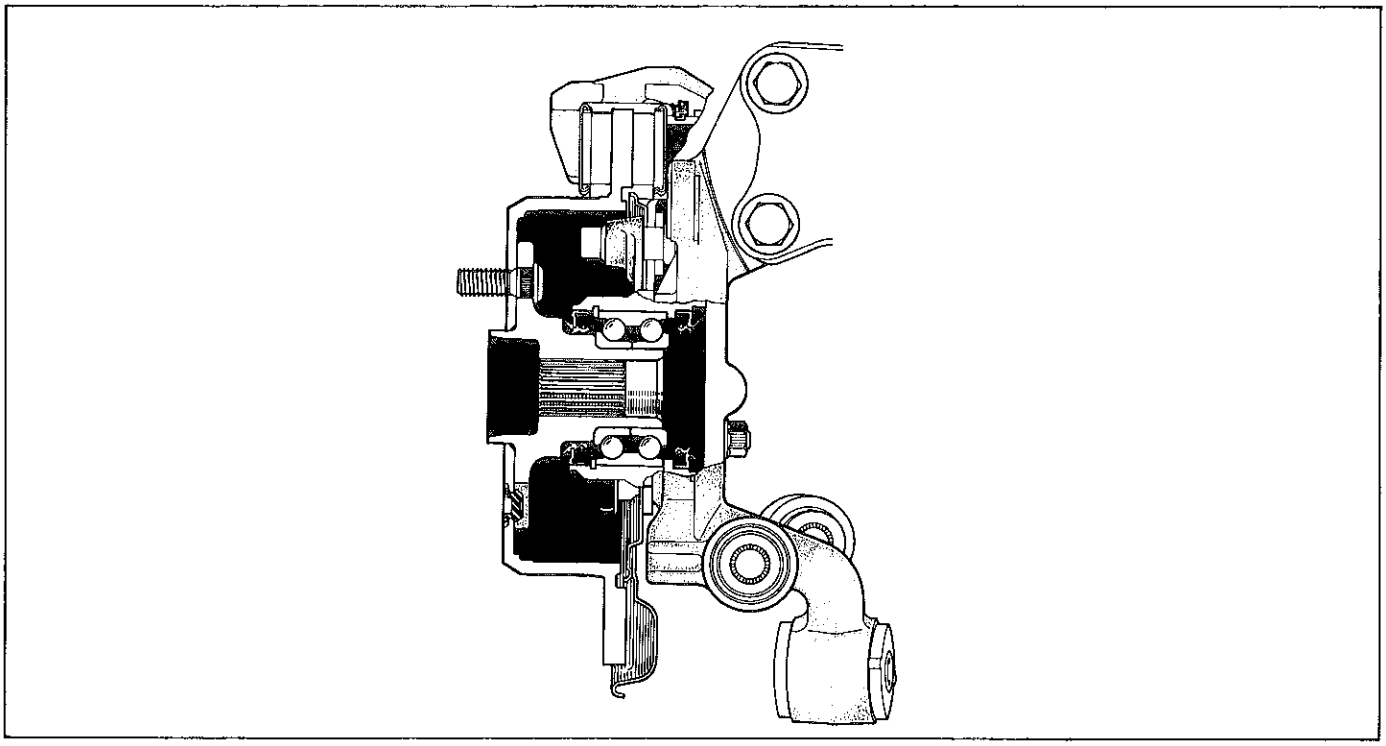
無断複製禁止

分解構成図



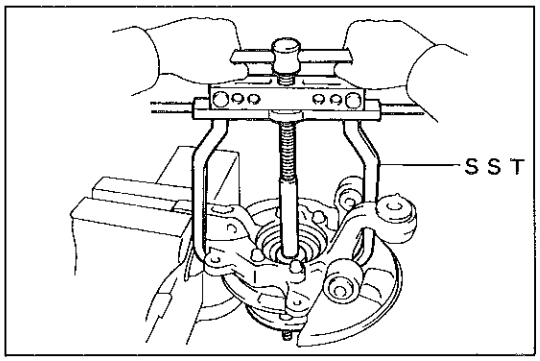
E7786

断　面　図



E7955

無断複製禁止



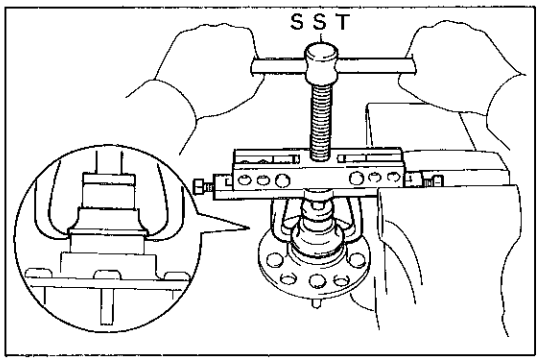
E7787

アクスル　キヤリヤ　ＡＳＳＹ分解

1　アクスル　シヤフト取りはずし

(1)　ＳＳＴを使用して，アクスル　キヤリヤからアクスル　シヤフトを取りはずす。

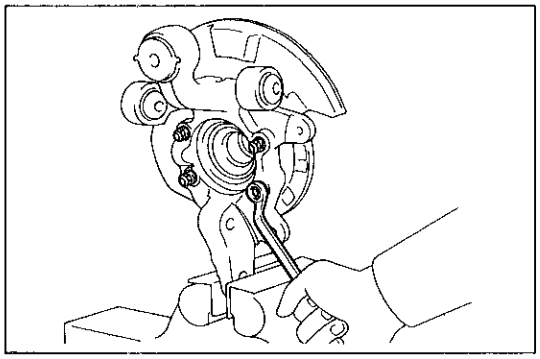
ＳＳＴ　　09950-20017



E7789

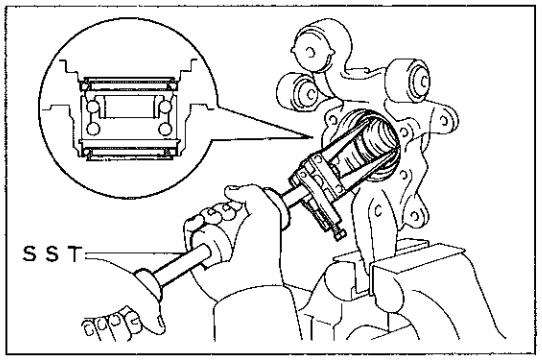
(2)　ＳＳＴを使用して，ベアリング　インナ　レース（アウタ側）をアクスル　シヤフトから取りはずす。

ＳＳＴ　　09950-20017


E7790

2　パーキング　ブレーキ　プレート取りはずし

(1)　ナット４個を取りはずし，パーキング　ブレーキ　プレートを取りはずす。

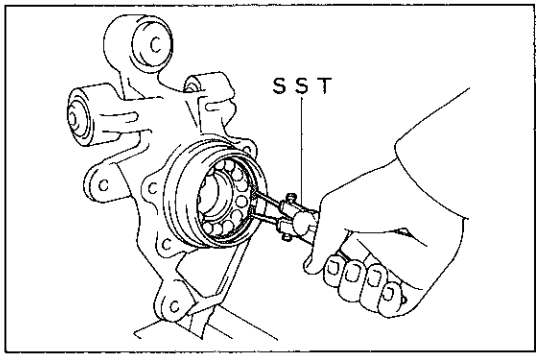


E7791

3　オイル　シール取りはずし

(1)　ＳＳＴを使用して，オイル　シール　アウタ側およびインナ側を取りはずす。

ＳＳＴ　　09308-00010



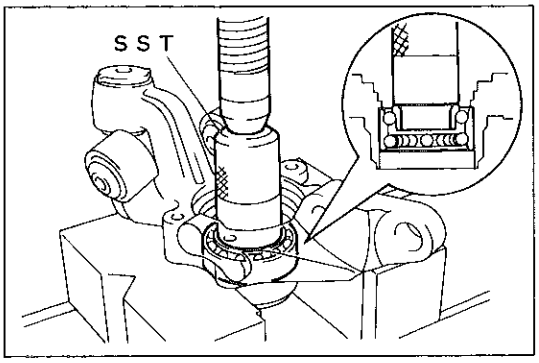
E7792

4　ホール　スナップ　リング取りはずし

(1)　ＳＳＴを使用して，ホール　スナップ　リングを取りはずす。

ＳＳＴ　　09905-00013

無断複製禁止



E7793

5　ベアリング取りはずし

(1)　ＳＳＴとプレスを使用して，アクスル　キヤリヤからベアリングを取りはずす。

ＳＳＴ　09636-20010

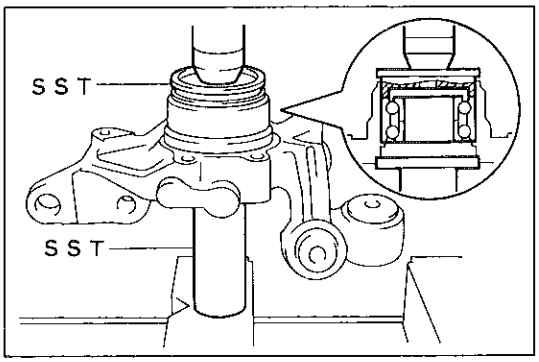
アクスル　キヤリヤ　ＡＳＳＹ組み付け

1　ベアリング組み付け

(1)　ＳＳＴとプレスを使用して，新品のベアリングをアクスル　キヤリヤに圧入する。

ＳＳＴ　09309-36010　09608-32010

注意　インナ　レースの組み替えは行なわない。

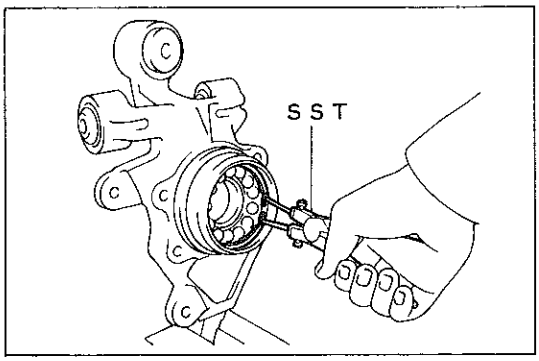


E7794

2　ホール　スナップ　リング組み付け

(1)　ＳＳＴを使用して，ホール　スナップ　リングをアクスル　キヤリヤの溝に組み付ける。

ＳＳＴ　09905-00013



E7792

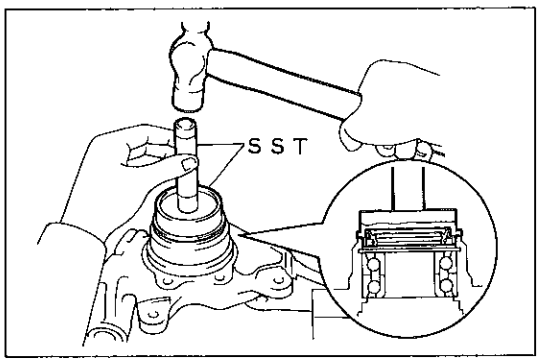
3　オイル　シール　アウタ組み付け

(1)　ＳＳＴを使用して，新品のオイル　シールをアクスル　キヤリヤ端面と面一になるまで打ち込む。

ＳＳＴ　09608-05010　09608-32010

(2)　オイル　シール　リップ部にキヤップスル　ＭＰ　グリース　No. 2を塗布する。

ＳＳＴ　09608-36022

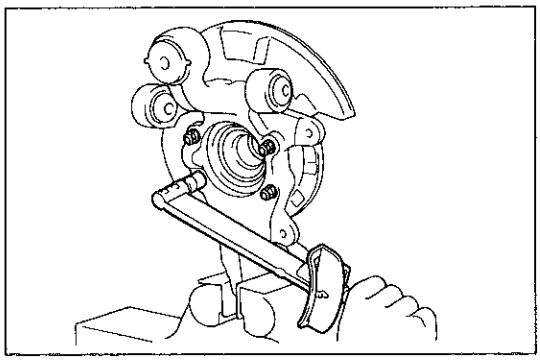


E7954

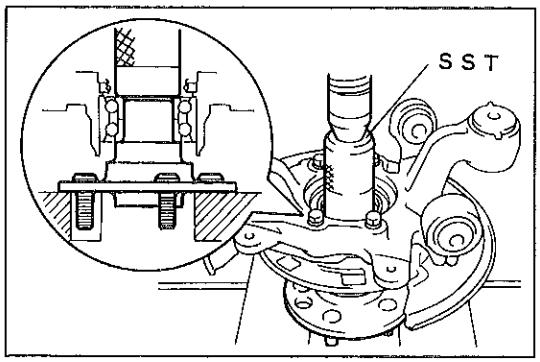
4　パーキング　ブレーキ　プレート組み付け

(1)　新品のナット４個で，パーキング　ブレーキ　プレートをアクスル　キヤリヤに組み付ける。

Ｔ＝730kg・cm


E7795

無断複製禁止

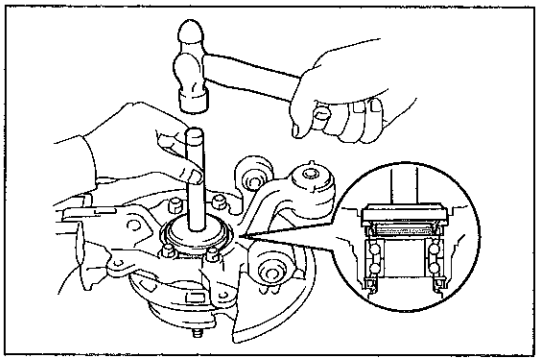


E7796

5　アクスル　シャフト組み付け

(1)　ＳＳＴとプレスを使用して，アクスル　シャフトをアクスル　キャリヤに圧入する。

ＳＳＴ　　09636-20010


E8889

6　オイル　シール　インナ側組み付け

(1)　ＳＳＴを使用して，新品のオイル　シールをアクスル　キャリヤ端面と面一になるまで打ち込む。

ＳＳＴ　　09608-04020　　09608-04110

(2)　オイル　シール　リップ部にキャツスル　ＭＰ　グリース　No.２を塗布する。

アクスル　キャリヤ　ＡＳＳＹ取り付け

1　アクスル　キャリヤ　ＡＳＳＹ取り付け

(1)　キャンバ　アジャスト　カムの溝をアクスル　キャリヤの合わせマークに合わせて取り付ける。

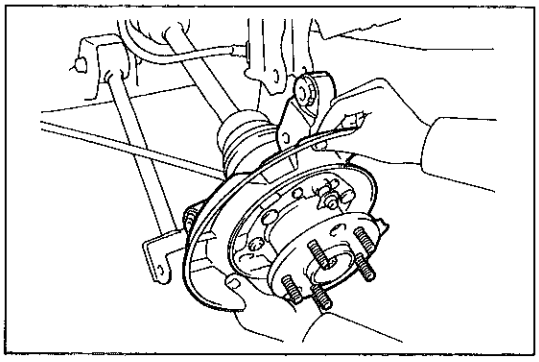
(2)　アクスル　キャリヤ　ＡＳＳＹをドライブ　シャフトに取り付ける。

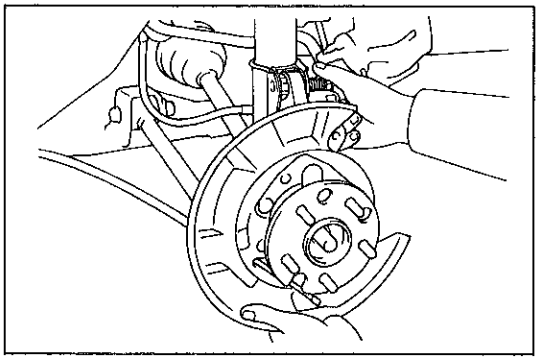
注意　オイル　シールを傷つけない。

(3)　サスペンション　No.２　アームをアクスル　キャリヤに取り付ける。

(4)　アクスル　キャリヤ　ＡＳＳＹをショック　アブソーバにキャンバ　アジャスト　カムとショック　アブソーバおよびアクスル　キャリヤの合わせマークを合わせ，ボルト２本およびナット２個を仮締めする。

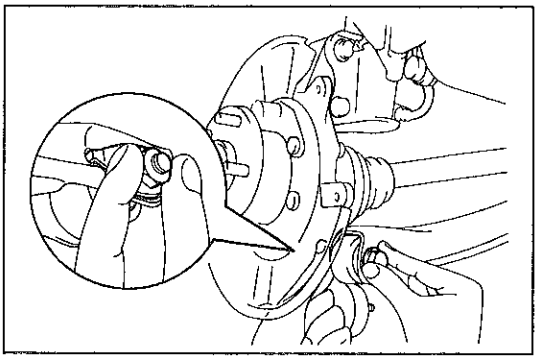
注意　ナットのネジ部にエンジン　オイルを塗布して取り付ける。


E7797

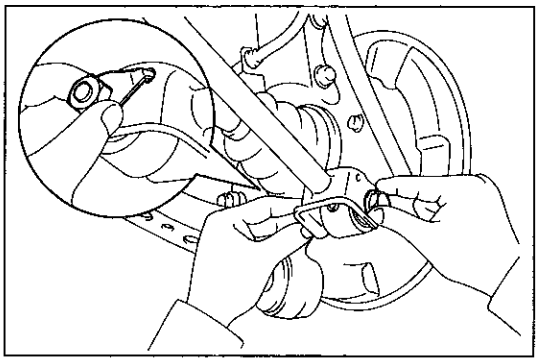

E7798

2　サスペンション　No.２　アーム取り付け

(1)　ナットの回り止めプレートをアームの穴に入れ，ボルトを仮締めする。


E7799

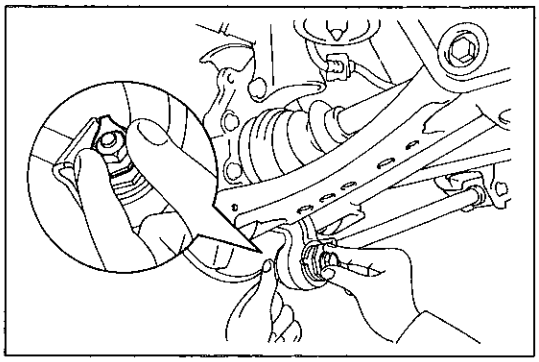
無断複製禁止



E7800

3　サスペンション　No.1　アーム取り付け

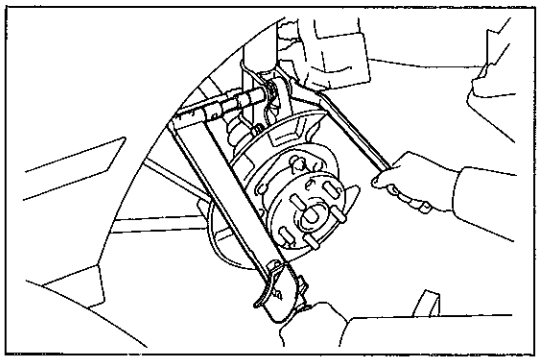
(1) サスペンション　No.1　アームをアクスル　キヤリヤに取り付け，ナットの回り止めプレートをアームの穴に入れ，ボルトを仮締めする。



E7801

4　ストラツト　ロツド取り付け

(1) ストラツト　ロツドをアクスル　キヤリヤに取り付け，ナットの回り止めプレートをストラツト　ロツドの切り欠きに当て，ボルトを仮締めする。

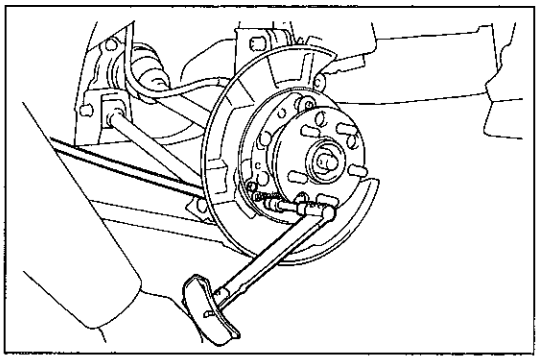


E7802

5　アクスル　キヤリヤ　ナット本締め

(1) ナット２個を規定トルクで締め付ける。

T＝2600kg・cm



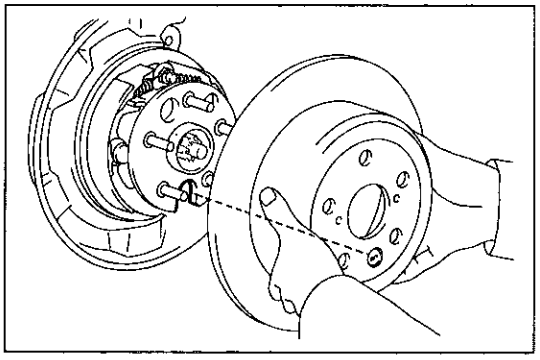
E7803

6　パーキング　ブレーキ　ケーブル取り付け

(1) ボルト２本で，パーキング　ブレーキ　ケーブルをパーキング　ブレーキ　プレートに取り付ける。

T＝80kg・cm

7　パーキング　ブレーキ　シユー取り付け

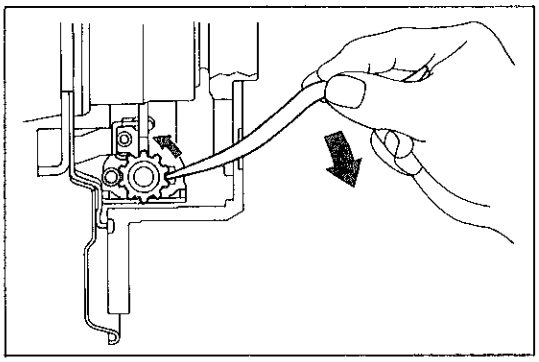


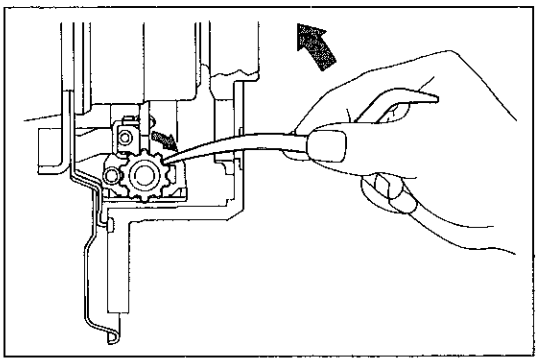
E7657

8　デイスク取り付け

(1) アクスル　シヤフトの切り欠きにデイスクのプラグ　ホール穴を合わせて取り付ける。

無断複製禁止


D6854


D6855

9　パーキング　ブレーキ　シユーとリヤ　デイスクのすき間調整

(1)　ハブ　ナットをデイスクに取り付ける。

(2)　デイスクのサービス　ホールをアジヤステイング　スクリユセツトの位置に合わせる。

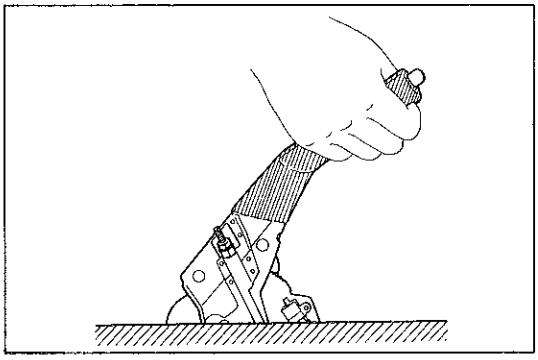
(3)　ブレーキ　アジヤステイング　ツールを使用して，アジヤステイング　スクリユを回転させ，デイスクに密着するまでシユーを拡張させる。

(4)　シユーが完全にデイスクに密着していることを確認して，その後アジヤステイング　スクリユを逆回転させ，デイスクが軽く回転するまでシユーを収縮させる。

標準もどしコマ数　　約8コマ

注意　ブレーキの引きずりがない。

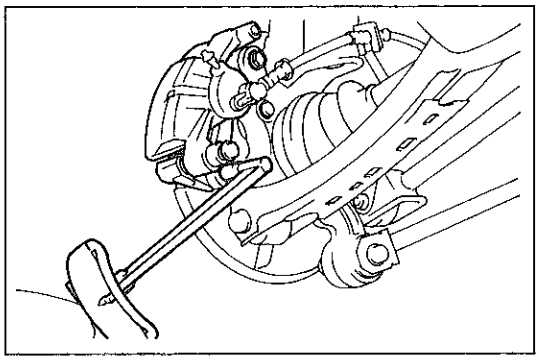
(5)　シユー　アジヤステイング　ホール　プラグを取り付ける。


D6852

10　パーキング　ブレーキ　レバー引きしろ点検

(1)　パーキング　ブレーキ　レバーをゆつくり引つ張り，“カチツ，カチツ”という作動音を数える。

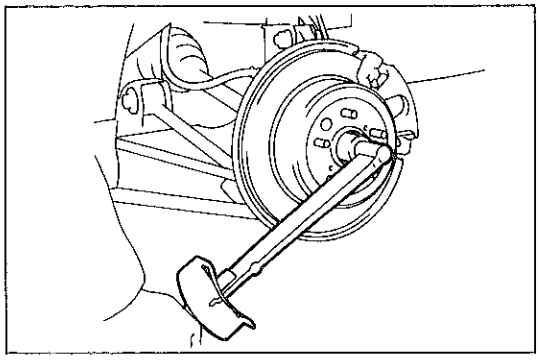
基準値　　4～7ノツチ（操作力20kg）


E7804

11　デイスク　ブレーキ　キヤリパ　ＡＳＳＹ取り付け

(1)　デイスク　ブレーキ　キヤリパ　ＡＳＳＹをボルト2本で取り付ける。

T＝475kg・cm


E7958

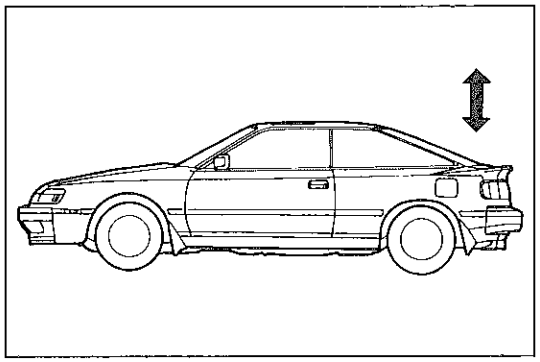
12　ナツト取り付け

(1)　パーキング　ブレーキ　レバーを引く。

(2)　プレート　ワツシヤを介して，30mmのソケツト　レンチを使用し，ナツトを取り付ける。

T＝1900kg・cm

無断複製禁止



E7805

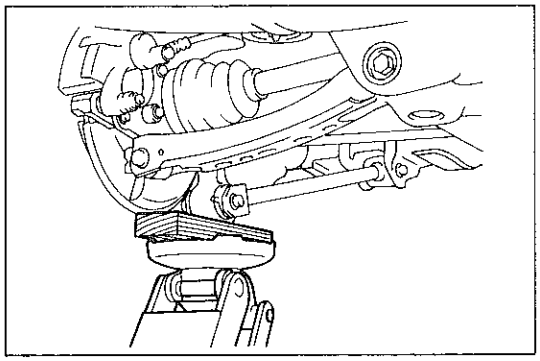
13　リヤ　ホイール取り付け

14　車両落ち着かせ

(1)　空車状態で車両をジヤツキ　ダウンして，数回上下にゆすり，リヤ　サスペンションを落ち着かせる。

15　リヤ　ホイール取りはずし

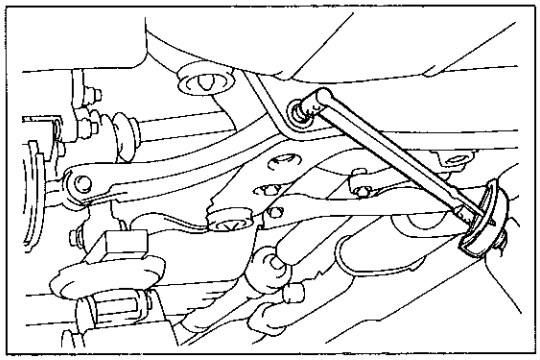
(1)　車両を再度ジヤツキ　アツプし，ホイールを取りはずす。



E7806

16　サスペンション　ジヤツキ　アツプ

(1)　木片を介して，アクスル　キヤリヤをジヨツキ　アツプし，サスペンションに荷重をかける。

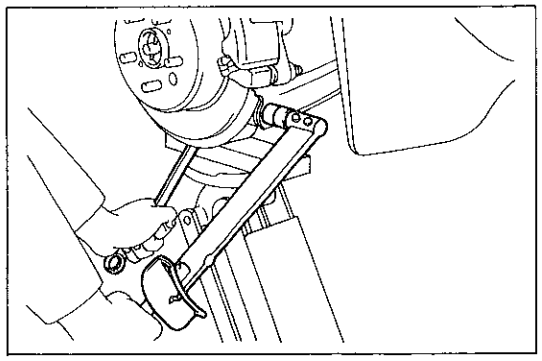


E7807

17　サスペンション　No.2　アーム　ボルト本締め

(1)　サスペンション　メンバ側のボルトを本締めする。

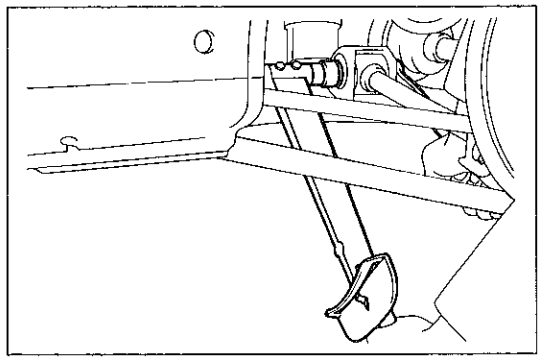
T＝1150kg・cm



E7808

(2)　アクスル　キヤリヤ側のボルトを本締めする。

T＝1250kg・cm



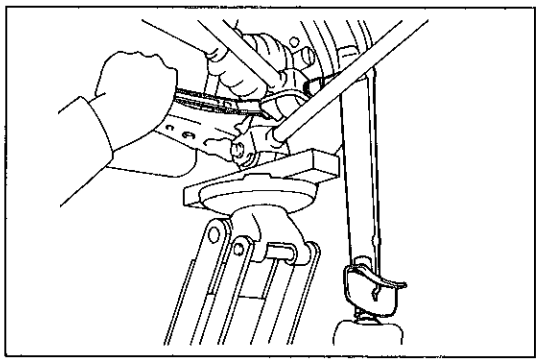
E7809

18　サスペンション　No.1　アーム　ボルト本締め

(1)　サスペンション　メンバ側のボルトを本締めする。

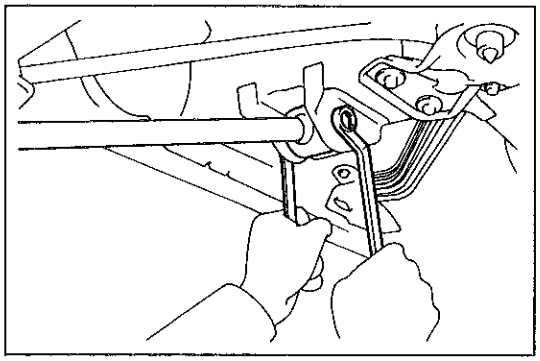
T＝1150kg・cm

無断複製禁止


E7810

(2)　アクスル　キヤリヤ側のボルトを本締めする。

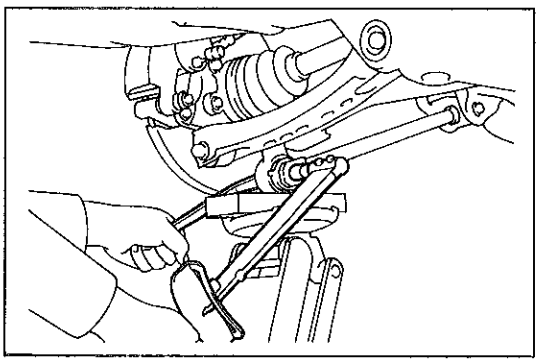
T＝1250kg・cm


E7778

19　ストラツト　ロツド　ボルト本締め

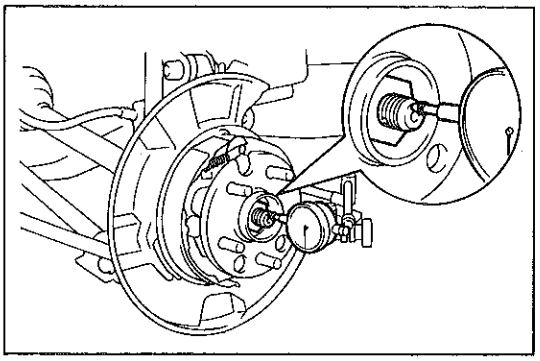
(1)　ボデー側のボルトを本締めする。

T＝1150kg・cm


E7811

(2)　アクスル　キヤリヤ側のボルトを本締めする。

T＝1150kg・cm


E7773

20　デイスク　ブレーキ　キヤリパ　ＡＳＳＹ取りはずし

（Ｐ６-49参照）

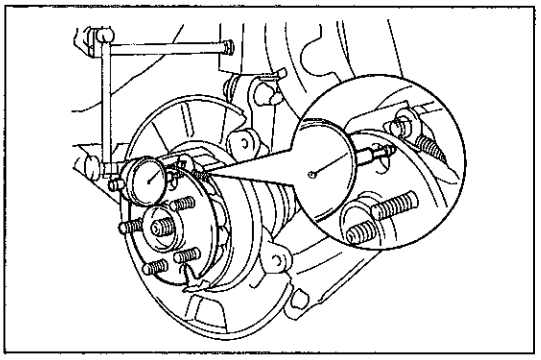
21　デイスク取りはずし

（Ｐ６-49参照）

22　ベアリング点検

(1)　ベアリング軸方向の動き量を点検する。

限　度　　0.05mm


E7774

23　アクスル　シヤフト振れ点検

(1)　アクスル　シヤフトの外周付近で振れを点検する。

限　度　　0.05mm

24　リヤ　ホイール　アジヤステイング　ロツク　キヤツプ取り付け

(1)　ナツトにリヤ　ホイール　アジヤステイング　ロツク　キヤツプを取り付け，新品のコツタ　ピンを取り付ける。

25　リヤ　ホイール取り付け

T＝1050kg・cm

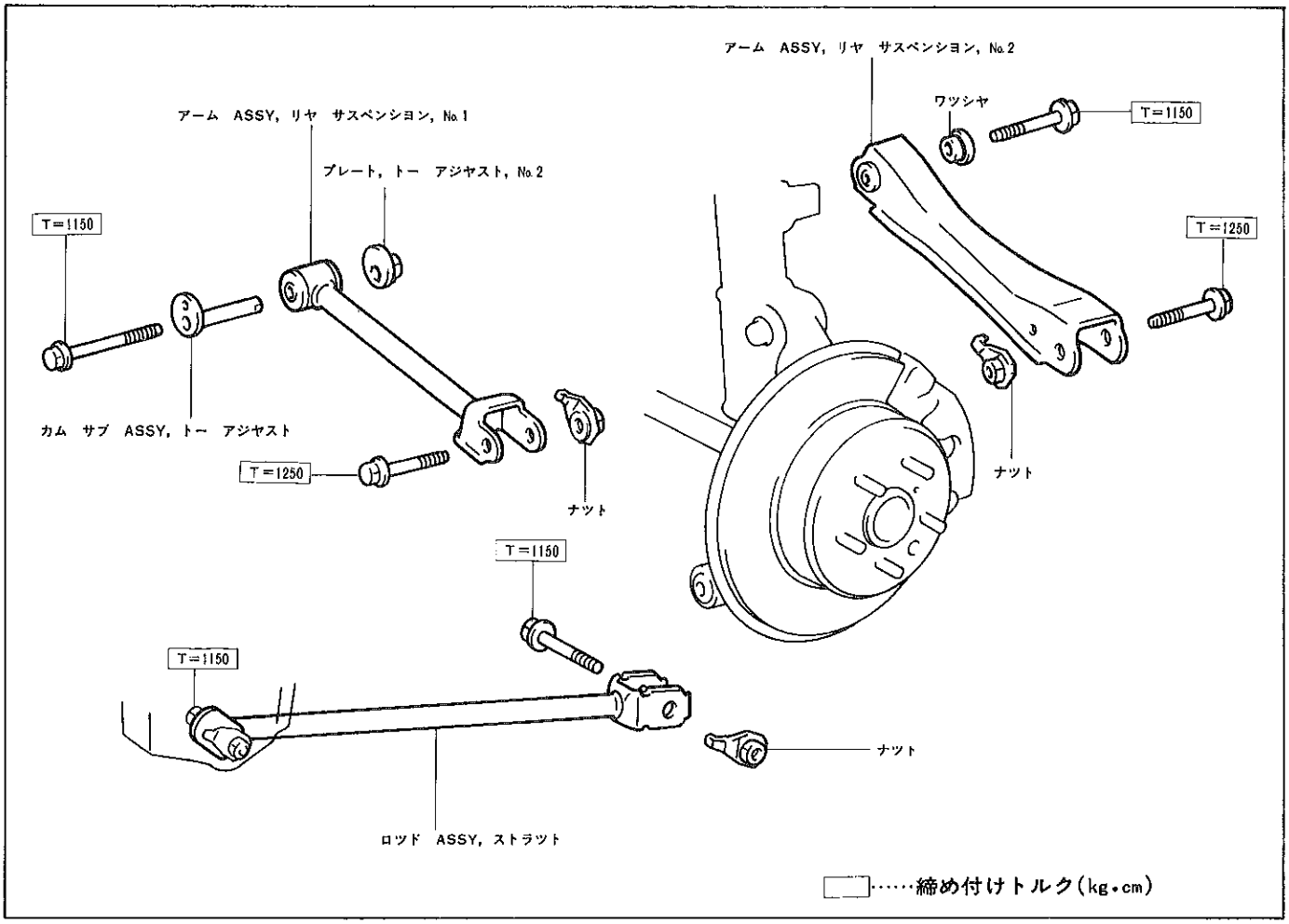
26　リヤ　ホイール　アライメント点検および調整

（Ｐ６-２参照）

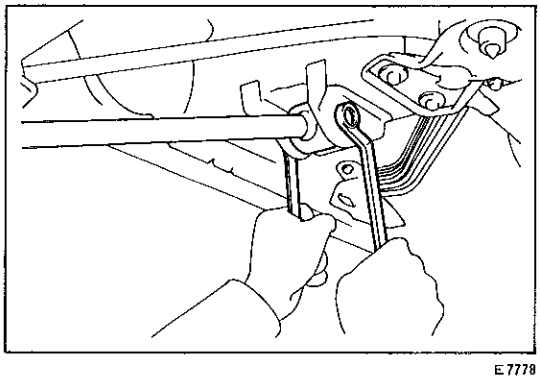
無断複製禁止

サスペンション　アーム

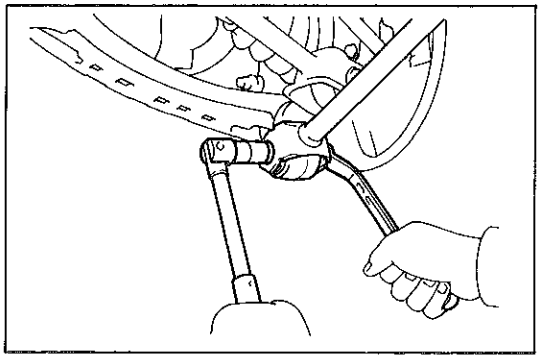
脱着構成図



E7812



E7778



E7779

サスペンション　アーム取りはずし

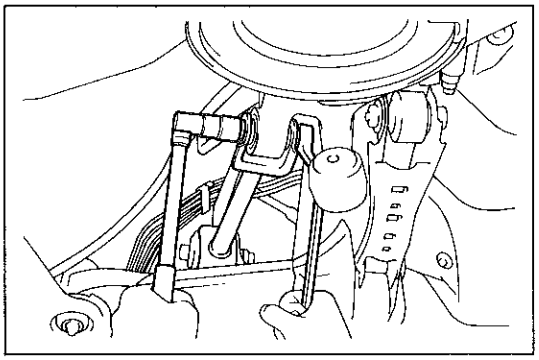
1　リヤ　ホイール取りはずし

2　ストラット　ロッド切り離し

(1)　ボデー側のボルトおよびナットをゆるめる。

(2)　アクスル　キャリヤ側のボルトおよびナットを取りはずし，ストラット　ロッドを切り離す。

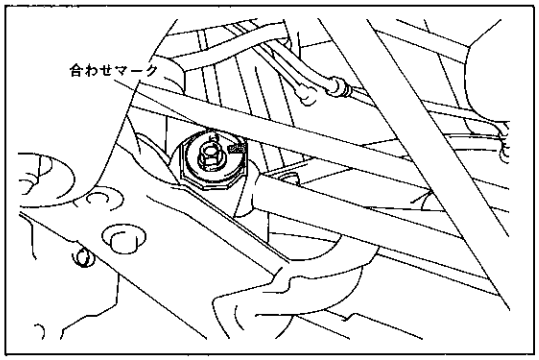
無断複製禁止



E7813

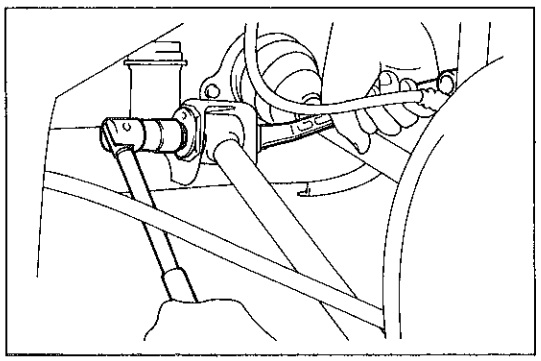
3　サスペンション　No.1　アーム取りはずし

(1)　アクスル　キヤリヤ側のボルトおよびナツトを取りはずす。



E7780

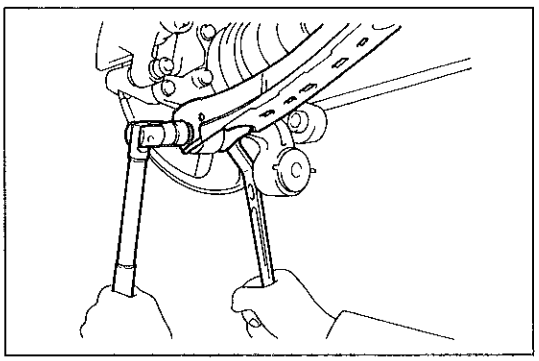
(2)　トー　アジヤスト　カムとサスペンション　コントロール　アーム　リテーナに合わせマークを付ける。



E7781

(3)　ボルトを取りはずし，トー　アジヤスト　カムおよびトー　アジヤスト　プレート　No.2を取りはずす。

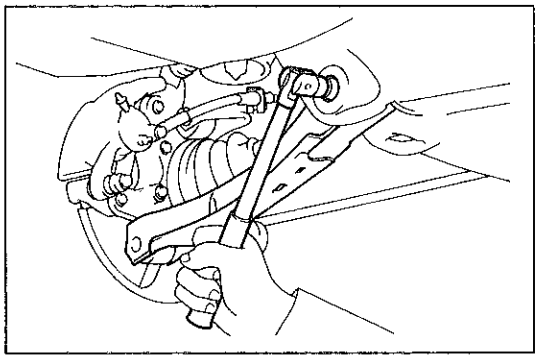
(4)　サスペンション　No.1　アームを取りはずす。



E7814

4　サスペンション　No.2　アーム取りはずし

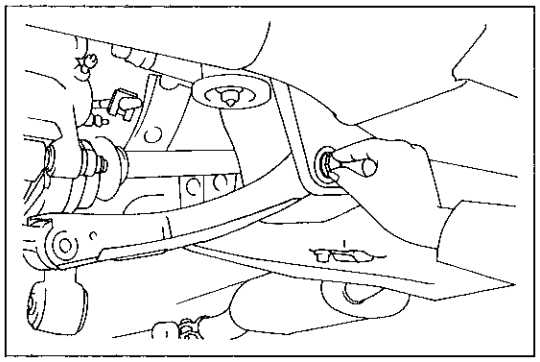
(1)　アクスル　キヤリヤ側のボルトおよびナツトを取りはずす。



E7815

(2)　ボルトおよびワツシヤを取りはずし，サスペンション　No.2　アームを取りはずす。

無断複製禁止

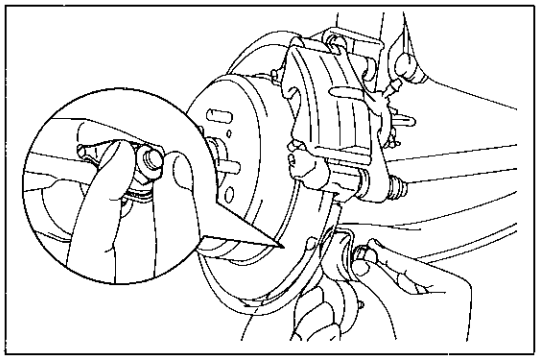


E7816

サスペンション　アーム取り付け

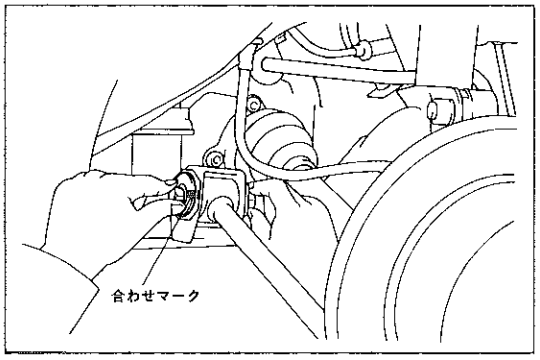
1　サスペンション　No.2　アーム取り付け

(1) ワツシヤを介して，ボルトでサスペンション　No.2　アームをリヤ　サスペンション　メンバに仮付けする。



E7817

(2) サスペンション　No.2　アームをアクスル　キヤリヤに取り付け，ナツトの回り止めプレートをアームの穴に入れ，ボルトを仮締めする。

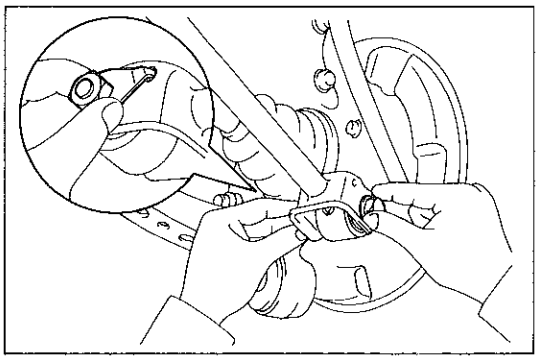


E7818

2　サスペンション　No.1　アーム取り付け

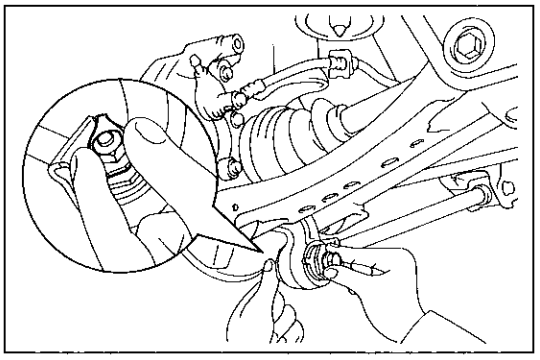
(1) サスペンション　No.1　アームをリヤ　サスペンション　メンバに仮付けする。

(2) トー　アジヤスト　カムとサスペンション　コントロール　アーム　リテーナの合わせマークを合わせてトー　アジヤスト　プレート　No.2を取り付け，ボルトを仮締めする。



E7819

(3) サスペンション　No.1　アームをアクスル　キヤリヤに取り付け，ナツトの回り止めプレートをアームの穴に入れ，ボルトを仮締めする。

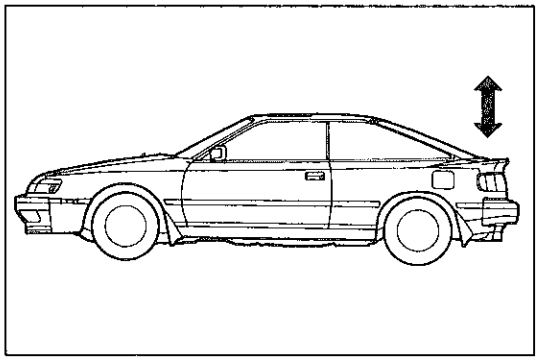


E7820

3　ストラツト　ロツド取り付け

(1) ストラツト　ロツドをアクスル　キヤリヤに取り付け，ナツトの回り止めプレートをストラツト　ロツドの切り欠きに当て，ボルトを仮締めする。

無断複製禁止



E7805

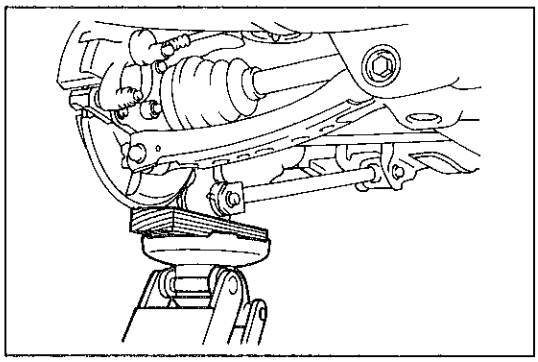
4　リヤ　ホイール取り付け

5　車両落ち着かせ

(1)　空車状態で車両をジヤツキ　ダウンして，数回上下にゆすり，リヤ　サスペンションを落ち着かせる。

6　リヤ　ホイール取りはずし

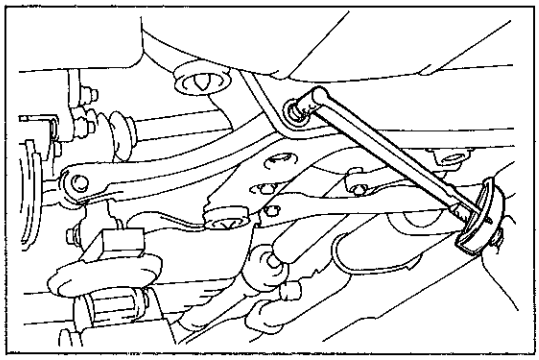
(1)　車両を再度ジヤツキ　アツプし，ホイールを取りはずす。



E7806

7　サスペンション　ジヤツキ　アツプ

(1)　木片を介して，アクスル　キヤリヤをジヤツキ　アツプし，サスペンションに荷重をかける。

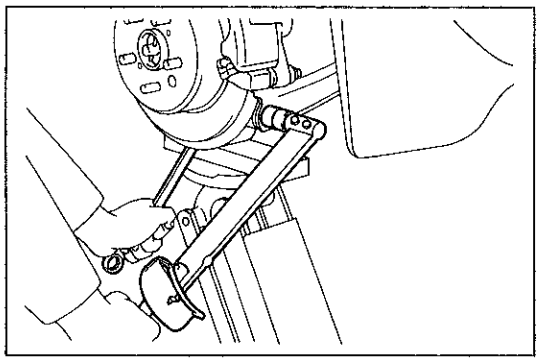


E7807

8　サスペンション　No.2　アーム　ボルト本締め

(1)　サスペンション　メンバ側のボルトを本締めする。

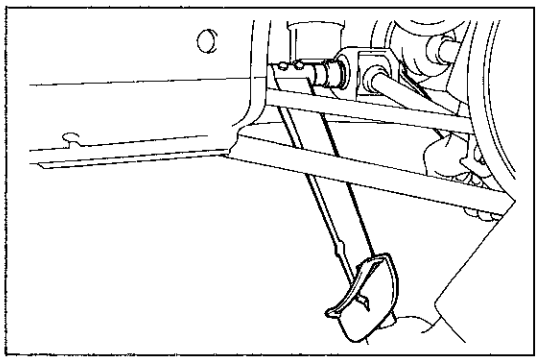
T＝1150kg・cm



E7808

(2)　アクスル　キヤリヤ側のボルトを本締めする。

T＝1250kg・cm



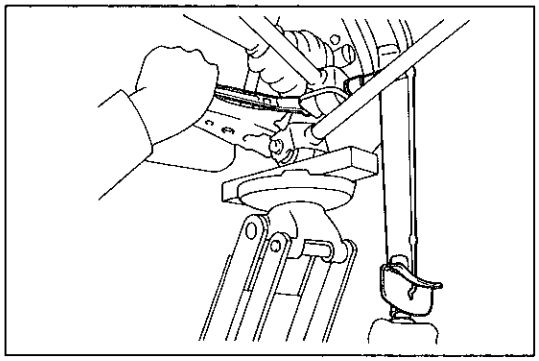
E7809

9　サスペンション　No.1　アーム　ボルト本締め

(1)　サスペンション　メンバ側のボルトを本締めする。

T＝1150kg・cm

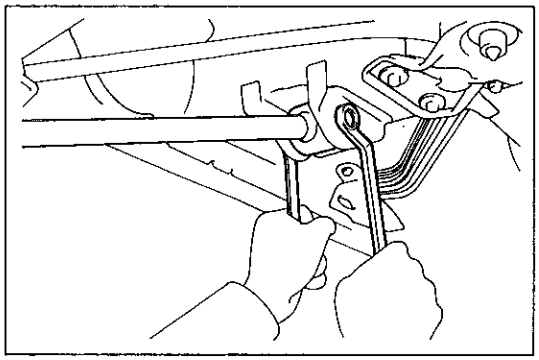
無断複製禁止



E7810

(2)　アクスル　キヤリヤ側のボルトを本締めする。

T＝1250kg・cm

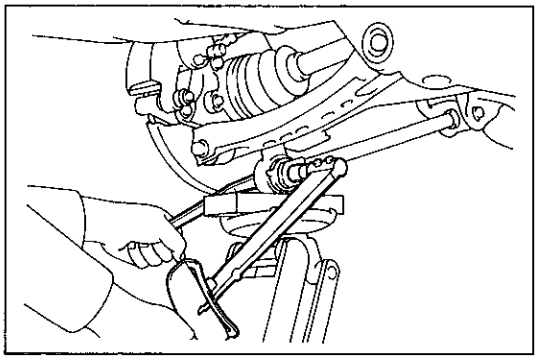


E7778

10　ストラツト　ロツド　ボルト本締め

(1)　ボデー側のボルトを本締めする。

T＝1150kg・cm



E7811

(2)　アクスル　キヤリヤ側のボルトを本締めする。

T＝1150kg・cm

11　リヤ　ホイール取り付け

T＝1050kg・cm

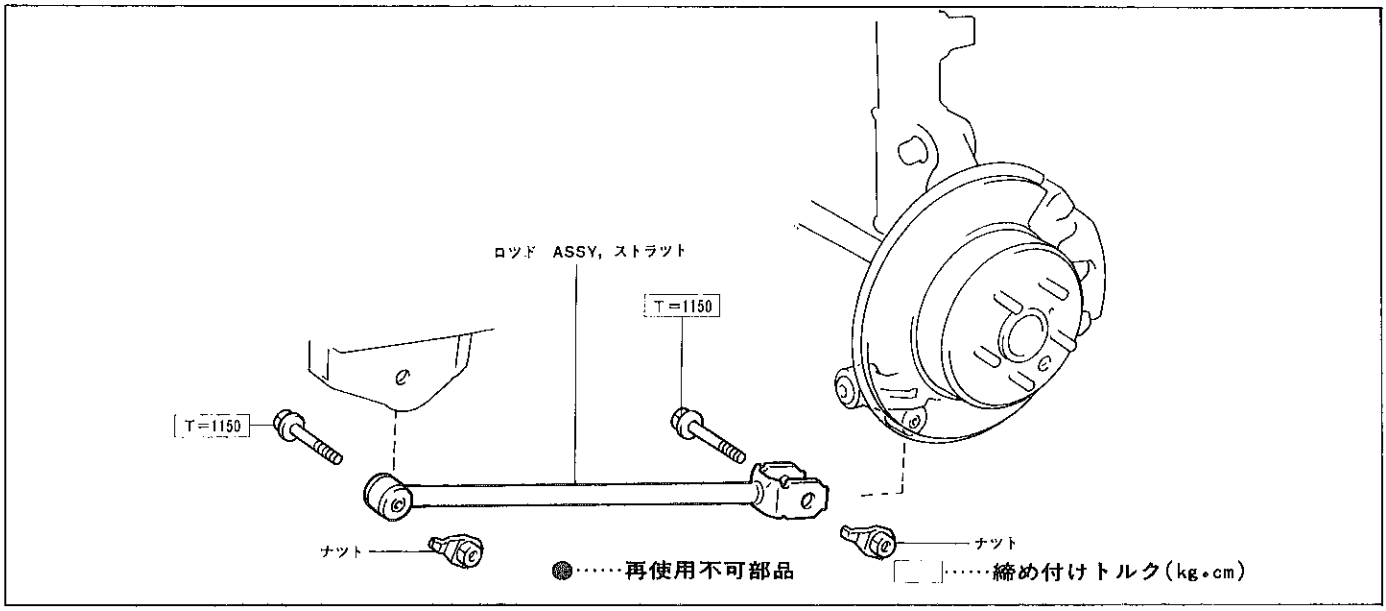
12　リヤ　ホイール　アライメント点検および調整

（P6－2参照）

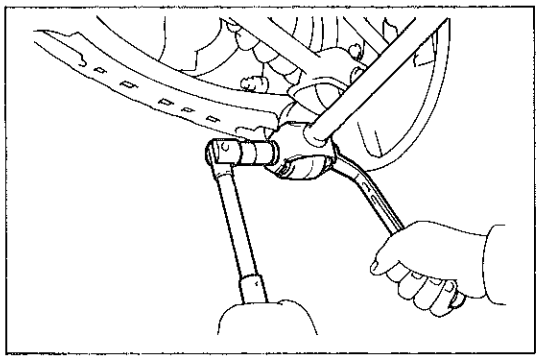
無断複製禁止

ストラット　ロッド

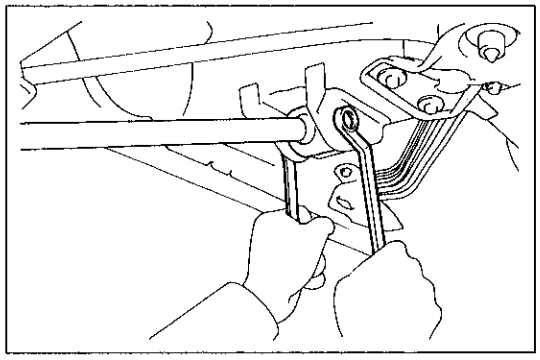
脱着構成図



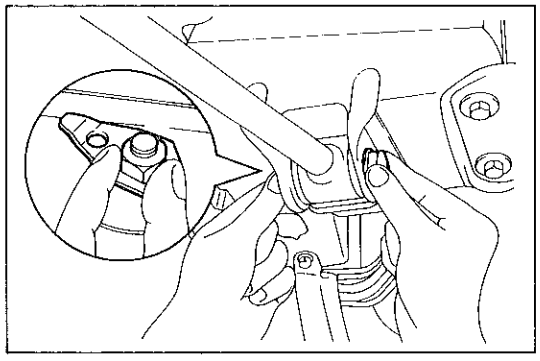
E7821



E7779



E7778



E7822

ストラット　ロッド取りはずし

1　リヤ　ホイール取りはずし

2　ストラット　ロッド取りはずし

(1)　アクスル　キヤリヤ側のボルトおよびナットを取りはずす。

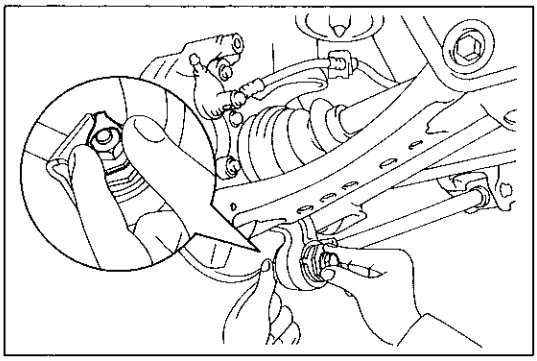
(2)　ボデー側のボルトおよびナットを取りはずし，ストラット　ロッドを取りはずす。

ストラット　ロッド取り付け

1　ストラット　ロッド取り付け

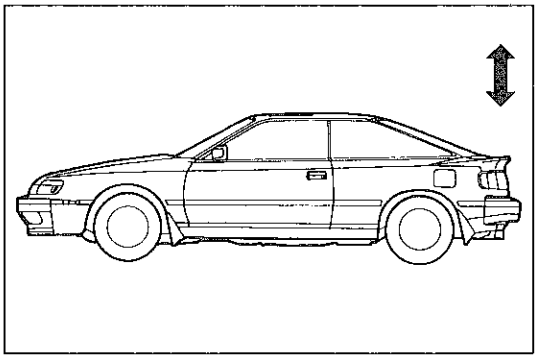
(1)　ストラット　ロッドをボデーに取り付け，ナットの回り止めプレートをボデーに当て，ボルトを仮締めする。

無断複製禁止



E7820

(2) ストラツト　ロツドをアクスル　キヤリヤに取り付け，ナツトの回り止めプレートをストラツト　ロツドの切り欠きに当て，ボルトを仮締めする。



E7805

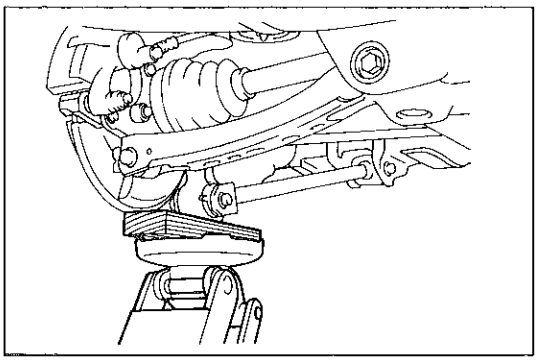
2　リヤ　ホイール取り付け

3　車両落ち着かせ

(1) 空車状態で車両をジヤツキ　ダウンして，数回上下にゆすり，リヤ　サスペンシヨンを落ち着かせる。

4　リヤ　ホイール取りはずし

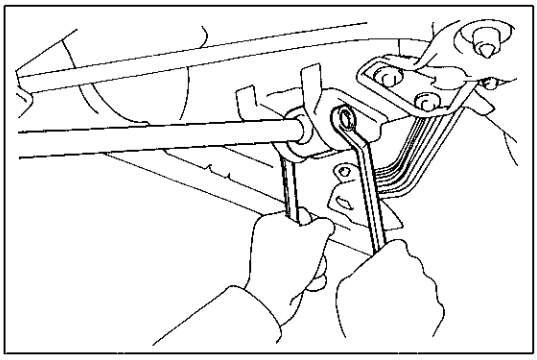
(1) 車両を再度ジヤツキ　アツプし，ホイールを取りはずす。



E7806

5　サスペンシヨン　ジヤツキ　アツプ

(1) 木片を介して，アクスル　キヤリヤをジヤツキ　アツプし，サスペンシヨンに荷重をかける。

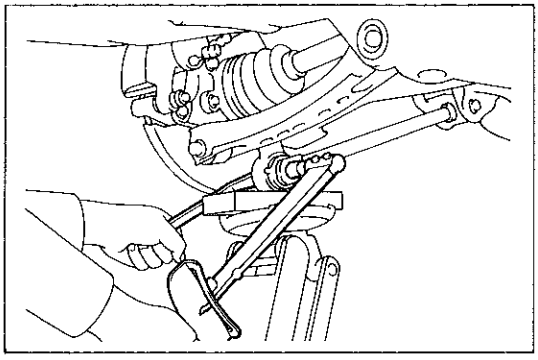


E7778

6　ストラツト　ロツド　ボルト本締め

(1) ボデー側のボルトを本締めする。

T＝1150kg・cm



E7811

(2) アクスル　キヤリヤ側のボルトを本締めする。

T＝1150kg・cm

7　リヤ　ホイール取り付け

T＝1050kg・cm

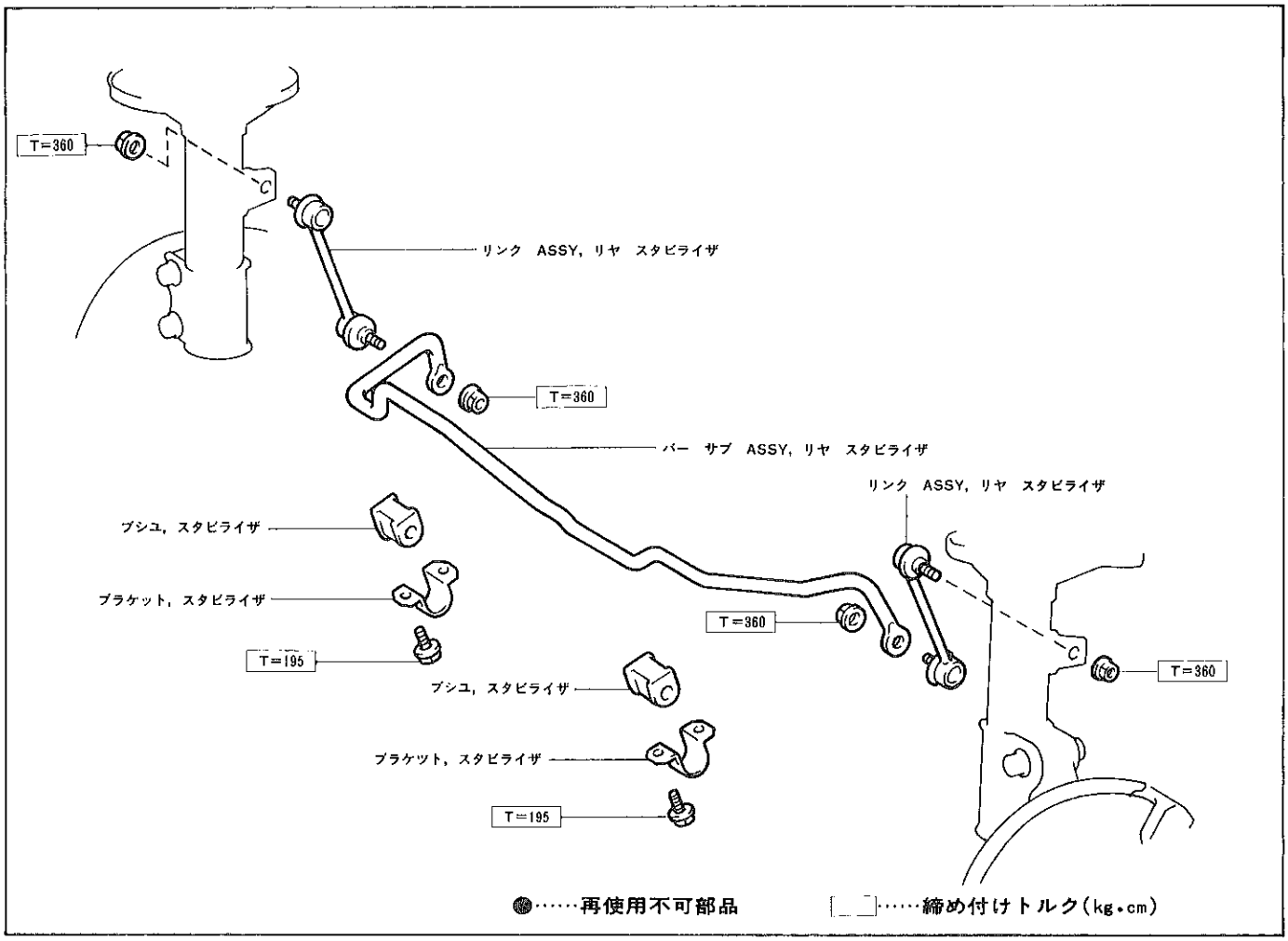
8　リヤ　ホイール　アライメント点検および調整

（P6-2参照）

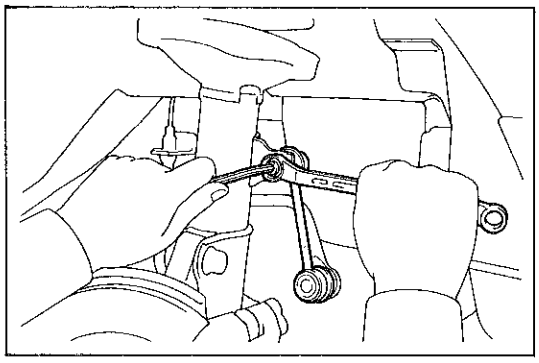
無断複製禁止

スタビライザ

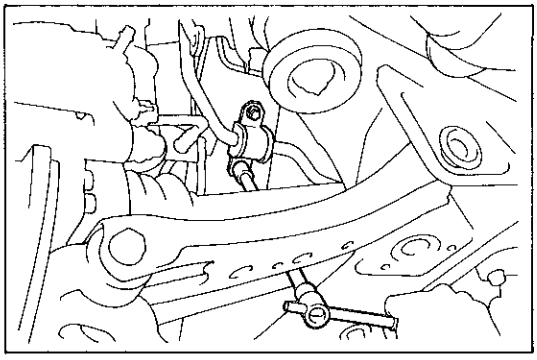
脱着構成図



E7823



E7824



E7825

スタビライザ取りはずし

1　リヤ　ホイール取りはずし

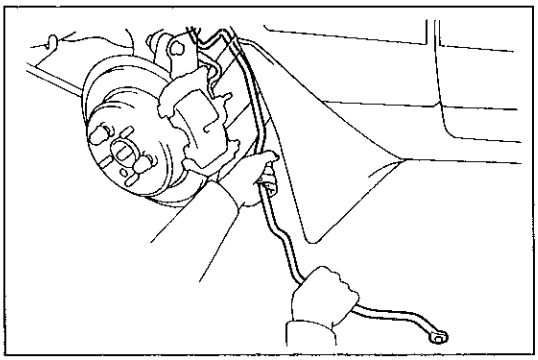
2　スタビライザ　リンク取りはずし

(1)　5㎜のヘキサゴン　レンチを使用して，ナット2個を取りはずし，スタビライザ　リンクを取りはずす。

3　スタビライザ　ブラケットおよびブシュ取りはずし

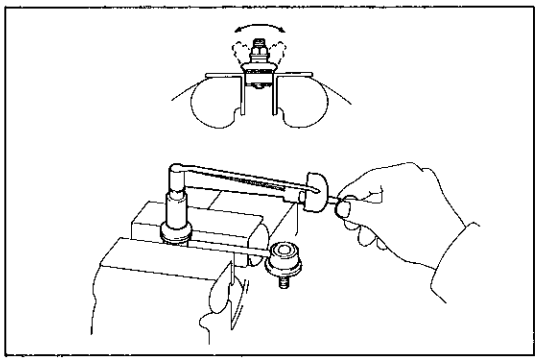
(1)　ボルト4本を取りはずし，スタビライザ　ブラケット2個およびブシュ2個を取りはずす。

無断複製禁止


E7826

4　スタビライザ　バー取りはずし

(1)　スタビライザ　バーをデイスク　ブレーキ　シリンダ後方から取りはずす。


D6516

スタビライザ　リンク点検

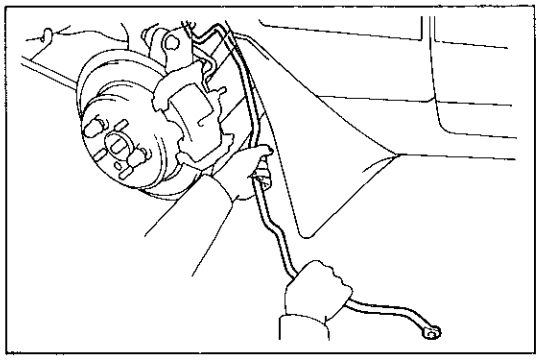
1　ボール　ジヨイント回転具合点検

(1)　スタツドを摺動方向に5往復させた後，2～4回転／秒の速度で連続して回転させ，5回目に測定する。

基準値　0.5～10kg・cm

2　ブーツ点検

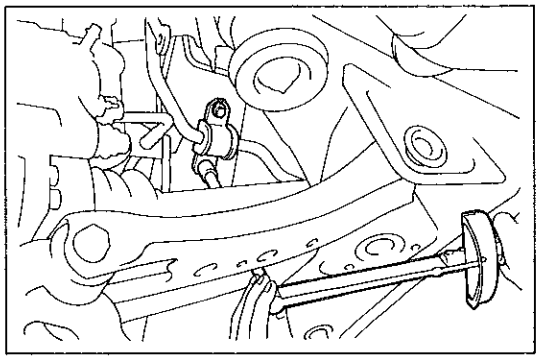
(1)　ブーツに亀裂がないことを点検する。


E7826

スタビライザ取り付け

1　スタビライザ　バー取り付け

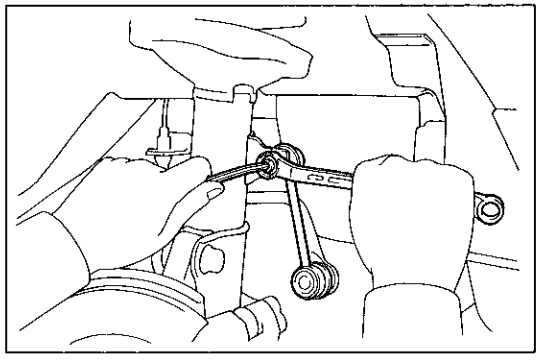
(1)　スタビライザ　バーをデイスク　ブレーキ　シリンダ後方から取り付ける。


E7827

2　スタビライザ　ブラケツトおよびブシユ取り付け

(1)　ボルト4本で，スタビライザ　ブラケツト2個およびブシユ2個を取り付ける。

T＝195kg・cm


E7824

3　スタビライザ　リンク取り付け

(1)　5㎜のヘキサゴン　レンチを使用して，ナツト2個でスタビライザ　リンクを取り付ける。

T＝360kg・cm

4　リヤ　ホイール取り付け

T＝1050kg・cm

無断複製禁止

MEMO

無断複製禁止